大学番号 私立90

注３

設置年度　　平成　　30年度

計画の区分：　学部の学科の設置

注１

届出

東海大学　　医学部　　看護学科　　（必要がある場合）〇〇専攻

注２

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人東海大学
令和３年５月１日現在

作成担当者

東海大学　高等教育担当

職名・氏名	リーダー・杉森（スギモリ） 達人（ミチヒト）、守屋（モリヤ） 智美（トモミ）
電話番号	0463-58-1211
（夜間）	0463-58-1211
ｅ－mail	ninka@tsc.u-tokai.ac.jp

（注）１　「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

２　大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院　・・・」と記入してください。
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し，その下欄に（　　）書きにて、設置時の旧名称を記載してください。
例）　〇〇大学　△△学部　□□学科
（旧名称：◇◇学科（平成◇◇年度より学科名称変更））
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。
例）
・大学の設置の場合：「〇〇大学」
・学部の設置の場合：「〇〇大学　△△学部」
・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学　△△学部　□□学科」
・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学　△△学科」
・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院　〇〇研究科」
・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院　〇〇研究科　〇〇専攻（修士課程）」
・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学　△△学部　□□学科（通信教育課程）」

３　大学番号の欄については、調査対象大学等に対して別途発出する、事務連絡「令和３年度の履行状況報告書の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

医学部

＜看護学科＞　　ページ

１．調査対象大学等の概要等　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３
２．授業科目の概要　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　７
３．施設・設備の整備状況、経費　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２６
４．既設大学等の状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２７
５．教員組織の状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３２
６．附帯事項等に対する履行状況等　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　６４
７．その他全般的事項　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　６５

1　調査対象大学等の概要等

（1）設　置　者

学校法人東海大学

（2）大　学　名

東海大学

（3）調査対象大学等の位置

〒259－1143
神奈川県伊勢原市下糟屋143
（〒259－1292）
（神奈川県平塚市北金目4-1-1）

（注）・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を（　）書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

（4）管理運営組織

職　　名	設　　置　　時	変　更　状　況	備　　考
理 事 長	（ マツマエ　ヨシアキ ） 松前　義昭 （平成26年5月）		
学　　長	（ ヤマダ　キヨシ ） 山田　清志 （平成26年10月）		
学 部 長	（ サカベ　コウ ） 坂部　貢 （平成28年４月）	（モリ　マサキ ） 森　正樹 （令和３年４月）	前任者が副学長業務に専従するため（３）
学科長等	（　ジョウノウ　ヒロミ　） 城生　弘美 （平成３０年４月）	（キッカワ　タカヒロ） 吉川　隆博 （令和３年４月）	若手教員による学科運営を推進するため（３）

（注）・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を（　）書きで記入してください。
（例）令和２年度に報告済の内容　→（２）
令和３年度に報告する内容　→（３）
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に，「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

（５） 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

（注）・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載してください。その場合別ファイルを作成し提出してください。
・ 様式は、平成２９年度開設の４年制の学科の完成年度を越えて報告する場合（令和２年度までの５年間）ですが、完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が４年以下の場合には欄を削除し、５年以上の場合には、欄を設けてください。）
・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

（５）－① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
医学部 看護学科 学士（看護学）	保健衛生学関係（看護学関係）	４年	85人	年次 人	340人	新規入学者を募集中	

（注）・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第２号（その２の１））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。

（５）－② 調査対象学部等の入学者の状況

区分＼対象年度	平成３０年度		令和元年度		令和２年度		令和３年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
Ａ 入学定員	85人 （ － ） [－]		85人 （ － ） [－]		85人 （ － ） [－]	人	85人 （ － ） [－]	人	0.97倍	－	
志願者数	1381 （ － ） [2]	0 （ － ） [0]	1076 （ － ） [4]	0 （ － ） [0]	986 （ 2 ） [0]	0 （ － ） [0]	784 （ － ） [2]	（ ） [ ]			
受験者数	1295 （ － ） [2]	0 （ － ） [0]	982 （ － ） [3]	0 （ － ） [0]	907 （ 2 ） [0]	0 （ － ） [0]	742 （ － ） [2]	（ ） [ ]			
合格者数	193 （ － ） [1]	0 （ － ） [0]	181 （ － ） [0]	0 （ － ） [0]	164 （ 0 ） [0]	0 （ － ） [0]	224 （ － ） [1]	（ ） [ ]			
Ｂ 入学者数	84 （ － ） [0]	0 （ － ） [0]	84 （ － ） [0]	0 （ － ） [0]	82 （ 0 ） [0]	0 （ － ） [0]	82 （ － ） [1]	（ ） [ ]			
入学定員超過率 Ｂ／Ａ	0.98		0.98		0.96		0.96				

（注）・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
・ （ ）内には、編入学の状況について**外数で**記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、（( ))書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。 該当がない年度には「－」を記入してください。
・ 転入学生は記入しないでください。
・ [ ]内には、留学生の状況について**内数で**記入してください。該当がない年には「－」を記入してください。
・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「－」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
・ 「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出**してください。なお、計算の際は小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで記入してください。
・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度（令和３年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
・「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「－」を記入してください。

（５）－③　調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 / 学年	平成３０年度		令和元年度		令和２年度		令和３年度		備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
１年次	84 [0] （－）	0 [0] （－）	84 [0] （－）	0 [0] （－）	82 [0] （－）	0 [0] （－）	82 [1] （－）	[ ] （ ）	
２年次			83 [0] （－）	0 [0] （－）	82 [0] （－）	0 [0] （－）	81 [0] （－）	[ ] （ ）	
３年次					82 [0] （－）	0 [0] （－）	81 [0] （－）	[ ] （ ）	
４年次							82 [0] （－）	[ ] （ ）	
計	84 [0] （－）		167 [0] （－）		246 [0] （－）		326 [1] （－）		

・令和３年５月１日　公表

（注）・　報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

・　[　　]内には、留学生の状況について**内数で**記入してください。該当がない年度には「－」を記入してください。

・（　）内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「－」を記入してください。

・　編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。

・　学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「－」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。

・　「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

（５）－④　調査対象学部等の退学者等の状況

区分 / 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 （留学生の理由は[ ]書き）
			入学した年度	退学者数	うち留学生数	
平成30年度	84 人	1 人	平成30年度	1 人	0 人	就学意欲の低下(1)
令和元年度	167 人	0 人	平成30年度	0 人	0 人	
			令和元年度	0 人	0 人	
令和2年度	246 人	3 人	平成30年度	1 人	0 人	その他(1人)
			令和元年度	2 人	0 人	他の教育機関への入学・転学(2人)
			令和2年度	0 人	0 人	
令和3年度	326 人	1 人	平成30年度	0 人	0 人	
			令和元年度	0 人	0 人	
			令和2年度	1 人	0 人	就学意欲の低下(1)
			令和3年度	0 人	0 人	
合　計		5 人		5 人	0 人	

（注）・ 数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

・ 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。（在学者数から退学者数を減らす必要はありません。）

・ 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。

・ 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。

・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下（〇人）」というように、その人数も含めて記入してください。

（記入項目例）・就学意欲の低下　・学力不足　・他の教育機関への入学・転学　・海外留学
・就職　・学生個人の心身に関する事情　・家庭の事情　・除籍　・その他

（５）－⑤　調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

平成30年度の退学者数(a) / 平成30年度の在学者数(b) = 1 / 84 = 1.19 %

【令和元年度】

令和元年度の退学者数(a) / 令和元年度の在学者数(b) = 0 / 167 = 0 %

【平令和2年度】

令和2年度の退学者数(a) / 令和2年度の在学者数(b) = 3 / 246 = 1.21 %

【令和3年度】

令和3年度の退学者数(a) / 令和3年度の在学者数(b) = 1 / 326 = 0.3 %

（注）・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

２　授業科目の概要

＜医学部　看護学科＞

（１）－① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
Ⅰ現代文明論		現代文明論	1後	2								1
Ⅱ現代教養科目	基礎教養科目	人文科学	1後	2								1
		社会科学	1前	2								1
		自然科学	1後	2								1
	発展教養科目	シティズンシップ	1後	1								1
		ボランティア	1後	1								1
		地域理解	1前	1								1
		国際理解	1前	1								1
	健康スポーツ科目	健康・フィットネス理論実習	1前	1								2
		生涯スポーツ理論実習	1後	1								2
Ⅲ英語科目	英語コミュニケーション科目	英語リスニング＆スピーキング	1前	2								1
		英語リーディング＆ライティング	1前	2								1
	グローバル人材育成科目	グローバルスキル	1後	2								1
		アカデミック英語	1後	2								1

【令和３年度】

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
Ⅰ現代文明論		現代文明論	1後	2								2
Ⅱ現代教養科目	基礎教養科目	人文科学	1前	2								4
		社会科学	1前	2								4
		自然科学	1後	2								4
	発展教養科目	シティズンシップ	1前	1								3
		ボランティア	1前	1								3
		地域理解	1後	1								3
		国際理解	1後	1								3
	健康スポーツ科目	健康・フィットネス理論実習	1前	1								4
		生涯スポーツ理論実習	1後	1								4
Ⅲ英語科目	英語コミュニケーション科目	英語リスニング＆スピーキング	1前	2								3
		英語リーディング＆ライティング	1前	2								3
	グローバル人材育成科目	グローバルスキル	1後	2								3
		アカデミック英語	1後	2								3

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
Ⅳ主専攻科目	人間	表現技法の基礎	1前	1								2
		人体の構造と機能1（細胞生物学）	1前	2			1					
		人体の構造と機能2（解剖生理学）	1後	2								1
		ENGLISH OF NURSING STUDY ABROAD	2・3前		1							1
		人間工学	1・4後		1							1
		保健医療行動学	2・3前		1							1
	健康	感染と防御	2前	2					1			3
		薬理学	2後	2								4
		看護の基礎理科	1前	1			1					2
		栄養と代謝	1前	1								2
		健康科学論	1前	1			4					2
		健康障害と栄養	2後	1								1
		公衆衛生学	2前	2			1					1
	社会／環境	生活環境論	1前		2							1
		保健医療情報学1（情報科学）	1前	1			1					1
		保健医療情報学2（医療統計）	1後	1			1					1
		保健医療関係法規	2後	1			1					
		社会保障論	2前	1								1
		保健医療福祉行政論	2前	1								1
		社会福祉論	2前		2							1
		疫学	3前		2		1					
		臨床工学	2・3・4前		1							1

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
Ⅳ主専攻科目	人間	表現技法の基礎	1前	1				2	3			
		人体の構造と機能1（細胞生物学）	1前	2			1					
		人体の構造と機能2（解剖生理学）	1後	2				1	2			2
		ENGLISH OF NURSING STUDY ABROAD	2・3前		1							1
		人間工学	1・4後		1							1
		保健医療行動学	2・3前		1							1
	健康	感染と防御	2前	2				1				4
		薬理学	2後	2								2
		看護の基礎理科	1前	1			1					2
		栄養と代謝	1前	1								2
		健康科学論	1前	1			6	1				1
		健康障害と栄養	2後	1								1
		公衆衛生学	2後	2					1			
	社会／環境	生活環境論	1前		2							1
		保健医療情報学1（情報科学）	1前	1					1			
		保健医療情報学2（医療統計）	1後	1					1			
		保健医療関係法規	2前	1					1			
		社会保障論	2前	1								1
		保健医療福祉行政論	2前	1								1
		社会福祉論	2前		2							1
		疫学	3前		2				1			
		臨床工学	2・3・4前		1							1

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
日常生活支援	看護学概論	1前	1			1					1
	看護コミュニケーション論	1後	1			1		4			1
	ヘルスアセスメント	1後	2			1		3			2
	基礎看護技術演習	1後	2			1		3			2
	看護過程論	2前	1					3			1
	基礎看護学実習1（看護の対象理解）	1後	1			1		3			
	基礎看護学実習2（生活援助）	2前	2			1		3			
	精神看護学概論	1後	1				1				
	成人老年看護学概論A	2前	1				2	1			
	成人老年看護学概論B	2後	1			1	1	3			
	小児看護学概論	2前	1			1	2				
	小児看護学実習A（健康な小児の看護）	3後	1			1	2				

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
日常生活支援	看護学概論	1前	1			2		1			
	看護コミュニケーション論	1後	1			2		3			
	ヘルスアセスメント	1後	2			2	1	4			
	基礎看護技術演習	1後	2			2	1	3			2
	看護過程論	2前	1			1	1	3			
	基礎看護学実習1（看護の対象理解）	1後	1			2	1	3			
	基礎看護学実習2（生活援助）	2前	2			2	1	4			7
	精神看護学概論	1後	1			1		1			
	成人老年看護学概論A	2前	1			1					
	成人老年看護学概論B	2後	1			1	1				
	小児看護学概論	2前	1			1		1	1		1
	小児看護学実習A（健康な小児の看護）	3後	1			1	0	1	1		1

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
療養生活支援	臨床看護技術演習1（治療・処置）	2前	2			1		3			2
	臨床看護技術演習2（薬物療法・検査）	2後	1			1		3			3
	疾病と看護A（消化器）	2前	2			1	2	1			4
	疾病と看護B（呼吸器・循環器）	2前	2			2	1				3
	疾病と看護C（腎・泌尿器・皮膚）	2前	2			1	2	2			3
	疾病と看護D（神経・運動器）	2後	2			1	1	2			3
	疾病と看護E（代謝・免疫・感覚器）	2後	3			1	2	2			5
	疾病と看護F（周手術期）	2後	2				1	1			4
	在宅看護学概論	3前	2				1	1			1
	在宅看護学	3前	2				1	1			2
	在宅看護学実習	3後	2				1	1			4
療養生活支援	小児看護学	2後	2			1	2				3
	小児看護学演習	3前	1			1	2				1
	小児看護学実習B（健康障がいのある小児の看護）	3後・4前	1			1	2				1
	老年看護学演習	3前	1				1	2			1
	成人看護学演習	3前	2			1	2	1			1
	成人看護学実習	3後・4前	6			1	2	1			1
	老年看護学実習A（健康障害を持つ高齢者の看護）	3後・4前	3				1	2			1
	老年看護学実習B（施設で生活する高齢者の看護）	3後	1				1	2			1
	精神看護学	3前	2					1			2
	精神看護学実習	3後・4前	2				1	1	1		1

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
療養生活支援	臨床看護技術演習1（治療・処置）	2前	2			2	1	3			1
	臨床看護技術演習2（薬物療法・検査）	2後	1			2	1	3			2
	疾病と看護A（消化器）	2前	2			1	1	2			6
	疾病と看護B（呼吸器・循環器）	2前	2			1	1	1			3
	疾病と看護C（腎・泌尿器・皮膚）	2前	2			2	2	1			3
	疾病と看護D（神経・運動器）	2後	2					1			4
	疾病と看護E（代謝・免疫・感覚器）	2後	3			2	1	1			5
	疾病と看護F（周手術期）	2後	2				1	2	1		4
	在宅看護学概論	3前	2				1	1			1
	在宅看護学	3前	2				1	1			4
	在宅看護学実習	3後	2				1	1			5
療養生活支援	小児看護学	2後	2			1		1			4
	小児看護学演習	3前	1			1		1	1		1
	小児看護学実習B（健康障がいのある小児の看護）	3後・4前	1			1		1	1		1
	老年看護学演習	3前	1				1	1			
	成人看護学演習	3前	2			1	1	3	2		1
	成人看護学実習	3後・4前	6			1	1	3	2		2
	老年看護学実習A（健康障害を持つ高齢者の看護）	3後・4前	3				1	1	1		
	老年看護学実習B（施設で生活する高齢者の看護）	3後	1				1	1	1		
	精神看護学	3前	2			1		1			2
	精神看護学実習	3後・4前	2			1		1			2

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
健康維持増進支援	母性看護学概論	2後	2			2			1		
	母性看護学	3前	2			2			1		1
	母性看護学実習	3後・4前	2			2			1		3
	地域精神保健福祉と看護	3前	1				1		1		
	健康教育学	2後	1			1	1	1	1		
	養護概説	2後		2				1			
	学校保健	3前		2		1		1			1
	家族看護学	4後	1			1					
	公衆衛生看護技術論	4前		2		1	1	1	1		2
	公衆衛生看護学概論	2前	2			1	1	2	1		
	行政保健師活動論	3前		2			1	1	1		
	産業保健看護学	3前		2		1	1	1	1		1
	産業保健看護学実習	3後・		1		1	1	1	1		1
	行政保健師実習	3後・4前		4		1	1	1	1		2

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
健康維持増進支援	母性看護学概論	2後	2			2					1
	母性看護学	3前	2			2					2
	母性看護学実習	3後・4前	2			2					6
	地域精神保健福祉と看護	3前	1			1		1			
	健康教育学	2後	1			1	2	1			
	養護概説	2後		2				1			
	学校保健	3前		2				2			1
	家族看護学	4後	1			1			1		
	公衆衛生看護技術論	4前		2		1	2	1			
	公衆衛生看護学概論	2前	2			1	2	2			
	行政保健師活動論	3前		2			2	1			
	産業保健看護学	3前		2		1	2	1			
	産業保健看護学実習	3後・4前		1		1	2	1			
	行政保健師実習	3後・4前		4		1	2	1			

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
看護の統合	保健医療パートナーシップ総論	1後	1			1					5
	看護管理論	4前	1				2				
	国際看護論	2前		2			1	1			3
	看護情報学	2・3前		1				1			
	医療経済学	2・4後		1							1
	看護教育学	4後		1			1				
	国際コミュニケーションA（国内）	2前		1							1
	国際コミュニケーションB（ハワイ）	1・2前		1			1				
	国際看護基礎演習A	2・3後		1		1					
	国際看護演習A（デンマーク）	2・3後		2		1					
	国際看護基礎演習B	3後		1		1					
	国際看護演習B（メイヨ）	3後		2		1					
	保健医療パートナーシップ演習	2後	1								5
	救急・災害看護論	4後		2			1				
	退院支援・在宅ケアマネジメント論	4前		2			1	1			1
	公衆衛生看護管理論	4後		1		1	1	1	1		
	統合実習	4前・後	2			6	8	9	3		
	看護研究概論	3前	1			3	1				
	専門看護ゼミナール	4前・後	2			8	8	9	3		

卒業要件及び履修方法

以下の合計で125単位修得する。
（履修科目の登録の上限：24単位（１学期））

□科目区分Ⅰ現代文明論　（必修科目）　2単位修得
□科目区分Ⅱ現代教養科目（必修科目）　12単位修得
□科目区分Ⅲ英語科目　（必修科目）　8単位修得
□科目区分Ⅳ主専攻科目　103単位修得
（必修科目）97単位修得
（選択科目）6単位修得

合計125単位修得

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
看護の統合	保健医療パートナーシップ総論	1後	1			1					
	看護管理論	4前	1			1		1			
	国際看護論	2前		2			4	1	1		
	看護情報学	2・3前		1				2			
	医療経済学	2・4後		1							1
	看護教育学	4後		1				1			
	国際コミュニケーションA（国内）	2前		1							1
	国際コミュニケーションB（ハワイ）	1・2前		1				1			
	国際看護基礎演習A	2・3前		1		1					
	国際看護演習A（デンマーク）	2・3前		2		1					
	国際看護基礎演習B	3後		1				1			
	国際看護演習B（メイヨ）	3後		2				1			
	保健医療パートナーシップ演習	4前	1			5	1	7			
	救急・災害看護論	4後		2			1	1	1		
	退院支援・在宅ケアマネジメント論	4前		2			1	1			1
	公衆衛生看護管理論	4後		1		1	2	1			
	統合実習	4前・後	2			6	5	10	3		1
	看護研究概論	3前	1			3	0	1			
	専門看護ゼミナール	4前・後	2			7	6	12	3		

卒業要件及び履修方法

以下の合計で125単位修得する。
（履修科目の登録の上限：24単位（１学期））

□科目区分Ⅰ現代文明論　（必修科目）　2単位修得
□科目区分Ⅱ現代教養科目（必修科目）　12単位修得
□科目区分Ⅲ英語科目　（必修科目）　8単位修得
□科目区分Ⅳ主専攻科目　103単位修得
（必修科目）97単位修得
（選択科目）6単位修得

合計125単位修得

【平成３０年度】

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
Ⅰ現代文明論		現代文明論	1後	2								3
Ⅱ現代教養科目	基礎教養科目	人文科学	1前	2								4
		社会科学	1前	2								4
		自然科学	1後	2								4
	発展教養科目	シティズンシップ	1前	1					1			2
		ボランティア	1前	1								3
		地域理解	1後	1								2
		国際理解	1後	1								3
	健康スポーツ科目	健康・フィットネス理論実習	1前	1								3
		生涯スポーツ理論実習	1後	1								4
Ⅲ英語科目	英語コミュニケーション科目	英語リスニング＆スピーキング	1前	2								3
		英語リーディング＆ライティング	1前	2								3
	グローバル人材育成科目	グローバルスキル	1後	2								3
		アカデミック英語	1後	2								3

【令和元年度】

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
Ⅰ現代文明論		現代文明論	1後	2								3
Ⅱ現代教養科目	基礎教養科目	人文科学	1前	2								5
		社会科学	1前	2								4
		自然科学	1後	2								4
	発展教養科目	シティズンシップ	1前	1								3
		ボランティア	1前	1								3
		地域理解	1後	1								4
		国際理解	1後	1								4
	健康スポーツ科目	健康・フィットネス理論実習	1前	1								6
		生涯スポーツ理論実習	1後	1								7
Ⅲ英語科目	英語コミュニケーション科目	英語リスニング＆スピーキング	1前	2								3
		英語リーディング＆ライティング	1前	2								3
	グローバル人材育成科目	グローバルスキル	1後	2								3
		アカデミック英語	1後	2								3

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
Ⅳ主専攻科目	人間	表現技法の基礎	1前	1			1	1	2	1		0
		人体の構造と機能1	1前	2			1					
		人体の構造と機能2	1後	2					1			0
		ENGLISH OF NURSING STUDY ABROAD	2・3前		1							1
		人間工学	1・4後		1							1
		保健医療行動学	2・3前		1							1
	健康	感染と防御	2前	2					1			3
		薬理学	2後	2								3
		看護の基礎理科	1前	1			1					2
		栄養と代謝	1前	1								2
		健康科学論	1前	1			6	1				2
		健康障害と栄養	2後	1								1
		公衆衛生学	2前	2			1					1
	社会／環境	生活環境論	1前		2							1
		保健医療情報学1（情報科学）	1前	1			1					1
		保健医療情報学2（医療統計）	1後	1			1					1
		保健医療関係法規	2後	1			1					
		社会保障論	2前	1								1
		保健医療福祉行政論	2前	1								1
		社会福祉論	2前		2							1
		疫学	3前		2		1					
		臨床工学	2・3・4		1							1
	日常生活支援	看護学概論	1前	1			1	1				0
		看護コミュニケーション論	1後	1			1	1	5			1
		ヘルスアセスメント	1後	2			1	1	5			1
		基礎看護技術演習	1後	2			1	1	4			2
		看護過程論	2前	1					3			1
		基礎看護学実習1（看護の対象理	1後	1			1	1	4			
		基礎看護学実習2（生活援助）	2前	2			1		3			
		精神看護学概論	1後	1				1	1	1		
		成人老年看護学概論A	2前	1				2	1			
		成人老年看護学概論B	2後	1			1	1	3			
		小児看護学概論	2前	1			1	2				
		小児看護学実習A（健康な小児の看	3後	1			1	2				

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
Ⅳ主専攻科目	人間	表現技法の基礎	1前	1			0	2	2	0		0
		人体の構造と機能1	1前	2			1					
		人体の構造と機能2	1後	2					1			0
		ENGLISH OF NURSING STUDY ABROAD	2・3前		1				1			1
		人間工学	1・4後		1							1
		保健医療行動学	2・3前		1							1
	健康	感染と防御	2前	2					1			4
		薬理学	2後	2								7
		看護の基礎理科	1前	1			1					2
		栄養と代謝	1前	1								2
		健康科学論	1前	1			6	2				1
		健康障害と栄養	2後	1								1
		公衆衛生学	2後	2			0		1			0
	社会／環境	生活環境論	1前		2							1
		保健医療情報学1（情報科学）	1前	1			0		1			0
		保健医療情報学2（医療統計）	1後	1			0		1			0
		保健医療関係法規	2前	1			0		1			
		社会保障論	2前	1								1
		保健医療福祉行政論	2前	1								1
		社会福祉論	2前		2							1
		疫学	3前		2		0					
		臨床工学	2・3・4		1							1
	日常生活支援	看護学概論	1前	1			1	1	1			0
		看護コミュニケーション論	1後	1			1	1	5			1
		ヘルスアセスメント	1後	2			1	1	5			1
		基礎看護技術演習	1後	2			1	1	2			2
		看護過程論	2前	1				1	3			0
		基礎看護学実習1（看護の対象理	1後	1			1	1	3			
		基礎看護学実習2（生活援助）	2前	2			1	1	5			8
		精神看護学概論	1後	1			1	0	1	0		
		成人老年看護学概論A	2前	1			1	1	1			
		成人老年看護学概論B	2後	1			1	1	2			
		小児看護学概論	2前	1			1	1	1			1
		小児看護学実習A（健康な小児の看	3後	1			1	1				

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
療養生活支援	臨床看護技術演習1（治療・処置）	2前	2			1		3			2
	臨床看護技術演習2（薬物療法・検	2後	1			1		3			3
	疾病と看護A（消化器）	2前	2			1	2	1			4
	疾病と看護B（呼吸器・循環器）	2前	2			2	1				3
	疾病と看護C（腎・泌尿器・皮膚）	2前	2			1	2	2			3
	疾病と看護D（神経・運動器）	2後	2			1	1	2			3
	疾病と看護E（代謝・免疫・感覚器）	2後	3			1	2	2			5
	疾病と看護F（周手術期）	2後	2				1	1			4
	在宅看護学概論	3前	2				1	1			1
	在宅看護学	3前	2				1	1			2
	在宅看護学実習	3後	2				1	1			4
療養生活支援	小児看護学	2後	2			1	2				3
	小児看護学演習	3前	1			1	2				1
	小児看護学実習B（健康障がいのある小児の看護）	3後・4前	1			1	2				1
	老年看護学演習	3前	1				1	2			1
	成人看護学演習	3前	2			1	2	1			1
	成人看護学実習	3後・4前	6			1	2	1			1
	老年看護学実習A（健康障害を持つ高齢者の看護）	3後・4前	3				1	2			1
	老年看護学実習B（施設で生活する	3後	1				1	2			1
	精神看護学	3前	2					1			2
	精神看護学実習	3後・4前	2				1	1	1		1

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
療養生活支援	臨床看護技術演習1（治療・処置）	2前	2			1	1	4			2
	臨床看護技術演習2（薬物療法・検	2後	1			1	1	4			2
	疾病と看護A（消化器）	2前	2			1	1	2			6
	疾病と看護B（呼吸器・循環器）	2前	2			1	1		1		3
	疾病と看護C（腎・泌尿器・皮膚）	2前	2			2	1	2			2
	疾病と看護D（神経・運動器）	2後	2			1	1	2			4
	疾病と看護E（代謝・免疫・感覚器）	2後	3			2		3			5
	疾病と看護F（周手術期）	2後	2				1	1	2		3
	在宅看護学概論	3前	2				1	1			0
	在宅看護学	3前	2				1	1			1
	在宅看護学実習	3後	2				1	1			2
療養生活支援	小児看護学	2後	2			1	1	1			3
	小児看護学演習	3前	1			1	1				1
	小児看護学実習B（健康障がいのある小児の看護）	3後・4前	1			1	1				1
	老年看護学演習	3前	1				1	2			1
	成人看護学演習	3前	2			1	2	1			1
	成人看護学実習	3後・4前	6			1	2	1			1
	老年看護学実習A（健康障害を持つ高齢者の看護）	3後・4前	3				1	2			1
	老年看護学実習B（施設で生活する	3後	1				1	2			1
	精神看護学	3前	2					1			2
	精神看護学実習	3後・4前	2			1	0	1	1		1

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
健康維持増進支援	母性看護学概論	2後	2			2			1		
	母性看護学	3前	2			2			1		1
	母性看護学実習	3後・4前	2			2			1		3
	地域精神保健福祉と看護	3前	1				1		1		
	健康教育学	2後	1			1	1	1	1		
	養護概説	2後		2				1			
	学校保健	3前		2		1		1			1
	家族看護学	4後	1			1					
	公衆衛生看護技術論	4前		2		1	1	1	1		2
	公衆衛生看護学概論	2前	2			1	1	2	1		
	行政保健師活動論	3前		2			1	1	1		
	産業保健看護学	3前		2		1	1	1	1		1
	産業保健看護学実習	3後・4前		1		1	1	1	1		1
	行政保健師実習	3後・4前		4		1	1	1	1		2

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
健康維持増進支援	母性看護学概論	2後	2			2			1		
	母性看護学	3前	2			2			1		0
	母性看護学実習	3後・4前	2			2			1		3
	地域精神保健福祉と看護	3前	1			1	0		1		
	健康教育学	2後	1			1	1	2	0		
	養護概説	2後		2				1			
	学校保健	3前		2		1		1			1
	家族看護学	4後	1			1					
	公衆衛生看護技術論	4前		2		1	1	2	0		2
	公衆衛生看護学概論	2前	2			1	1	3	0		
	行政保健師活動論	3前		2			1	2	0		
	産業保健看護学	3前		2		1	1	2	0		1
	産業保健看護学実習	3後・4前		1		1	1	2	0		1
	行政保健師実習	3後・4前		4		1	1	2	0		2

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
看護の統合	保健医療パートナーシップ総論	1後	1			2					4
	看護管理理論	4前	1				2				
	国際看護論	2前		2			1	1			3
	看護情報学	2・3前		1				1			
	医療経済学	2・4後		1							1
	看護教育学	4後		1			1				
	国際コミュニケーションA（国内）	2前		1							1
	国際コミュニケーションB（ハワイ）	1・2前		1			1				1
	国際看護基礎演習A	2・3後		1		1					
	国際看護演習A（デンマーク）	2・3後		2		1					
	国際看護基礎演習B	3後		1		1					
	国際看護演習B（メイヨ）	3後		2		1					
	保健医療パートナーシップ演習	2後	1								3
	救急・災害看護論	4後		2			1				
	退院支援・在宅ケアマネジメント論	4前		2			1	1			1
	公衆衛生看護管理論	4後		1		1	1	1	1		
	統合実習	4前・後	2			6	8	9	3		
	看護研究概論	3前	1			3	1				
			2			8	8	9	3		
	専門看護ゼミナール	4前・後									

卒業要件及び履修方法

以下の合計で125単位修得する。
（履修科目の登録の上限：24単位（１学期））

□科目区分Ⅰ現代文明論　（必修科目）　2単位修得
□科目区分Ⅱ現代教養科目（必修科目）　12単位修得
□科目区分Ⅲ英語科目　（必修科目）　8単位修得
□科目区分Ⅳ主専攻科目　103単位修得
（必修科目）97単位修得
（選択科目）6単位修得

合計125単位修得

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
看護の統合	保健医療パートナーシップ総論	1後	1			2					4
	看護管理理論	4前	1			1	1				
	国際看護論	2前		2			3	1			2
	看護情報学	2・3前		1				2			
	医療経済学	2・4後		1							1
	看護教育学	4後		1			1				
	国際コミュニケーションA（国内）	2前		1							1
	国際コミュニケーションB（ハワイ）	1・2前		1			0	1			0
	国際看護基礎演習A	2・3後		1		0		1			
	国際看護演習A（デンマーク）	2・3後		2		0		1			
	国際看護基礎演習B	3後		1		1					
	国際看護演習B（メイヨ）	3後		2		1					
	保健医療パートナーシップ演習	2後	1								3
	救急・災害看護論	4後		2			1				
	退院支援・在宅ケアマネジメント論	4前		2			1	1			0
	公衆衛生看護管理論	4後		1		1	1	2	0		
	統合実習	4前・後	2			7	6	10	2		
	看護研究概論	3前	1			3	0				
			2			8	6	10	2		
	専門看護ゼミナール	4前・後									

卒業要件及び履修方法

以下の合計で125単位修得する。
（履修科目の登録の上限：24単位（１学期））

□科目区分Ⅰ現代文明論　（必修科目）　2単位修得
□科目区分Ⅱ現代教養科目（必修科目）　12単位修得
□科目区分Ⅲ英語科目　（必修科目）　8単位修得
□科目区分Ⅳ主専攻科目　103単位修得
（必修科目）97単位修得
（選択科目）6単位修得

合計125単位修得

【令和２年度】

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
Ⅰ現代文明論		現代文明論	1後	2								2
Ⅱ現代教養科目	基礎教養科目	人文科学	1前	2								7
		社会科学	1前	2								9
		自然科学	1後	2								7
	発展教養科目	シティズンシップ	1前	1								4
		ボランティア	1前	1								4
		地域理解	1後	1								4
		国際理解	1後	1								4
	健康スポーツ科目	健康・フィットネス理論実習	1前	1								12
		生涯スポーツ理論実習	1後	1								13
Ⅲ英語科目	英語コミュニケーション科目	英語リスニング＆スピーキング	1前	2								16
		英語リーディング＆ライティング	1前	2								16
	グローバル人材育成科目	グローバルスキル	1後	2								14
		アカデミック英語	1後	2								14
Ⅳ主専攻科目	人間	表現技法の基礎	1前	1			0	2	1	0		0
		人体の構造と機能1	1前	2			1					
		人体の構造と機能2	1後	2					3			1
		ENGLISH OF NURSING STUDY ABROAD	2・3前		1							1
		人間工学	1・4後		1							1
		保健医療行動学	2・3前		1							1
	健康	感染と防御	2前	2				1				5
		薬理学	2後	2								7
		看護の基礎理科	1前	1			1					2
		栄養と代謝	1前	1								2
		健康科学論	1前	1			4	2				1
		健康障害と栄養	2後	1								1
		公衆衛生学	2後	2			0		1			0

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
社会／環境	生活環境論	1前		2							1
	保健医療情報学1（情報科学）	1前	1			0		1			0
	保健医療情報学2（医療統計）	1後	1			0		1			0
	保健医療関係法規	2前	1			0		1			
	社会保障論	2前	1								1
	保健医療福祉行政論	2前	1								1
	社会福祉論	2前		2							1
	疫学	3前		2		0		1			
	臨床工学	2・3・4前		1							1
日常生活支援	看護学概論	1前	1			2	0	1			0
	看護コミュニケーション論	1後	1			2	0	3			2
	ヘルスアセスメント	1後	2			2		4			1
	基礎看護技術演習	1後	2			2		3			3
	看護過程論	2前	1			1		3			0
	基礎看護学実習1（看護の対象理	1後	1			2		2			1
	基礎看護学実習2（生活援助）	2前	2			2		4			7
	精神看護学概論	1後	1			1	0	1			
	成人老年看護学概論A	2前	1			1	1	0			
	成人老年看護学概論B	2後	1			0	1	0			
	小児看護学概論	2前	1			1	1	1			1
	小児看護学実習A（健康な小児の看護）	3後	1			1	0	1			2
療養生活支援	臨床看護技術演習1（治療・処置）	2前	2			2	0	4			1
	臨床看護技術演習2（薬物療法・検	2後	1			2		4			1
	疾病と看護A（消化器）	2前	2			1	1	0			6
	疾病と看護B（呼吸器・循環器）	2前	2			1	1	1			3
	疾病と看護C（腎・泌尿器・皮膚）	2前	2			1	3	1			3
	疾病と看護D（神経・運動器）	2後	2			0	1	1			4
	疾病と看護E（代謝・免疫・感覚器）	2後	3			2	2	1	1		5
	疾病と看護F（周手術期）	2後	2				1	1	2		3
	在宅看護学概論	3前	2				1	1			0
	在宅看護学	3前	2				1	1			1
	在宅看護学実習	3後	2				2	0			5

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
療養生活支援	小児看護学	2後	2			1	1	1			4
	小児看護学演習	3前	1			1	1	1			2
	小児看護学実習B（健康障がいのある小児の看護）	3後・4前	1			1	1	1			2
	老年看護学演習	3前	1				2	1			0
	成人看護学演習	3前	2			1	1	2	2		1
	成人看護学実習	3後・4前	6			1	1	2	2		2
	老年看護学実習A（健康障害を持つ高齢者の看護）	3後・4前	3				1	1			3
	老年看護学実習B（施設で生活する	3後	1				1	1			0
	精神看護学	3前	2			2		1	1		0
	精神看護学実習	3後・4前	2			1	0	1	1		2
健康維持増進支援	母性看護学概論	2後	2			2			1		
	母性看護学	3前	2			3			1		0
	母性看護学実習	3後・	2			2			1		6
	地域精神保健福祉と看護	3前	1			1	0	1	0		
	健康教育学	2後	1			1	1	2	0		
	養護概説	2後		2				1			
	学校保健	3前		2		1		2			1
	家族看護学	4後	1			1					
	公衆衛生看護技術論	4前		2		1	1	2	0		0
	公衆衛生看護学概論	2前	2			1	1	3	0		
	行政保健師活動論	3前		2			1	2	0		
	産業保健看護学	3前		2		1	1	2	0		0
	産業保健看護学実習	3後・4前		1		0	0	2	0		0
	行政保健師実習	3後・4前		4		1	1	2	0		2

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
看護の統合	保健医療パートナーシップ総論	1後	1			2	1				6
	看護管理論	4前	1			1	1	1			
	国際看護論	2前		2			4	1			1
	看護情報学	2・3前		1				1			1
	医療経済学	2・4後		1							1
	看護教育学	4後		1			1				
	国際コミュニケーションA（国内）	2前		1							1
	国際コミュニケーションB（ハワイ）	1・2前		1			0	1			0
	国際看護基礎演習A	2・3後		1		0		1			
	国際看護演習A（デンマーク）	2・3後		2		0		1			
	国際看護基礎演習B	3後		1		0		1			1
	国際看護演習B（メイヨ）	3後		2		0		1			
	保健医療パートナーシップ演習	4前	1								5
	救急・災害看護論	4後		2			1		2		
	退院支援・在宅ケアマネジメント論	4前		2			1	1			0
	公衆衛生看護管理論	4後		1		1	1	2	0		
	統合実習	4前・後	2			7	5	11	3		2
	看護研究概論	3前	1			3	0	1			
	専門看護ゼミナール	4前・後	2			8	5	13	3		1

卒業要件及び履修方法

以下の合計で125単位修得する。
（履修科目の登録の上限：24単位（１学期））

□科目区分Ⅰ現代文明論　（必修科目）　2単位修得
□科目区分Ⅱ現代教養科目（必修科目）　12単位修得
□科目区分Ⅲ英語科目　（必修科目）　8単位修得
□科目区分Ⅳ主専攻科目　103単位修得
（必修科目）97単位修得
（選択科目）6単位修得

合計125単位修得

（注）・　報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
・　認可申請書又は設置届出書の様式第２号（その２の１）に準じて作成してください。
・　各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
・　「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て（兼任、兼担教員が担当する科目を含む。）を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
・　履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「（未開講）」として記入してください。
・　１ページ目には認可時又は届出時と報告年度２つの表を記入してください。
・　不要な年度（令和元年度開設であれば平成３０年度）の表は適宜削除してください。
（２つの表が１ページに表示されるようにしてください。）
・　専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

（１）－②授業科目表に関する変更内容

【平成３０年度】

【配当年次の変更】
教育効果を高めるため、科目間の連携と学生の履修順序を考慮して時間割を再調整したことにより、配当年次を次のとおり変更した。
「人文科学」（1後⇒1前）、「シティズンシップ」（1後⇒1前）、「ボランティア」（1後⇒1前）、「地域理解」（1前⇒1後）、「国際理解」（1前⇒1後）

【専任教員等の配置の変更】
①教育効果を高めるため受講学生数を見直し、クラス数を再編成したことに伴い、専任教員等の配置を次のとおり変更した。
「現代文明論」（兼担兼任1⇒3）、「人文科学」（兼担兼任1⇒4）、「社会科学」（兼担兼任1⇒4）、「自然科学」（兼担兼任1⇒4）「シティズンシップ」（兼担兼任1⇒講師1兼担兼任2）、「ボランティア」（兼担兼任1⇒3）、「地域理解」（兼担兼任1⇒2）、「国際理解」（兼担兼任1⇒3）

②教育課程の充実を目指し、スポーツ種目・クラス数を再編成したことに伴い、専任教員等の配置を次のとおり変更した。
「健康・フィットネス理論実習」（兼担兼任2⇒兼担兼任3）、「生涯スポーツ理論実習」（兼担兼任2⇒4）

③英語力の向上を目指した入学時の学力調査方法の変更に伴ってクラス数を再編成したことにより、専任教員等の配置を次のとおり変更した。
「英語リスニング＆スピーキング」（兼担兼任1⇒3）、「英語リーディング＆ライティング」（兼担兼任1⇒3）、「グローバルスキル」（兼担兼任1⇒3）、「アカデミック英語」（兼担兼任1⇒3）

④教育効果を高めるため、科目間の連携を考慮して担当教員を再調整したことに伴い、専任教員等の配置を次のとおり変更した。
「国際コミュニケーションＢ（ハワイ）」（兼担兼任0⇒兼担兼任1）

⑤教育効果を高めるため、より専門性の高い教員を担当とすべく再調整したことに伴い、専任教員等の配置を次のとおり変更した。
「表現技法の基礎」（兼担兼任2⇒教授1准教授1講師2助教1兼担兼任0）、「人体の構造と機能２（解剖生理学）」（兼担兼任1⇒講師1兼担兼任0）、「薬理学」（兼担兼任4⇒兼担兼任3）、「健康科学論」（教授4⇒教授6准教授1）、「看護学概論」（兼担兼任1⇒准教授1兼担兼任0）、「英語コミュニケーション論」（講師4⇒准教授1講師5）、「ヘルスアセスメント」（講師3兼担兼任2⇒准教授3講師5兼担兼任1）、「基礎看護技術演習」（講師3⇒准教授1講師4）、「基礎看護学実習１（看護の対象理解）」（講師3⇒准教授1講師4）、「精神看護学概論」（講師0助教0⇒講師1助教1）、「保健医療パートナーシップ総論」（教授1兼担兼任5⇒教授2兼担兼任4）、「保健医療パートナーシップ演習」（兼担兼任5⇒兼担兼任3）

【令和元年度】

【配当年次の変更】
教育効果を高めるため、科目間の連携と学生の履修順序を考慮して時間割を再調整したことにより、配当年次を次のとおり変更した。
「保健医療パートナーシップ演習」（2後⇒4前）

【専任教員等の配置の変更】
①教員組織を充実させるため、担当教員を昇格させたこと。
②教育効果を高めるため、科目間の連携を考慮して担当教員を再調整したこと。
③教育効果を高めるため、より専門性の高い教員を担当とすべく担当教員を再調整したこと。
以上により、次のとおり変更した。
「現代文明論」（兼担兼任3⇒2）、「人文科学」（兼担兼任5⇒7）、「社会科学」（兼担兼任4⇒9）、「自然科学」（兼担兼任4⇒7）、「シティズンシップ」（兼担兼任3⇒4）、「ボランティア」（兼担兼任3⇒4）、「健康・フィットネス理論実習」（兼担兼任6⇒12）、「生涯スポーツ理論実習」（兼担兼任7⇒13）、「英語リスニング＆スピーキング」（兼担兼任3⇒16）、「英語リーディング＆ライティング」（兼担兼任3⇒16）、「グローバルスキル」（兼担兼任3⇒14）、「アカデミック英語」（兼担兼任3⇒14）、「表現技法の基礎」（講師2⇒1）、「人体の構造と機能２（解剖生理学）」（講師1兼担兼任0⇒講師3兼担兼任1）、「ENGLISH OF NURSING STUDY ABROAD」（講師1⇒0）、「感染と防御」（准教授0講師1兼担兼任4⇒准教授1講師0兼担兼任5）、「健康科学論」（教授6⇒4）、「疫学」（講師0⇒1）、「看護学概論」（教授1准教授1⇒教授2准教授0）、「看護コミュニケーション論」（教授1准教授1講師5兼担兼任1⇒教授2准教授0講師3兼担兼任2）、「ヘルスアセスメント」（教授1准教授1講師5⇒教授2准教授0講師4）、「基礎看護技術演習」（教授1准教授1講師2兼担兼任2⇒教授2准教授0講師3兼担兼任3）、「看護過程論」（教授0准教授1⇒教授1准教授0）、「基礎看護学実習１（看護の対象理解）」（教授1准教授1講師3兼担兼任0⇒教授2准教授0講師2兼担兼任1）、「基礎看護学実習２（生活援助）」（教授1准教授1講師5兼担兼任8⇒教授2准教授0講師4兼担兼任7）、「成人老年看護学概論Ａ」（講師1⇒0）、「成人老年看護学概論Ｂ」（教授1講師2⇒教授0講師0）、「小児看護学実習Ａ（健康な小児の看護）」（准教授1講師0兼担兼任0⇒准教授0講師1兼担兼任2）、「臨床看護技術演習１（治療・処置）」（教授1准教授1兼担兼任2⇒教授2准教授0兼担兼任1）、「臨床看護技術演習２（薬物療法・検査）」（教授1准教授1兼担兼任2⇒教授2准教授0兼担兼任1）、「疾病と看護Ａ（消化器）」（講師2⇒0）、「疾病と看護Ｂ（呼吸器・循環器）」（講師0助教1⇒講師1助教0）、「疾病と看護Ｃ（腎・泌尿器・皮膚）」（教授2准教授1講師2兼担兼任2⇒教授1准教授3講師1兼担兼任3）、「疾病と看護Ｄ（神経・運動器）」（教授1講師2⇒教授0講師1）、「疾病と看護Ｅ（代謝・免疫・感覚器）」（准教授0講師3助教0⇒准教授2講師1助教1）、「在宅看護学実習」（准教授1講師1兼担兼任2⇒准教授2講師0兼担兼任5）、「小児看護学」（兼担兼任3⇒4）、「小児看護学演習」（講師0兼担兼任1⇒講師1兼担兼任2）、「小児看護学実習Ｂ（健康障がいのある小児の看護）」（講師0兼担兼任1⇒講師1兼担兼任2）、「老年看護学演習」（准教授1講師2兼担兼任1⇒准教授2講師1兼担兼任0）、「成人看護学演習」（准教授2講師1助教0⇒准教授1講師2助教2）、「成人看護学実習」（准教授2講師1助教0兼担兼任1⇒准教授1講師2助教2兼担兼任2）、「老年看護学実習Ａ（健康障害を持つ高齢者の看護）」（講師2兼担兼任1⇒講師1兼担兼任3）、「老年看護学実習Ｂ（施設で生活する高齢者の看護）」（講師2兼担兼任1⇒講師1兼担兼任0）、「精神看護学」（教授0助教0兼担兼任2⇒教授2助教1兼担兼任0）、「精神看護学実習」（兼担兼任1⇒2）、「母性看護学」（教授2⇒3）、「母性看護学実習」（兼担兼任3⇒6）、「地域精神保健福祉と看護」（講師0助教1⇒講師1助教0）、「学校保健」（講師1⇒2）、「公衆衛生看護技術論」（兼担兼任2⇒0）、「産業保健看護学」（兼担兼任1⇒0）、「産業保健看護学実習」（教授1准教授1兼担兼任1⇒教授0准教授0兼担兼任0）、「保健医療パートナーシップ総論」（准教授0兼担兼任4⇒准教授1兼担兼任6）、「看護管理論」（講師0⇒1）、「国際看護論」（准教授3兼担兼任2⇒准教授4兼担兼任1）、「看護情報学」（講師2兼担兼任0⇒講師1兼担兼任1）、「国際看護基礎演習Ｂ」（教授1講師0兼担兼任0⇒教授0講師1兼担兼任1）、「国際看護演習Ｂ（メイヨ）」（教授1講師0⇒教授0講師1）、「保健医療パートナーシップ演習」（兼担兼任3⇒5）、「救急・災害看護論」（助教0⇒2）、「統合実習」（准教授6講師10助教2兼担兼任0⇒准教授5講師11助教3兼担兼任2）、「看護研究概論」（講師0⇒1）、「専門看護ゼミナール」（准教授6講師10助教2兼担兼任0⇒准教授5講師13助教3兼担兼任1）

【令和２年度】

【配当年次の変更】
教育効果を高めるため、科目間の連携と学生の履修順序を考慮して時間割を再調整したことにより、配当年次を次のとおり変更した。
「保健医療パートナーシップ演習」（2後⇒4前）

【専任教員等の配置の変更】
①教員組織を充実させるため、担当教員を昇格させたこと。
②教育効果を高めるため、科目間の連携を考慮して担当教員を再調整したこと。
③教育効果を高めるため、より専門性の高い教員を担当とすべく担当教員を再調整したこと。
以上により、次のとおり変更した。
「現代文明論」（兼担兼任3⇒2）、「人文科学」（兼担兼任5⇒7）、「社会科学」（兼担兼任4⇒9）、「自然科学」（兼担兼任4⇒7）、「シティズンシップ」（兼担兼任3⇒4）、「ボランティア」（兼担兼任3⇒4）、「健康・フィットネス理論実習」（兼担兼任6⇒12）、「生涯スポーツ理論実習」（兼担兼任7⇒13）、「英語リスニング＆スピーキング」（兼担兼任3⇒16）、「英語リーディング＆ライティング」（兼担兼任3⇒16）、「グローバルスキル」（兼担兼任3⇒14）、「アカデミック英語」（兼担兼任3⇒14）、「表現技法の基礎」（講師2⇒1）、「人体の構造と機能２（解剖生理学）」（講師1兼担兼任0⇒講師3兼担兼任1）、「ENGLISH OF NURSING STUDY ABROAD」（講師1⇒0）、「感染と防御」（准教授0講師1兼担兼任4⇒准教授1講師0兼担兼任5）、「健康科学論」（教授6⇒4）、「疫学」（講師0⇒1）、「看護学概論」（教授1准教授1⇒教授2准教授0）、「看護コミュニケーション論」（教授1准教授1講師5兼担兼任1⇒教授2准教授0講師3兼担兼任2）、「ヘルスアセスメント」（教授1准教授1講師5⇒教授2准教授0講師4）、「基礎看護技術演習」（教授1准教授1講師2兼担兼任2⇒教授2准教授0講師3兼担兼任3）、「看護過程論」（教授0准教授1⇒教授1准教授0）、「基礎看護学実習１（看護の対象理解）」（教授1准教授1講師3兼担兼任0⇒教授2准教授0講師2兼担兼任1）、「基礎看護学実習２（生活援助）」（教授1准教授1講師5兼担兼任8⇒教授2准教授0講師4兼担兼任7）、「成人老年看護学概論Ａ」（講師1⇒0）、「成人老年看護学概論Ｂ」（教授1講師2⇒教授0講師0）、「小児看護学実習Ａ（健康な小児の看護）」（准教授1講師0兼担兼任0⇒准教授0講師1兼担兼任2）、「臨床看護技術演習１（治療・処置）」（教授1准教授1兼担兼任2⇒教授2准教授0兼担兼任1）、「臨床看護技術演習２（薬物療法・検査）」（教授1准教授1兼担兼任2⇒教授2准教授0兼担兼任1）、「疾病と看護Ａ（消化器）」（講師2⇒0）、「疾病と看護Ｂ（呼吸器・循環器）」（講師0助教1⇒講師1助教0）、「疾病と看護Ｃ（腎・泌尿器・皮膚）」（教授2准教授1講師2兼担兼任2⇒教授1准教授3講師1兼担兼任3）、「疾病と看護Ｄ（神経・運動器）」（教授1講師2⇒教授0講師1）、「疾病と看護Ｅ（代謝・免疫・感覚器）」（准教授0講師3助教0⇒准教授2講師1助教1）、「在宅看護学実習」（准教授1講師1兼担兼任2⇒准教授2講師0兼担兼任5）、「小児看護学」（兼担兼任3⇒4）、「小児看護学演習」（講師0兼担兼任1⇒講師1兼担兼任2）、「小児看護学実習Ｂ（健康障がいのある小児の看護）」（講師0兼担兼任1⇒講師1兼担兼任2）、「老年看護学演習」（准教授1講師2兼担兼任1⇒准教授2講師1兼担兼任0）、「成人看護学演習」（准教授2講師1助教0⇒准教授1講師2助教2）、「成人看護学実習」（准教授2講師1助教0兼担兼任1⇒准教授1講師2助教2兼担兼任2）、「老年看護学実習Ａ（健康障害を持つ高齢者の看護）」（講師2兼担兼任1⇒講師1兼担兼任3）、「老年看護学実習Ｂ（施設で生活する高齢者の看護）」（講師2兼担兼任1⇒講師1兼担兼任0）、「精神看護学」（教授0助教0兼担兼任2⇒教授2助教1兼担兼任0）、「精神看護学実習」（兼担兼任1⇒2）、「母性看護学」（教授2⇒3）、「母性看護学実習」（兼担兼任3⇒6）、「地域精神保健福祉と看護」（講師0助教1⇒講師1助教0）、「学校保健」（講師1⇒2）、「公衆衛生看護技術論」（兼担兼任2⇒0）、「産業保健看護学」（兼担兼任1⇒0）、「産業保健看護学実習」（教授1准教授1兼担兼任1⇒教授0准教授0兼担兼任0）、「保健医療パートナーシップ総論」（准教授0兼担兼任4⇒准教授1兼担兼任6）、「看護管理論」（講師0⇒1）、「国際看護論」（准教授3兼担兼任2⇒准教授4兼担兼任1）、「看護情報学」（講師2兼担兼任0⇒講師1兼担兼任1）、「国際看護基礎演習Ｂ」（教授1講師0兼担兼任0⇒教授0講師1兼担兼任1）、「国際看護演習Ｂ（メイヨ）」（教授1講師0⇒教授0講師1）、「保健医療パートナーシップ演習」（兼担兼任3⇒5）、「救急・災害看護論」（助教0⇒2）、「統合実習」（准教授6講師10助教2兼担兼任0⇒准教授5講師11助教3兼担兼任2）、「看護研究概論」（講師0⇒1）、「専門看護ゼミナール」（准教授6講師10助教2兼担兼任0⇒准教授5講師13助教3兼担兼任1）

【令和３年度】

【配当年次の変更】
教育効果を高めるため、科目間の連携と学生の履修順序を考慮して時間割を再調整したことにより、配当年次を次のとおり変更した。
「国際看護基礎演習Ａ」（2・3後⇒2・3前）、「国際看護演習Ａ（デンマーク）」（2・3後⇒2・3前）

【専任教員等の配置の変更】
①担当教員が退職したこと。
②教員組織を充実させるため、担当教員を昇格させたこと。
③教育効果を高めるため、科目間の連携を考慮して担当教員を再調整したこと。
④教育効果を高めるため、より専門性の高い教員を担当とすべく担当教員を再調整したこと。
以上により、次のとおり変更した。
「人文科学」（兼担兼任7⇒4）、「社会科学」（兼担兼任9⇒4）、「自然科学」（兼担兼任7⇒4）、「シティズンシップ」（兼担兼任4⇒3）、「ボランティア」（兼担兼任4⇒3）、「健康・フィットネス理論実習」（兼担兼任12⇒4）、「生涯スポーツ理論実習」（兼担兼任13⇒4）、「英語リスニング＆スピーキング」（兼担兼任16⇒3）、「英語リーディング＆ライティング」（兼担兼任16⇒3）、「グローバルスキル」（兼担兼任14⇒3）、「アカデミック英語」（兼担兼任14⇒3）、「表現技法の基礎」（講師1⇒3）、「人体の構造と機能２」（准教授0講師3兼担兼任1⇒准教授1講師2兼担兼任2）、「感染と防御」（兼担兼任5⇒兼担兼任4）、「薬理学」（兼担兼任7⇒2）、「健康科学論」（教授4准教授2⇒教授6准教授1）、「看護コミュニケーション論」（兼担兼任2⇒兼担兼任0）、「ヘルスアセスメント」（准教授0兼担兼任1⇒准教授1兼担兼任0）、「基礎看護技術演習」（准教授0兼担兼任3⇒准教授1兼担兼任2）、「看護過程論」（准教授0⇒1）、「基礎看護学実習１（看護の対象理解）」（准教授0講師2兼担兼任1⇒准教授1講師3兼担兼任0）、「基礎看護学実習２（生活援助）」（准教授0⇒1）、「成人老年看護学概論Ａ」（准教授1⇒0）、「成人老年看護学概論Ｂ」（教授0⇒1）、「小児看護学概論」（准教授1助教0⇒准教授0助教1）、「小児看護学実習Ａ（健康な小児の看護）」（助教0兼担兼任2⇒助教1兼担兼任1）、「臨床看護技術演習１（治療・処置）」（准教授0講師4⇒准教授1講師3）、「臨床看護技術演習２（薬物療法・検査）」（准教授0講師4兼担兼任1⇒准教授1講師3兼担兼任2）、「疾病と看護Ａ（消化器）」（講師0⇒2）、「疾病と看護Ｃ（腎・泌尿器・皮膚）」（教授1准教授3⇒教授2准教授2）、「疾病と看護Ｄ（神経・運動器）」（准教授1⇒0）、「疾病と看護Ｅ（代謝・免疫・感覚器）」（准教授2助教1⇒准教授1助教0）、「疾病と看護Ｆ（周手術期）」（准教授1講師2兼担兼任3⇒准教授2講師1兼担兼任4）「在宅看護学概論」（兼担兼任0⇒1）、「在宅看護学」（兼担兼任1⇒兼担兼任4）、「在宅看護学実習」（准教授2講師0⇒准教授1講師1）、「小児看護学」（准教授1⇒0）、「小児看護学演習」（准教授1助教0兼担兼任2⇒准教授0助教1兼担兼任1）、「小児看護学実習Ｂ（健康障がいのある小児の看護）」（准教授1助教0兼担兼任2⇒准教授0助教1兼担兼任1）、「老年看護学演習」（准教授2⇒1）、「成人看護学演習」（講師2⇒3）、「成人看護学実習」（講師2⇒3）、「老年看護学実習Ａ（健康障害を持つ高齢者の看護）」（講師0兼担兼任3⇒講師1兼担兼任0）、「老年看護学実習Ｂ（施設で生活する高齢者の看護）」（講師0⇒1）、「精神看護学」（教授2助教1兼担兼任0⇒教授1助教0兼担兼任2）、「精神看護学実習」（助教1⇒0）、「母性看護学概論」（助教1兼担兼任0⇒助教0兼担兼任1）、「母性看護学」（教授3助教1兼担兼任0⇒教授2助教0兼担兼任2）、「母性看護学実習」（助教1⇒0）、「健康教育学」（准教授1講師2⇒准教授2講師1）、「学校保健」（教授1⇒0）、「家族看護学」（助教0⇒1）、「公衆衛生看護技術論」（准教授1講師2⇒准教授2講師1）、「公衆衛生看護学概論」（准教授1講師3⇒准教授2講師2）、「行政保健師活動論」（准教授1講師2⇒准教授2講師1）、「産業保健看護学」（准教授1講師2⇒准教授2講師1）、「産業保健看護学実習」（教授0准教授0講師2⇒教授1准教授2講師1）、「行政保健師実習」（准教授1講師2⇒准教授2講師1）、「保健医療パートナーシップ総論」（教授0准教授1兼担兼任6⇒教授1准教授0兼担兼任0）、「看護管理論」（准教授1⇒0）、「国際看護論」（助教0兼担兼任1⇒助教1兼担兼任0）、「看護情報学」（講師1兼担兼任1⇒講師2兼担兼任0）、「看護教育学」（准教授1講師0⇒准教授0講師1）、「国際看護基礎演習Ａ」（教授0講師1⇒教授1講師0）、「国際看護演習Ａ（デンマーク）」（教授0講師1⇒教授1講師0）、「国際看護基礎演習Ｂ」（兼担兼任1⇒0）、「保健医療パートナーシップ演習」（教授0准教授0講師0兼担兼任5⇒教授5准教授1講師7兼担兼任0）、「救急・災害看護論」（准教授0講師2⇒准教授1講師1）、「退院支援・在宅ケアマネジメント論」（兼担兼任1⇒0）、「公衆衛生看護管理論」（准教授1講師2⇒准教授2講師1）、「統合実習」（教授7講師11兼担兼任2⇒教授6講師10兼担兼任1）、「専門看護ゼミナール」（教授8准教授5講師13兼担兼任1⇒教授7准教授6講師12兼担兼任0）

（注）・ ２（１）ー① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、
授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
・ 不要な年度（平成３０年度開設であれば平成２９年度）の表は適宜削除してください。

（２） 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計（A）	必修	選択	自由	計	
75 科目	27 科目	0 科目	102 科目	75 科目 [－]	27 科目 [－]	0 科目 [－]	102 科目 [－]	

（注）・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、［ ］内に、設置時の計画からの増減を
記入してください。（記入例：１科目減の場合：△１）

（3） 未開講科目

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1						
2						
3						

（注）・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

（4） 廃止科目

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1						
2						
3						

（注）・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

（5） 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

（注）・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

（6） 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目（3）と廃止科目（4）の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計（A）}} = \frac{0}{102} = 0\ \%$$

（注）・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「（3）未開講科目」と「（4）廃止科目」の合計数となるように留意してください。

３　施設・設備の整備状況，経費

区　　分	内　　容				備考
（1）校地等	区　分	専　用	共　用	共用する他の学校等の専用	計	土地の売却等に伴う変更（30） 用途変更に伴う変更（２） **土地の売却および用途変更に伴う変更（3）**
	校舎敷地	~~1,614,127.67 ㎡~~ ~~1,609,801.12 ㎡~~ ~~**1,680,407.08 ㎡**~~ **1,770,691.41 ㎡**	2,052.88 ㎡	0.00 ㎡	~~1,616,180.55 ㎡~~ ~~1,611,954.00 ㎡~~ ~~**1,682,459.96 ㎡**~~ **1,772,744.29 ㎡**	
	運動場用地	~~421,731.97 ㎡~~ 396,797.97 ㎡	0.00 ㎡	0.00 ㎡	~~421,731.97 ㎡~~ 396,797.97 ㎡	
	小　計	~~2,035,859.64 ㎡~~ ~~2,031,533.09 ㎡~~ ~~**2,077,205.05 ㎡**~~ **2,167,489.38 ㎡**	2,052.88 ㎡	0.00 ㎡	~~2,037,912.52 ㎡~~ ~~2,033,585.97 ㎡~~ ~~**2,079,257.93 ㎡**~~ **2,169,542.26 ㎡**	
	その他	~~219,768.53 ㎡~~ ~~**316,979.76 ㎡**~~ **211,174.74 ㎡**	0.00 ㎡	0.00 ㎡	~~219,768.53 ㎡~~ ~~**316,979.76 ㎡**~~ **211,174.74 ㎡**	
	合　計	~~2,255,628.17 ㎡~~ ~~2,251,301.62 ㎡~~ ~~**2,394,184.81 ㎡**~~ **2,378,664.14 ㎡**	2,052.88 ㎡	0.00 ㎡	~~2,257,681.05 ㎡~~ ~~2,253,354.50 ㎡~~ ~~**2,396,237.69 ㎡**~~ **2,380,717.02 ㎡**	
（2）校　舎	専　用	共　用	共用する他の学校等の専用	計	用途の見直し等に伴う変更（30） 用途の見直し等に伴う変更（２） **用途の見直し等に伴う変更（3）**
	~~580,976.38 ㎡~~ ~~580,908.23 ㎡~~ ~~**508,835.38 ㎡**~~ **507,523.10 ㎡** （~~580,976.38 ㎡~~） （~~580,908.23 ㎡~~） （~~**508,835.38 ㎡**~~） （**507,523.10 ㎡**）	0.00 ㎡ （0.00 ㎡）	0.00 ㎡ （0.00 ㎡）	~~580,976.38 ㎡~~ 580,908.23 ㎡ （~~580,976.38 ㎡~~） （~~580,908.23 ㎡~~） （~~**508,835.38 ㎡**~~） （**507,523.10 ㎡**）	

（3）教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	備考
	~~507 室~~ ~~461 室~~ ~~466 室~~ ~~**437 室**~~ **453 室**	~~230 室~~ ~~234 室~~ ~~231 室~~ ~~**329 室**~~ **325 室**	~~1,481 室~~ ~~1,308 室~~ ~~1,372 室~~ ~~**1,191 室**~~ **1,217 室**	~~89 室~~ ~~88 室~~ ~~89 室~~ 86 室 ~~（補助職員 18 人）~~ ~~（補助職員 13 人）~~ ~~**（補助職員 21 人）**~~ **（補助職員 20 人）**	~~6 室~~ ~~**7 室**~~ **6 室** （補助職員 0 人）	用途の見直し等に伴う変更（30） 用途の見直し等に伴う変更（元） 用途の見直し等に伴う変更（２） **用途の見直し等に伴う変更（3）**

（4）専任教員研究室	新設学部等の名称	室　数	備考
	医学部　看護学科	~~24~~　~~35~~　~~34~~　~~**36**~~　**32**　室	専任教員就任に伴う変更（30） 専任教員研究室割り当ての再編成等に伴う変更（元） 専任教員研究室割り当ての再編成等に伴う変更（２） **専任教員研究室割り当ての再編成等に伴う変更（3）**

（5）図書・設備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点	備考
	医学部看護学科	70,500[18,200]	490[270]	390[270]	490	0	0	下段には平成30年５月現在の数字を記入（30） 下段には令和元年５月現在の数字を記入（元） 下段には令和２年５月現在の数字を記入（２） **下段には令和３年５月現在の数字を記入（３）**
		~~(68,156[17,973])~~	~~(410[230])~~	~~(318[228])~~	~~(450)~~	(0)	(0)	
		~~(68,709[17,554])~~	~~(411[229])~~	~~(322[227])~~	~~(480)~~	(0)	(0)	
		~~(69,227[17,556])~~	~~(431[229])~~	~~(345[227])~~	~~(485)~~	(0)	(0)	
		~~**(69,577[17,553])**~~	~~**(457[229])**~~	~~**(372[352])**~~	~~**(504)**~~	(0)	(0)	
		(70,511[17,556])	**(493[229])**	**(395[360])**	**(510)**	(0)	(0)	
	計	70,500[18,200]	490[270]	390[270])	490	0	0	
		~~(68,156[17,973])~~	~~(410[230])~~	~~(318[228])~~	~~(450)~~	(0)	(0)	
		~~(68,709[17,554])~~	~~(411[229])~~	~~(322[227])~~	~~(480)~~	(0)	(0)	
		~~(69,227[17,556])~~	~~(431[229])~~	~~(345[227])~~	~~(485)~~	(0)	(0)	
		~~**(69,577[17,553])**~~	~~**(457[229])**~~	~~**(372[352])**~~	~~**(504)**~~	(0)	(0)	
		(70,511[17,556])	**(493[229])**	**(395[360])**	**(510)**	(0)	(0)	

（6）図書館	面　積	閲覧座席数	収納可能冊数	備考
	~~21,620.00 ㎡~~ 20,494.00 ㎡	~~3,567 席~~ 3,568 席	2,248,166 冊	見直しによる変更（２）

（8）経費の見積り及び維持方法の概要	区　分	開設年度	完成年度	区　分	開設前年度	開設年度	完成年度
経費の見積り	教員１人当り研究費等	330千円	330千円	図書購入費	2,250千円	550千円	2,200千円
	共同研究費等	1,947千円	1,947千円	設備購入費	1,050千円	1,050千円	1,050千円

学生１人当り納付金	第１年次	第２年次	第３年次	第４年次	第５年次	第６年次
	1,604千円	1,304千円	1,304千円	1,304千円		

学生納付金以外の維持方法の概要	私立大学等経常経費補助金、資産の運用、手数料及び国庫助成金等

（注）・　設置時の計画を、申請書の様式第２号（その１の１）に準じて作成してください。（複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「（１）校地等」及び「（２）校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はＡＣ対象学部等の数値を記入してください。）

・　運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。

・　「(５)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和３年５月１日現在の数値を記入してください。

・　昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「（２）」を「備考」に赤字で記入してください。

なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。

・　校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。

・　国立大学については「（８）経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4．既設大学等の状況

大学の名称	東海大学						学生募集停止学科数	10	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	0	備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和3年度入学定員超過率	定員変更年度（AC期間の学科のみ）	開設年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
文学部		370	－	1485		1.00	1.04	－	昭和25	神奈川県平塚市北金目4-1-1	
文明学科	4	60	－	240	学士（文学）	1.04	1.13	－	平成13	同上	
ｱｼﾞｱ文明学科	4	－	－	－	学士（文学）	－	－	－	平成13	同上	平成30年度より学生募集停止
ﾖｰﾛｯﾊﾟ文明学科	4	－	－	－	学士（文学）	－	－	－	平成13	同上	平成30年度より学生募集停止
ｱﾒﾘｶ文明学科	4	－	－	－	学士（文学）	－	－	－	平成13	同上	平成30年度より学生募集停止
北欧学科	4	－	－	－	学士（文学）	－	－	－	昭和42	同上	平成30年度より学生募集停止
歴史学科		130	－	525		0.99	0.97	－	昭和35	同上	
日本史専攻	4	50	－	205	学士（文学）	1.00	0.90	－	昭和58	同上	平成30年度より定員変更（△5）
東洋史専攻	4	－	－	－	学士（文学）	－	－	－	昭和58	同上	平成30年度より学生募集停止
西洋史専攻	4	50	－	200	学士（文学）	0.97	1.00	－	昭和58	同上	
考古学専攻	4	30	－	120	学士（文学）	1.03	1.06	－	昭和58	同上	
日本文学科	4	90	－	360	学士（文学）	1.01	1.11	－	平成13	同上	
文芸創作学科	4	－	－	－	学士（文学）	－	－	－	平成13	同上	平成30年度より学生募集停止
英語文化ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ学科	4	90	－	360	学士（文学）	0.97	1.02	－	昭和35	同上	
広報ﾒﾃﾞｨｱ学科	4	－	－	－	学士（文学）	－	－	－	平成13	同上	平成30年度より学生募集停止
心理・社会学科	4	－	－	－	学士（文学）	－	－	－	平成13	同上	平成30年度より学生募集停止
文化社会学部		450	－	1350		1.02	1.07	－	平成30	神奈川県平塚市北金目4-1-1	
ｱｼﾞｱ学科	4	70	－	210	学士（文化社会学）	1.05	1.11	－	平成30	同上	
ﾖｰﾛｯﾊﾟ・ｱﾒﾘｶ学科	4	70	－	210	学士（文化社会学）	0.99	1.00	－	平成30	同上	
北欧学科	4	60	－	180	学士（文化社会学）	1.04	1.13	－	平成30	同上	
文芸創作学科	4	60	－	180	学士（文化社会学）	1.01	1.01	－	平成30	同上	
広報ﾒﾃﾞｨｱ学科	4	100	－	300	学士（文化社会学）	1.04	1.13	－	平成30	同上	
心理・社会学科	4	90	－	270	学士（文化社会学）	1.00	1.02	－	平成30	同上	
政治経済学部		480	－	1890		1.00	1.06	－	昭和41	神奈川県平塚市北金目4-1-1	
政治学科	4	160	－	630	学士（政治学）	1.02	1.08	－	昭和41	同上	
経済学科	4	160	－	630	学士（経済学）	0.98	1.04	－	昭和41	同上	
経営学科	4	160	－	630	学士（経営学）	1.00	1.06	－	昭和49	同上	
法学部		300	－	1200		1.02	1.08	－	昭和61	神奈川県平塚市北金目4-1-1	
法律学科	4	300	－	1200	学士（法学）	1.02	1.08	－	昭和61	同上	
教養学部		330	－	1320		1.02	1.03	－	昭和43	神奈川県平塚市北金目4-1-1	
人間環境学科		160	－	640		0.99	0.98	－	昭和43	同上	
自然環境課程	4	65	－	260	学士（教養学）	0.95	0.90	－	昭和43	同上	
社会環境課程	4	95	－	380	学士（教養学）	1.01	1.03	－	昭和43	同上	
芸術学科		90	－	360		1.05	1.08	－	昭和43	同上	
音楽学課程	4	32	－	128	学士（教養学）	1.06	1.15	－	昭和43	同上	
美術学課程	4	20	－	80	学士（教養学）	1.01	0.80	－	昭和43	同上	
ﾃﾞｻﾞｲﾝ学課程	4	38	－	152	学士（教養学）	1.07	1.18	－	昭和43	同上	
国際学科	4	80	－	320	学士（教養学）	1.06	1.07	－	昭和47	同上	
体育学部		480	－	1880		1.00	1.01	－	昭和42	神奈川県平塚市北金目4-1-1	

体育学科	4	110	―	430	学士(体育学)	0.98	1.00	―	昭和42	同上	平成30年度より定員変更（10）
競技ｽﾎﾟｰﾂ学科	4	140	―	550	学士(体育学)	1.04	1.10	―	平成16	同上	平成30年度より定員変更（10）
武道学科	4	60	―	235	学士(体育学)	1.00	0.96	―	昭和43	同上	平成30年度より定員変更（5）
生涯ｽﾎﾟｰﾂ学科	4	110	―	430	学士(体育学)	0.97	0.91	―	昭和46	同上	平成30年度より定員変更（10）
ｽﾎﾟｰﾂ･ﾚｼﾞｬｰﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ学科	4	60	―	235	学士(体育学)	1.02	1.06	―	平成16	同上	平成30年度より定員変更（5）
健康学部		200	―	600		1.02	1.03	―	平成30	神奈川県平塚市北金目4-1-1	
健康ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ学科	4	200	―	600	学士（健康ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ学）	1.02	1.03	―	平成30	同上	
理学部		320	―	1280		0.99	1.04	―	昭和39	神奈川県平塚市北金目4-1-1	
数学科	4	80	―	320	学士(理学)	0.98	1.01	―	昭和39	同上	
情報数理学科	4	80	―	320	学士(理学)	1.01	1.07	―	昭和49	同上	
物理学科	4	80	―	320	学士(理学)	1.00	1.06	―	昭和39	同上	
化学科	4	80	―	320	学士(理学)	0.98	1.02	―	昭和39	同上	
情報理工学部		200	―	800		1.03	1.04	―	平成13	神奈川県平塚市北金目4-1-1	
情報科学科	4	100	―	400	学士(工学)	1.04	1.04	―	平成13	同上	
ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ応用工学科	4	100	―	400	学士(工学)	1.03	1.05	―	平成13	同上	
工学部		1390	―	5630		0.99	0.92	―	昭和25	神奈川県平塚市北金目4-1-1	
生命化学科	4	100	―	400	学士(工学)	0.95	0.89	―	平成13	同上	
応用化学科	4	80	―	320	学士(工学)	1.00	1.07	―	平成13	同上	
光・画像工学科	4	60	―	240	学士(工学)	1.07	1.08	―	平成18	同上	
原子力工学科	4	40	―	160	学士(工学)	0.85	0.57	―	平成18	同上	
電気電子工学科	4	140	―	560	学士(工学)	1.05	1.11	―	平成18	同上	
材料科学科	4	80	―	320	学士(工学)	0.89	0.68	―	昭和41	同上	
建築学科	4	200	―	800	学士(工学)	1.05	1.05	―	昭和41	同上	
土木工学科	4	120	―	480	学士(工学)	1.00	0.95	―	昭和41	同上	
精密工学科	4	80	―	320	学士(工学)	0.98	0.92	―	昭和46	同上	
機械工学科	4	140	―	570	学士(工学)	0.99	0.97	―	昭和46	同上	平成30年度より定員変更（△10）
動力機械工学科	4	150	―	650	学士(工学)	0.97	0.79	―	昭和46	同上	平成30年度より定員変更（△50）
航空宇宙学科		140	―	570		0.91	0.64	―	昭和42	同上	平成30年度より定員変更（△10）
航空宇宙学専攻	4	90	―	370	学士(工学)	1.03	1.00	―	昭和42	同上	平成30年度より定員変更（△10）
航空操縦学専攻	4	50	―	200	学士(工学)	0.71	0.00	―	昭和42	同上	令和3年度学生募集なし
医用生体工学科	4	60	―	240	学士(工学)	1.06	1.21	―	平成22	神奈川県平塚市北金目4-1-1 神奈川県伊勢原市下糟屋143	
観光学部		200	―	800		1.04	1.11	―	平成22	神奈川県平塚市北金目4-1-1 東京都渋谷区富ヶ谷2-28-4	
観光学科	4	200	―	800	学士(観光学)	1.04	1.11	―	平成22	同上	
情報通信学部		320	―	1280		1.01	1.01	―	平成20	東京都港区高輪2-3-23	
情報ﾒﾃﾞｨｱ学科	4	80	―	320	学士(工学)	0.98	1.00	―	平成20	同上	
組込みｿﾌﾄｳｪｱ工学科	4	80	―	320	学士(工学)	1.06	1.01	―	平成20	同上	
経営ｼｽﾃﾑ工学科	4	80	―	320	学士(工学)	1.00	1.07	―	平成20	同上	
通信ﾈｯﾄﾜｰｸ工学科	4	80	―	320	学士(工学)	1.01	0.98	―	平成20	同上	

海洋学部		530	―	2120		0.97	0.90	―	昭和37	静岡県静岡市清水区折戸3-20-1	
海洋文明学科	4	80	―	320	学士(海洋学)	0.92	0.67	―	平成16	同上	
環境社会学科	4	80	―	320	学士(海洋学)	1.05	1.07	―	平成23	同上	
海洋地球科学科	4	80	―	320	学士(海洋学)	0.98	0.88	―	平成23	同上	
水産学科	4	120	―	480	学士(海洋学)	1.04	1.07	―	平成18	同上	
海洋生物学科	4	90	―	360	学士(海洋学)	1.02	1.05	―	平成18	同上	
航海工学科		80	―	320		0.75	0.58	―	平成23	同上	
航海学専攻	4	20	―	80	学士(海洋学)	0.96	1.00	―	平成23	同上	
海洋機械工学専攻	4	60	―	240	学士(海洋学)	0.68	0.45	―	平成23	同上	
医学部		203	―	960		0.91	0.97	令和2	昭和49	神奈川県伊勢原市下糟屋143	
医学科	6	118	―	705	学士(医学)	0.88	0.97	令和2	昭和49	同上	定員変更延長（8）
看護学科	4	85	―	255	学士(看護学)	0.97	0.96	―	平成30	同上	
健康科学部		―	―	―		―	―	―	平成7	神奈川県伊勢原市下糟屋143	平成30年度より学生募集停止
看護学科	4	―	―	―	学士(看護学)	―	―	―	平成7	同上	平成30年度より学生募集停止
社会福祉学科	4	―	―	―	学士(社会福祉学)	―	―	―	平成7	同上	平成30年度より学生募集停止
経営学部		230	―	920		1.01	1.01	―	平成25	熊本県熊本市東区渡鹿9-1-1	
経営学科	4	150	―	600	学士(経営学)	1.09	1.20	―	平成25	同上	
観光ﾋﾞｼﾞﾈｽ学科	4	80	―	320	学士(経営学)	0.89	0.67	―	平成25	同上	
基盤工学部		140	―	560		0.75	0.74	―	平成25	熊本県熊本市東区渡鹿9-1-1	
電気電子情報工学科	4	80	―	320	学士(工学)	0.72	0.67	―	平成25	同上	
医療福祉工学科	4	60	―	240	学士(工学)	0.79	0.83	―	平成25	同上	
農学部		230	―	920		0.83	0.69	―	平成20	熊本県阿蘇郡南阿蘇村河陽	
応用植物科学科	4	80	―	320	学士(農学)	0.87	0.70	―	平成20	同上	
応用動物科学科	4	80	―	320	学士(農学)	0.81	0.72	―	平成20	同上	
ﾊﾞｲｵｻｲｴﾝｽ学科	4	70	―	280	学士(農学)	0.80	0.64	―	平成20	同上	
国際文化学部		260	―	1040		1.00	1.01	―	平成20	北海道札幌市南区南沢5条1-1-1	
地域創造学科	4	110	―	440	学士(教養学)	1.06	1.07	―	平成20	同上	
国際ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ学科	4	80	―	320	学士(教養学)	1.07	1.17	―	平成20	同上	
ﾃﾞｻﾞｲﾝ文化学科	4	70	―	280	学士(教養学)	0.87	0.74	―	平成24	同上	
生物学部		140	―	560		1.00	1.00	―	平成24	北海道札幌市南区南沢5条1-1-1	
生物学科	4	70	―	280	学士(理学)	1.00	1.01	―	平成24	同上	
海洋生物科学科	4	70	―	280	学士(理学)	1.01	0.98	―	平成24	同上	
大学全体		6773	―	26595	-	0.94	0.98	―	―	-	

大学の名称	東海大学大学院						学生募集停止学科数	1	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	0	備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和3年度入学定員超過率	定員変更年度（AC期間の学科のみ）	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	倍				
総合理工学研究科									平成17	神奈川県平塚市北金目4-1-1 等	
総合理工学専攻　博士課程	3	35	―	105	博士(理学)・博士(工学)	0.39	0.17	―	平成17	同上	
地球環境科学研究科									平成17	神奈川県平塚市北金目4-1-1 等	令和３年度より学生募集停止
地球環境科学専攻　博士課程	3	―	―	―	―	―	―	―	平成17	同上	令和３年度より学生募集停止

生物科学研究科									平成17	神奈川県平塚市北金目4-1-1　等	
生物科学専攻　博士課程	3	10	―	30	博士(理学)・博士(農学)・	0.10	0.10	―	平成17	同上	
文学研究科									昭和44	神奈川県平塚市北金目4-1-1	
文明研究専攻　博士課程前期	2	8	―	16	修士(文学)	0.31	0.25	―	昭和49	同上	
文明研究専攻　博士課程後期	3	4	―	12	博士(文学)	0.33	0.00	―	昭和51	同上	
史学専攻　博士課程前期	2	8	―	16	修士(文学)	0.43	0.75	―	昭和44	同上	
史学専攻　博士課程後期	3	4	―	12	博士(文学)	0.00	0.00	―	昭和46	同上	
日本文学専攻　博士課程前期	2	8	―	16	修士(文学)	0.87	0.62	―	昭和49	同上	
日本文学専攻　博士課程後期	3	4	―	12	博士(文学)	0.33	0.00	―	昭和51	同上	
英文学専攻　博士課程前期	2	4	―	8	修士(文学)	0.12	0.00	―	昭和44	同上	
英文学専攻　博士課程後期	3	2	―	6	博士(文学)	0.00	0.00	―	昭和46	同上	
ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ学専攻　博士課程前期	2	8	―	16	修士(文学)	0.43	0.50	―	昭和49	同上	
ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ学専攻　博士課程後期	3	4	―	12	博士(文学)	0.00	0.00	―	昭和51	同上	
観光学専攻　修士課程	2	8	―	16	修士(観光学)	0.37	0.37	―	平成26	同上	
政治学研究科									昭和46	神奈川県平塚市北金目4-1-1	
政治学専攻　博士課程前期	2	10	―	20	修士(政治学)	0.05	0.00	―	昭和46	同上	
政治学専攻　博士課程後期	3	5	―	15	博士(政治学)	0.00	0.00	―	昭和48	同上	
経済学研究科									昭和54	神奈川県平塚市北金目4-1-1	
応用経済学専攻　博士課程前期	2	10	―	20	修士(経済学)	0.15	0.20	―	昭和54	同上	
応用経済学専攻　博士課程後期	3	5	―	15	博士(経済学)	0.13	0.40	―	昭和56	同上	
法学研究科									平成2	神奈川県平塚市北金目4-1-1	
法律学専攻　博士課程前期	2	10	―	20	修士(法学)	0.05	0.10	―	平成16	同上	
法律学専攻　博士課程後期	3	5	―	15	博士(法学)	0.00	0.00	―	平成5	同上	
人間環境学研究科									平成19	神奈川県平塚市北金目4-1-1	
人間環境学専攻　修士課程	2	10	―	20	修士(学術)	0.45	0.40	―	平成19	同上	
芸術学研究科									昭和48	神奈川県平塚市北金目4-1-1	
音響芸術専攻　修士課程	2	4	―	8	修士(芸術学)	0.37	0.75	―	昭和48	同上	
造型芸術専攻　修士課程	2	4	―	8	修士(芸術学)	0.37	0.50	―	昭和48	同上	
体育学研究科									昭和51	神奈川県平塚市北金目4-1-1	
体育学専攻　博士課程前期	2	20	―	35	修士(体育学)	1.07	1.15	―	昭和51	同上	令和３年度より定員変更（5）
体育学専攻　博士課程後期	3	3	―	3	博士(体育学)	1.00	1.00	―	令和3	同上	
理学研究科									昭和43	神奈川県平塚市北金目4-1-1	
数理科学専攻　修士課程	2	8	―	16	修士(理学)	0.62	0.25	―	昭和43	同上	
物理学専攻　修士課程	2	12	―	24	修士(理学)	1.58	1.58	―	昭和43	同上	
化学専攻　修士課程	2	12	―	24	修士(理学)	0.66	0.66	―	昭和43	同上	
工学研究科									昭和38	神奈川県平塚市北金目4-1-1	
電気電子工学専攻　修士課程	2	50	―	100	修士(工学)	1.06	1.16	―	平成28	同上	
応用理化学専攻　修士課程	2	45	―	90	修士(工学)	1.27	1.17	―	平成28	同上	
建築土木工学専攻　修士課程	2	25	―	50	修士(工学)	1.42	1.44	―	平成28	同上	
機械工学専攻　修士課程	2	75	―	150	修士(工学)	1.33	1.45	―	平成28	同上	
医用生体工学専攻　修士課程	2	8	―	16	修士(工学)	0.25	0.25	―	平成26	神奈川県伊勢原市下糟屋143	
情報通信学研究科									平成24	東京都港区高輪2-3-23	
情報通信学専攻　修士課程	2	30	―	60	修士(情報通信学)	0.73	0.53	―	平成24	同上	
海洋学研究科									昭和42	静岡県静岡市清水区折戸3-20-1	
海洋学専攻　修士課程	2	20	―	40	修士(海洋学)	0.77	1.05	―	平成27	同上	
医学研究科									昭和55	神奈川県伊勢原市下糟屋143	
医科学専攻　修士課程	2	10	―	20	修士(医科学)	0.75	0.70	―	平成7	同上	
先端医科学専攻　博士課程	4	35	―	140	博士(医学)	0.45	0.51	―	平成17	同上	
健康科学研究科									平成11	神奈川県伊勢原市下糟屋143	
看護学専攻　修士課程	2	10	―	20	修士(看護学)	0.70	0.40	―	平成11	同上	
保健福祉学専攻　修士課程	2	10	―	20	修士(保健福祉学)	0.30	0.30	―	平成11	同上	

農学研究科									平成20	熊本県阿蘇郡南阿蘇村河陽	
農学専攻　修士課程	2	12	ー	24	修士(農学)	0.70	0.25	ー	平成20	同上	
生物学研究科									令和2	北海道札幌市南区南沢5条1-1-1	
生物学専攻　修士課程	2	8	ー	16	修士(理学)	0.18	0.12	ー	令和2	同上	
大学全体	ー	563	ー	1286	ー	0.60	0.75	ー	ー	ー	

大学の名称	東海大学医療技術短期大学	学生募集停止学科数	1	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	0	備考

既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和3年度入学定員超過率	定員変更年度（AC期間の学科のみ）	開設年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍	倍				
看護学科	3	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	昭和49	神奈川県平塚市北金目4-1-2	令和２年度学生募集停止
大学全体	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	

（注）・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学（大学院含む）、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の５月１日現在の状況を記入してください。（専攻科及び別科を除く）。なお、調査対象の学科等が設置されている大学から順に記載してください
・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
・本年度ＡＣ対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
・「平均入学定員超過率」には、報告年度（令和３年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

５　教員組織の状況

＜医学部　看護学科＞

（１）ー① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	石井　美里 （54） ＜平成30年４月＞ 修士（看護学）	母性看護学概論 母性看護学 母性看護学実習 統合実習 専門看護ゼミナール
専	教授	石野　知子 （61） ＜平成30年４月＞ 理学博士	人体の構造と機能１（細胞生物学） 看護の基礎理科 看護研究概論 専門看護ゼミナール
専	教授	井上　玲子 （54） ＜平成30年４月＞ 博士（看護学）	小児看護学概論 小児看護学実習Ａ（健康な小児の看護） 小児看護学 小児看護学演習 小児看護学実習Ｂ（健康障がいのある小児の看護） 家族看護学 統合実習 看護研究概論 専門看護ゼミナール
専	教授	今泉　郷子 （52） ＜平成30年４月＞ 博士（看護学）	成人老年看護学概論Ｂ 疾病と看護Ｂ（呼吸器・循環器） 疾病と看護Ｄ（神経・運動器） 成人看護学演習 成人看護学実習 統合実習 専門看護ゼミナール
専	教授	沓澤　智子 （63） ＜平成30年４月＞ 医学博士	健康科学論 疾病と看護Ａ（消化器） 疾病と看護Ｂ（呼吸器・循環器） 疾病と看護Ｃ（腎・泌尿器・皮膚） 疾病と看護Ｅ（代謝・免疫・感覚器） 保健医療パートナーシップ総論

【平成３０年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	石井　美里 （54） ＜平成30年４月＞ 修士（看護学）	母性看護学概論 母性看護学 母性看護学実習 統合実習 専門看護ゼミナール
専	教授	石野　知子 （61） ＜平成30年４月＞ 理学博士	人体の構造と機能１（細胞生物学） 看護の基礎理科 看護研究概論 専門看護ゼミナール
専	教授	井上　玲子 （54） ＜平成30年４月＞ 博士（看護学）	小児看護学概論 小児看護学実習Ａ（健康な小児の看護） 小児看護学 小児看護学演習 小児看護学実習Ｂ（健康障がいのある小児の看護） 家族看護学 統合実習 看護研究概論 専門看護ゼミナール **健康科学論**
専	教授	今泉　郷子 （53） ＜平成30年４月＞ 博士（看護学）	成人老年看護学概論Ｂ 疾病と看護Ｂ（呼吸器・循環器） 疾病と看護Ｄ（神経・運動器） 成人看護学演習 成人看護学実習 統合実習 専門看護ゼミナール **表現技法の基礎** **健康科学論**
専	教授	沓澤　智子 （64） ＜平成30年４月＞ 医学博士	疾病と看護Ａ（消化器） 疾病と看護Ｂ（呼吸器・循環器） 疾病と看護Ｃ（腎・泌尿器・皮膚） 疾病と看護Ｅ（代謝・免疫・感覚器）

【令和元年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	石井　美里 （55） ＜平成30年４月＞ 修士（看護学）	母性看護学概論 母性看護学 母性看護学実習 統合実習 専門看護ゼミナール
専	教授	石野　知子 （62） ＜平成30年４月＞ 理学博士	人体の構造と機能１（細胞生物学） 看護の基礎理科 看護研究概論 専門看護ゼミナール
専	教授	井上　玲子 （55） ＜平成30年４月＞ 博士（看護学）	小児看護学概論 小児看護学実習Ａ（健康な小児の看護） 小児看護学 小児看護学演習 小児看護学実習Ｂ（健康障がいのある小児の看護） 家族看護学 統合実習 看護研究概論 専門看護ゼミナール **健康科学論**
専	教授	今泉　郷子 （54） ＜平成30年４月＞ 博士（看護学）	成人老年看護学概論Ｂ 疾病と看護Ｄ（神経・運動器） 成人看護学演習 成人看護学実習 統合実習 専門看護ゼミナール **健康科学論** **成人老年看護学概論Ａ** **疾病と看護Ｃ（腎・泌尿器・皮膚）** **疾病と看護Ｅ（代謝・免疫・感覚器）**
専	教授	沓澤　智子 （65） ＜平成30年４月＞ 医学博士	疾病と看護Ａ（消化器） 疾病と看護Ｂ（呼吸器・循環器） 疾病と看護Ｃ（腎・泌尿器・皮膚） 疾病と看護Ｅ（代謝・免疫・感覚器）

【令和２年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	石井　美里 （56） ＜平成30年４月＞ 修士（看護学）	母性看護学概論 母性看護学 母性看護学実習 統合実習 専門看護ゼミナール
専	教授	石野　知子 （63） ＜平成30年４月＞ 理学博士	人体の構造と機能１（細胞生物学） 看護の基礎理科 看護研究概論 専門看護ゼミナール
専	教授	井上　玲子 （56） ＜平成30年４月＞ 博士（看護学）	小児看護学概論 小児看護学実習Ａ（健康な小児の看護） 小児看護学 小児看護学演習 小児看護学実習Ｂ（健康障がいのある小児の看護） 統合実習 専門看護ゼミナール
専	教授	今泉　郷子 （55） ＜平成30年４月＞ 博士（看護学）	成人看護学演習 成人看護学実習 統合実習 専門看護ゼミナール **健康科学論** **成人老年看護学概論Ａ** **疾病と看護Ｃ（腎・泌尿器・皮膚）** **疾病と看護Ｅ（代謝・免疫・感覚器）** **看護研究概論**
専	教授	沓澤　智子 （66） ＜平成30年４月＞ 医学博士	疾病と看護Ａ（消化器） 疾病と看護Ｂ（呼吸器・循環器） 疾病と看護Ｃ（腎・泌尿器・皮膚） 疾病と看護Ｅ（代謝・免疫・感覚器）

【令和３年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	石井　美里 （57） ＜平成30年４月＞ 修士（看護学）	母性看護学概論 母性看護学 母性看護学実習 統合実習 専門看護ゼミナール **保健医療パートナーシップ演習**
専	教授	石野　知子 （64） ＜平成30年４月＞ 理学博士	人体の構造と機能１（細胞生物学） 看護の基礎理科 看護研究概論 専門看護ゼミナール
専	教授	井上　玲子 （57） ＜平成30年４月＞ 博士（看護学）	小児看護学概論 小児看護学実習Ａ（健康な小児の看護） 小児看護学 小児看護学演習 小児看護学実習Ｂ（健康障がいのある小児の看護） 統合実習 **健康科学論** **家族看護学** **保健医療パートナーシップ演習**
専	教授	今泉　郷子 （56） ＜平成30年４月＞ 博士（看護学）	成人看護学演習 成人看護学実習 統合実習 専門看護ゼミナール **健康科学論** **成人老年看護学概論Ａ** **疾病と看護Ｃ（腎・泌尿器・皮膚）** **疾病と看護Ｅ（代謝・免疫・感覚器）** **看護研究概論** **成人老年看護学概論Ｂ** **保健医療パートナーシップ演習**
専	教授	沓澤　智子 （67） ＜平成30年４月＞ 医学博士	疾病と看護Ａ（消化器） 疾病と看護Ｂ（呼吸器・循環器） 疾病と看護Ｃ（腎・泌尿器・皮膚） 疾病と看護Ｅ（代謝・免疫・感覚器）

【認可時又は届出時】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	城生　弘美 （61） ＜平成30年４月＞ 修士（看護学）	看護学概論 看護コミュニケーション論 ヘルスアセスメント 基礎看護技術演習 基礎看護学実習１（看護の対象理解） 基礎看護学実習２（生活援助） 臨床看護技術演習１（治療・処置） 臨床看護技術演習２（薬物療法・検査） 国際看護基礎演習Ａ 国際看護演習Ａ（デンマーク） 国際看護基礎演習Ｂ 国際看護演習Ｂ（メイヨ） 統合実習 専門看護ゼミナール
専	教授	錦戸　典子 （59） ＜平成30年４月＞ 博士（保健学）	健康科学論 健康教育学 公衆衛生看護技術論 公衆衛生看護学概論 産業保健看護学 産業保健看護学実習 行政保健師実習 公衆衛生看護管理論 統合実習 専門看護ゼミナール
専	教授	松木　秀明 （67） ＜平成30年４月＞ 医学博士	健康科学論 公衆衛生学 保健医療情報学１（情報科学） 保健医療情報学２（医療統計） 保健医療関係法規 疫学 看護研究概論 専門看護ゼミナール
専	教授	横山　寛子 （62） ＜平成30年４月＞ 体育学修士	健康科学論 母性看護学概論 母性看護学 母性看護学実習 学校保健 統合実習 専門看護ゼミナール
専	准教授	大山　太 （48） ＜平成30年４月＞ 博士（保健学）	疾病と看護Ｂ（呼吸器・循環器） 疾病と看護Ｃ（腎・泌尿器・皮膚） 疾病と看護Ｆ（周手術期） 成人看護学演習 成人看護学実習 救急・災害看護論 統合実習 専門看護ゼミナール
専	准教授	岡部　明子 （57） ＜平成30年４月＞ 修士（社会学）	在宅看護学概論 在宅看護学 在宅看護学実習 退院支援・在宅ケアマネジメント論 統合実習 専門看護ゼミナール

【平成３０年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	城生　弘美 （61） ＜平成30年４月＞ 修士（看護学）	看護学概論 看護コミュニケーション論 ヘルスアセスメント 基礎看護技術演習 基礎看護学実習１（看護の対象理解） 基礎看護学実習２（生活援助） 臨床看護技術演習１（治療・処置） 臨床看護技術演習２（薬物療法・検査） 国際看護基礎演習Ａ 国際看護演習Ａ（デンマーク） 国際看護基礎演習Ｂ 国際看護演習Ｂ（メイヨ） 統合実習 専門看護ゼミナール **健康科学論** **保健医療パートナーシップ総論**
専	教授	錦戸　典子 （59） ＜平成30年４月＞ 博士（保健学）	健康科学論 健康教育学 公衆衛生看護技術論 公衆衛生看護学概論 産業保健看護学 産業保健看護学実習 行政保健師実習 公衆衛生看護管理論 統合実習 専門看護ゼミナール
専	教授	松木　秀明 （67） ＜平成30年４月＞ 医学博士	健康科学論 公衆衛生学 保健医療情報学１（情報科学） 保健医療情報学２（医療統計） 保健医療関係法規 疫学 看護研究概論 専門看護ゼミナール
専	教授	横山　寛子 （62） ＜平成30年４月＞ 体育学修士	健康科学論 母性看護学概論 母性看護学 母性看護学実習 学校保健 統合実習 専門看護ゼミナール **保健医療パートナーシップ総論**
専	准教授	大山　太 （48） ＜平成30年４月＞ 博士（保健学）	疾病と看護Ｂ（呼吸器・循環器） 疾病と看護Ｃ（腎・泌尿器・皮膚） 疾病と看護Ｆ（周手術期） 成人看護学演習 成人看護学実習 救急・災害看護論 統合実習 専門看護ゼミナール
専	准教授	岡部　明子 （57） ＜平成30年４月＞ 修士（社会学）	在宅看護学概論 在宅看護学 在宅看護学実習 退院支援・在宅ケアマネジメント論 統合実習 専門看護ゼミナール

【令和元年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	城生　弘美 （62） ＜平成30年４月＞ 修士（看護学）	看護学概論 看護コミュニケーション論 ヘルスアセスメント 基礎看護技術演習 基礎看護学実習１（看護の対象理解） 基礎看護学実習２（生活援助） 臨床看護技術演習１（治療・処置） 臨床看護技術演習２（薬物療法・検査） 国際看護基礎演習Ｂ 国際看護演習Ｂ（メイヨ） 統合実習 専門看護ゼミナール **健康科学論** **保健医療パートナーシップ総論**
専	教授	錦戸　典子 （60） ＜平成30年４月＞ 博士（保健学）	健康科学論 健康教育学 公衆衛生看護技術論 公衆衛生看護学概論 産業保健看護学 産業保健看護学実習 行政保健師実習 公衆衛生看護管理論 統合実習 専門看護ゼミナール
専	教授		
専	教授	横山　寛子 （63） ＜平成30年４月＞ 体育学修士	健康科学論 母性看護学概論 母性看護学 母性看護学実習 学校保健 統合実習 専門看護ゼミナール **保健医療パートナーシップ総論**
専	准教授	大山　太 （49） ＜平成30年４月＞ 博士（保健学）	疾病と看護Ｂ（呼吸器・循環器） 疾病と看護Ｃ（腎・泌尿器・皮膚） 疾病と看護Ｆ（周手術期） 成人看護学演習 成人看護学実習 救急・災害看護論 統合実習 専門看護ゼミナール **国際看護論**
専	准教授	岡部　明子 （58） ＜平成30年４月＞ 修士（社会学）	在宅看護学概論 在宅看護学 在宅看護学実習 退院支援・在宅ケアマネジメント論 統合実習 専門看護ゼミナール **表現技法の基礎**

【令和２年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	城生　弘美 （63） ＜平成30年４月＞ 修士（看護学）	看護学概論 看護コミュニケーション論 ヘルスアセスメント 基礎看護技術演習 基礎看護学実習１（看護の対象理解） 基礎看護学実習２（生活援助） 臨床看護技術演習１（治療・処置） 臨床看護技術演習２（薬物療法・検査） 国際看護基礎演習Ｂ 国際看護演習Ｂ（メイヨ） 統合実習 専門看護ゼミナール **健康科学論** **保健医療パートナーシップ総論**
専	教授	錦戸　典子 （61） ＜平成30年４月＞ 博士（保健学）	健康科学論 健康教育学 公衆衛生看護技術論 公衆衛生看護学概論 産業保健看護学 行政保健師実習 公衆衛生看護管理論 統合実習 専門看護ゼミナール
専	教授		
専	教授	横山　寛子 （64） ＜平成30年４月＞ 体育学修士	母性看護学概論 母性看護学 母性看護学実習 学校保健 統合実習 専門看護ゼミナール
専	准教授	大山　太 （50） ＜平成30年４月＞ 博士（保健学）	疾病と看護Ｂ（呼吸器・循環器） 疾病と看護Ｃ（腎・泌尿器・皮膚） 疾病と看護Ｆ（周手術期） 成人看護学演習 成人看護学実習 救急・災害看護論 統合実習 専門看護ゼミナール **国際看護論** **表現技法の基礎**
専	准教授	岡部　明子 （59） ＜平成30年４月＞ 修士（社会学）	在宅看護学概論 在宅看護学 在宅看護学実習 退院支援・在宅ケアマネジメント論 統合実習 専門看護ゼミナール

【令和３年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	城生　弘美 （64） ＜平成30年４月＞ 修士（看護学）	看護学概論 看護コミュニケーション論 ヘルスアセスメント 基礎看護技術演習 基礎看護学実習１（看護の対象理解） 基礎看護学実習２（生活援助） 臨床看護技術演習１（治療・処置） 臨床看護技術演習２（薬物療法・検査） 統合実習 **健康科学論** **保健医療パートナーシップ総論**
専	教授	錦戸　典子 （62） ＜平成30年４月＞ 博士（保健学）	健康科学論 健康教育学 公衆衛生看護技術論 公衆衛生看護学概論 産業保健看護学 産業保健看護学実習 行政保健師実習 公衆衛生看護管理論 統合実習 専門看護ゼミナール **保健医療パートナーシップ演習**
専	教授		
専	教授	横山　寛子 （65） ＜平成30年４月＞ 体育学修士	健康科学論 母性看護学概論 母性看護学 母性看護学実習 専門看護ゼミナール
専	准教授	大山　太 （51） ＜平成30年４月＞ 博士（保健学）	疾病と看護Ｂ（呼吸器・循環器） 疾病と看護Ｃ（腎・泌尿器・皮膚） 疾病と看護Ｆ（周手術期） 成人看護学演習 成人看護学実習 救急・災害看護論 統合実習 専門看護ゼミナール **国際看護論**
専	准教授	岡部　明子 （60） ＜平成30年４月＞ 修士（社会学）	在宅看護学概論 在宅看護学 在宅看護学実習 退院支援・在宅ケアマネジメント論 統合実習 専門看護ゼミナール **保健医療パートナーシップ演習**

【認可時又は届出時】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	准教授	吉川　隆博 （52） ＜平成30年４月＞ 修士（保健看護学）	精神看護学概論 精神看護学実習 地域精神保健福祉と看護 看護管理論 統合実習 看護研究概論 専門看護ゼミナール
専	准教授	児玉　千代子 （61） ＜平成30年４月＞ 教育学士	小児看護学概論 小児看護学実習Ａ（健康な小児の看護） 小児看護学 小児看護学演習 小児看護学実習Ｂ（健康障がいのある小児の看護） 統合実習 専門看護ゼミナール
専	准教授	庄村　雅子 （47） ＜平成30年４月＞ 博士（看護学）	成人老年看護学概論Ａ 疾病と看護Ａ（消化器） 疾病と看護Ｃ（腎・泌尿器・皮膚） 疾病と看護Ｅ（代謝・免疫・感覚器） 成人看護学演習 成人看護学実習 統合実習 専門看護ゼミナール
専	准教授	浜辺　富美子 （55） ＜平成30年４月＞ 修士（教育学）	小児看護学概論 小児看護学実習Ａ（健康な小児の看護） 小児看護学 小児看護学演習 小児看護学実習Ｂ（健康障がいのある小児の看護） 看護教育学 国際コミュニケーションＢ（ハワイ） 統合実習 専門看護ゼミナール

【平成３０年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	准教授	吉川　隆博 （52） ＜平成30年４月＞ 修士（保健看護学）	精神看護学概論 精神看護学実習 地域精神保健福祉と看護 看護管理論 統合実習 看護研究概論 専門看護ゼミナール **表現技法の基礎** **健康科学論**
専	准教授	児玉　千代子 （61） ＜平成30年４月＞ 教育学士	小児看護学概論 小児看護学実習Ａ（健康な小児の看護） 小児看護学 小児看護学演習 小児看護学実習Ｂ（健康障がいのある小児の看護） 統合実習 専門看護ゼミナール
専	准教授	庄村　雅子 （47） ＜平成30年４月＞ 博士（看護学）	成人老年看護学概論Ａ 疾病と看護Ａ（消化器） 疾病と看護Ｃ（腎・泌尿器・皮膚） 疾病と看護Ｅ（代謝・免疫・感覚器） 成人看護学演習 成人看護学実習 統合実習 専門看護ゼミナール **看護学概論** **看護コミュニケーション論** **ヘルスアセスメント** **基礎看護技術演習** **基礎看護学実習１（看護の対象理解）**
専	准教授	浜辺　富美子 （55） ＜平成30年４月＞ 修士（教育学）	小児看護学概論 小児看護学実習Ａ（健康な小児の看護） 小児看護学 小児看護学演習 小児看護学実習Ｂ（健康障がいのある小児の看護） 看護教育学 国際コミュニケーションＢ（ハワイ） 統合実習 専門看護ゼミナール

【令和元年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	**教授**	吉川　隆博 （53） ＜平成30年４月＞ 修士（保健看護学）	精神看護学概論 精神看護学実習 地域精神保健福祉と看護 看護管理論 統合実習 看護研究概論 専門看護ゼミナール **健康科学論**
専	准教授	庄村　雅子 （48） ＜平成30年４月＞ 博士（看護学）	成人看護学演習 成人看護学実習 統合実習 専門看護ゼミナール **看護学概論** **看護コミュニケーション論** **ヘルスアセスメント** **基礎看護技術演習** **基礎看護学実習１（看護の対象理解）** **表現技法の基礎** **臨床看護技術演習１（治療・処置）** **看護過程論** **基礎看護学実習２（生活援助）** **臨床看護技術演習２（薬物療法・検査）**
専	准教授	浜辺　富美子 （56） ＜平成30年４月＞ 修士（教育学）	小児看護学概論 小児看護学実習Ａ（健康な小児の看護） 小児看護学 小児看護学演習 小児看護学実習Ｂ（健康障がいのある小児の看護） 看護教育学 統合実習 専門看護ゼミナール **健康科学論**

【令和２年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	**教授**	吉川　隆博 （54） ＜平成30年４月＞ 修士（保健看護学）	精神看護学概論 精神看護学実習 地域精神保健福祉と看護 看護管理論 統合実習 看護研究概論 専門看護ゼミナール **健康科学論** **精神看護学** **薬理学**
専	**教授**	庄村　雅子 （49） ＜平成30年４月＞ 博士（看護学）	成人看護学演習 成人看護学実習 統合実習 専門看護ゼミナール **看護学概論** **看護コミュニケーション論** **ヘルスアセスメント** **基礎看護技術演習** **基礎看護学実習１（看護の対象理解）** **臨床看護技術演習１（治療・処置）** **看護過程論** **基礎看護学実習２（生活援助）** **臨床看護技術演習２（薬物療法・検査）**
専	准教授	浜辺　富美子 （57） ＜平成30年４月＞ 修士（教育学）	小児看護学概論 小児看護学実習Ａ（健康な小児の看護） 小児看護学 小児看護学演習 小児看護学実習Ｂ（健康障がいのある小児の看護） 看護教育学 統合実習 専門看護ゼミナール **健康科学論**

【令和３年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	**教授**	吉川　隆博 （55） ＜平成30年４月＞ 修士（保健看護学）	精神看護学概論 精神看護学実習 地域精神保健福祉と看護 看護管理論 統合実習 看護研究概論 専門看護ゼミナール **健康科学論** **精神看護学** **保健医療パートナーシップ演習**
専	**教授**	庄村　雅子 （50） ＜平成30年４月＞ 博士（看護学）	専門看護ゼミナール **看護学概論** **看護コミュニケーション論** **ヘルスアセスメント** **基礎看護技術演習** **基礎看護学実習１（看護の対象理解）** **臨床看護技術演習１（治療・処置）** **看護過程論** **基礎看護学実習２（生活援助）** **臨床看護技術演習２（薬物療法・検査）** **国際看護演習Ａ（デンマーク）** **国際看護基礎演習Ａ**

【認可時又は届出時】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	准教授	真下　綾子 （50） ＜平成30年４月＞ 博士（保健学）	成人老年看護学概論Ａ 成人老年看護学概論Ｂ 疾病と看護Ａ（消化器） 疾病と看護Ｄ（神経・運動器） 疾病と看護Ｅ（代謝・免疫・感覚器） 老年看護学演習 老年看護学実習Ａ （健康障害を持つ高齢者の看護） 老年看護学実習Ｂ （施設で生活する高齢者の看護） 看護管理論 統合実習 専門看護ゼミナール
専	准教授	吉野　純子 （49） ＜平成30年４月＞ 博士（看護学）	健康教育学 公衆衛生看護技術論 公衆衛生看護学概論 行政保健師活動論 産業保健看護学 産業保健看護学実習 行政保健師実習 国際看護論 公衆衛生看護管理論 統合実習 専門看護ゼミナール
専	講師	石原　孝子 （52） ＜平成30年４月＞ 博士（医学）	看護コミュニケーション論 在宅看護学概論 在宅看護学 在宅看護学実習 退院支援・在宅ケアマネジメント論 統合実習 専門看護ゼミナール
専	講師	岡部　春香 （42） ＜平成30年４月＞ 修士（看護学）	成人老年看護学概論Ｂ 疾病と看護Ｄ（神経・運動器） 疾病と看護Ｆ（周手術期） 成人看護学演習 成人看護学実習 看護情報学 統合実習 専門看護ゼミナール
専	講師	荻野　夏子 （50） ＜平成30年４月＞ 博士（看護学）	精神看護学 精神看護学実習 統合実習 専門看護ゼミナール

【平成３０年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	准教授	真下　綾子 （50） ＜平成30年４月＞ 博士（保健学）	成人老年看護学概論Ａ 成人老年看護学概論Ｂ 疾病と看護Ａ（消化器） 疾病と看護Ｄ（神経・運動器） 疾病と看護Ｅ（代謝・免疫・感覚器） 老年看護学演習 老年看護学実習Ａ （健康障害を持つ高齢者の看護） 老年看護学実習Ｂ （施設で生活する高齢者の看護） 看護管理論 統合実習 専門看護ゼミナール
専	准教授	吉野　純子 （49） ＜平成30年４月＞ 博士（看護学）	健康教育学 公衆衛生看護技術論 公衆衛生看護学概論 行政保健師活動論 産業保健看護学 産業保健看護学実習 行政保健師実習 国際看護論 公衆衛生看護管理論 統合実習 専門看護ゼミナール
専	講師	石原　孝子 （52） ＜平成30年４月＞ 博士（医学）	在宅看護学概論 在宅看護学 在宅看護学実習 退院支援・在宅ケアマネジメント論 統合実習 専門看護ゼミナール
専	講師	岡部　春香 （42） ＜平成30年４月＞ 修士（看護学）	成人老年看護学概論Ｂ 疾病と看護Ｄ（神経・運動器） 疾病と看護Ｆ（周手術期） 成人看護学演習 成人看護学実習 看護情報学 統合実習 専門看護ゼミナール
専	講師	荻野　夏子 （50） ＜平成30年４月＞ 博士（看護学）	精神看護学 精神看護学実習 統合実習 専門看護ゼミナール **精神看護学概論**

【令和元年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	准教授	真下　綾子 （51） ＜平成30年４月＞ 博士（保健学）	成人老年看護学概論Ａ 成人老年看護学概論Ｂ 疾病と看護Ａ（消化器） 疾病と看護Ｄ（神経・運動器） 老年看護学演習 老年看護学実習Ａ （健康障害を持つ高齢者の看護） 老年看護学実習Ｂ （施設で生活する高齢者の看護） 看護管理論 統合実習 専門看護ゼミナール **国際看護論**
専	准教授	吉野　純子 （50） ＜平成30年４月＞ 博士（看護学）	健康教育学 公衆衛生看護技術論 公衆衛生看護学概論 行政保健師活動論 産業保健看護学 産業保健看護学実習 行政保健師実習 国際看護論 公衆衛生看護管理論 統合実習 専門看護ゼミナール **健康科学論**
専	講師	石原　孝子 （53） ＜平成30年４月＞ 博士（医学）	在宅看護学概論 在宅看護学 在宅看護学実習 退院支援・在宅ケアマネジメント論 統合実習 専門看護ゼミナール ENGLISH OF NURSING STUDY ABROAD
専	講師	岡部　春香 （43） ＜平成30年４月＞ 修士（看護学）	疾病と看護Ｄ（神経・運動器） 疾病と看護Ｆ（周手術期） 成人看護学演習 成人看護学実習 看護情報学 統合実習 専門看護ゼミナール
専	講師	荻野　夏子 （51） ＜平成30年４月＞ 博士（看護学）	精神看護学 精神看護学実習 統合実習 専門看護ゼミナール **精神看護学概論**

【令和２年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	准教授	真下　綾子 （52） ＜平成30年４月＞ 博士（保健学）	成人老年看護学概論Ａ 成人老年看護学概論Ｂ 疾病と看護Ａ（消化器） 疾病と看護Ｄ（神経・運動器） 老年看護学演習 老年看護学実習Ａ （健康障害を持つ高齢者の看護） 老年看護学実習Ｂ （施設で生活する高齢者の看護） 看護管理論 統合実習 専門看護ゼミナール **国際看護論** **保健医療パートナーシップ総論** **疾病と看護Ｃ（腎・泌尿器・皮膚）** **疾病と看護Ｅ（代謝・免疫・感覚器）**
専	准教授	吉野　純子 （51） ＜平成30年４月＞ 博士（看護学）	健康教育学 公衆衛生看護技術論 公衆衛生看護学概論 行政保健師活動論 産業保健看護学 行政保健師実習 国際看護論 公衆衛生看護管理論 統合実習 専門看護ゼミナール **健康科学論** **表現技法の基礎**
専	講師	石原　孝子 （54） ＜平成30年４月＞ 博士（医学）	在宅看護学概論 在宅看護学 在宅看護学実習 退院支援・在宅ケアマネジメント論 統合実習 専門看護ゼミナール
専	講師	岡部　春香 （44） ＜平成30年４月＞ 修士（看護学）	疾病と看護Ｄ（神経・運動器） 疾病と看護Ｆ（周手術期） 成人看護学演習 成人看護学実習 看護情報学 統合実習 専門看護ゼミナール
専	講師	荻野　夏子 （52） ＜平成30年４月＞ 博士（看護学）	精神看護学 精神看護学実習 統合実習 専門看護ゼミナール **精神看護学概論** **地域精神保健福祉と看護** **表現技法の基礎**

【令和３年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	准教授	吉野　純子 （52） ＜平成30年４月＞ 博士（看護学）	健康教育学 公衆衛生看護技術論 公衆衛生看護学概論 行政保健師活動論 産業保健看護学 産業保健看護学実習 行政保健師実習 国際看護論 公衆衛生看護管理論 統合実習 専門看護ゼミナール **健康科学論**
専	講師	石原　孝子 （55） ＜平成30年４月＞ 博士（医学）	在宅看護学概論 在宅看護学 在宅看護学実習 退院支援・在宅ケアマネジメント論 統合実習 専門看護ゼミナール **表現技法の基礎** **保健医療パートナーシップ演習**
専	講師	岡部　春香 （45） ＜平成30年４月＞ 修士（看護学）	疾病と看護Ｄ（神経・運動器） 疾病と看護Ｆ（周手術期） 成人看護学演習 成人看護学実習 看護情報学 統合実習 専門看護ゼミナール **疾病と看護Ａ（消化器）**
専	講師	荻野　夏子 （53） ＜平成30年４月＞ 博士（看護学）	精神看護学 精神看護学実習 統合実習 専門看護ゼミナール **精神看護学概論** **地域精神保健福祉と看護** **国際看護論**

【認可時又は届出時】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	講師	小椋　正道 （46） ＜平成30年４月＞ 博士（医学）	感染と防御 成人老年看護学概論Ｂ 疾病と看護Ｃ（腎・泌尿器・皮膚） 疾病と看護Ｄ（神経・運動器） 疾病と看護Ｅ（代謝・免疫・感覚器） 老年看護学演習 老年看護学実習Ａ（健康障害を持つ高齢者の看護） 老年看護学実習Ｂ（施設で生活する高齢者の看護） 統合実習 専門看護ゼミナール
専	講師	籠谷　恵 （34） ＜平成30年４月＞ 博士（教育学）	看護コミュニケーション論 ヘルスアセスメント 基礎看護技術演習 看護過程論 基礎看護学実習１（看護の対象理解） 基礎看護学実習２（生活援助） 臨床看護技術演習１（治療・処置） 臨床看護技術演習２（薬物療法・検査） 養護概説 学校保健 公衆衛生看護学概論 統合実習 専門看護ゼミナール
専	講師	三橋　祐子 （47） ＜平成30年４月＞ 修士（看護学）	健康教育学 公衆衛生看護技術論 公衆衛生看護学概論 行政保健師活動論 産業保健看護学 産業保健看護学実習 行政保健師実習 公衆衛生看護管理論 統合実習 専門看護ゼミナール
専	講師	森　祥子 （47） ＜平成30年４月＞ 修士（看護学）	看護コミュニケーション論 ヘルスアセスメント 基礎看護技術演習 看護過程論 基礎看護学実習１（看護の対象理解） 基礎看護学実習２（生活援助） 臨床看護技術演習１（治療・処置） 統合実習 専門看護ゼミナール

【平成３０年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	講師	小椋　正道 （46） ＜平成30年４月＞ 博士（医学）	感染と防御 成人老年看護学概論Ｂ 疾病と看護Ｃ（腎・泌尿器・皮膚） 疾病と看護Ｄ（神経・運動器） 疾病と看護Ｅ（代謝・免疫・感覚器） 老年看護学演習 老年看護学実習Ａ（健康障害を持つ高齢者の看護） 老年看護学実習Ｂ（施設で生活する高齢者の看護） 統合実習 専門看護ゼミナール
専	講師	籠谷　恵 （34） ＜平成30年４月＞ 博士（教育学）	看護コミュニケーション論 ヘルスアセスメント 基礎看護技術演習 看護過程論 基礎看護学実習１（看護の対象理解） 基礎看護学実習２（生活援助） 臨床看護技術演習１（治療・処置） 臨床看護技術演習２（薬物療法・検査） 養護概説 学校保健 公衆衛生看護学概論 統合実習 専門看護ゼミナール
専	講師	三橋　祐子 （47） ＜平成30年４月＞ 修士（看護学）	健康教育学 公衆衛生看護技術論 公衆衛生看護学概論 行政保健師活動論 産業保健看護学 産業保健看護学実習 行政保健師実習 公衆衛生看護管理論 統合実習 専門看護ゼミナール
専	講師	森　祥子 （47） ＜平成30年４月＞ 修士（看護学）	看護コミュニケーション論 ヘルスアセスメント 基礎看護技術演習 看護過程論 基礎看護学実習１（看護の対象理解） 基礎看護学実習２（生活援助） 臨床看護技術演習１（治療・処置） 統合実習 専門看護ゼミナール **表現技法の基礎**

【令和元年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	講師	小椋　正道 （47） ＜平成30年４月＞ 博士（医学）	感染と防御 成人老年看護学概論Ｂ 疾病と看護Ｃ（腎・泌尿器・皮膚） 疾病と看護Ｅ（代謝・免疫・感覚器） 老年看護学演習 老年看護学実習Ａ（健康障害を持つ高齢者の看護） 老年看護学実習Ｂ（施設で生活する高齢者の看護） 統合実習 専門看護ゼミナール **疾病と看護Ａ（消化器）**
専	講師	籠谷　恵 （34） ＜平成30年４月＞ 博士（教育学）	看護コミュニケーション論 ヘルスアセスメント 基礎看護学実習２（生活援助） 臨床看護技術演習１（治療・処置） 臨床看護技術演習２（薬物療法・検査） 養護概説 学校保健 公衆衛生看護学概論 統合実習 専門看護ゼミナール
専	講師	三橋　祐子 （48） ＜平成30年４月＞ 修士（看護学）	健康教育学 公衆衛生看護技術論 公衆衛生看護学概論 行政保健師活動論 産業保健看護学 産業保健看護学実習 行政保健師実習 公衆衛生看護管理論 統合実習 専門看護ゼミナール
専	講師	森　祥子 （48） ＜平成30年４月＞ 修士（看護学）	看護コミュニケーション論 ヘルスアセスメント 基礎看護技術演習 看護過程論 基礎看護学実習１（看護の対象理解） 基礎看護学実習２（生活援助） 臨床看護技術演習１（治療・処置） 統合実習 専門看護ゼミナール **看護学概論** **国際コミュニケーションＢ（ハワイ）** **臨床看護技術演習２（薬物療法・検査）**

【令和２年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	**准教授**	小椋　正道 （48） ＜平成30年４月＞ 博士（医学）	感染と防御 成人老年看護学概論Ｂ 疾病と看護Ｃ（腎・泌尿器・皮膚） 疾病と看護Ｅ（代謝・免疫・感覚器） 老年看護学演習 老年看護学実習Ａ（健康障害を持つ高齢者の看護） 老年看護学実習Ｂ（施設で生活する高齢者の看護） 統合実習 専門看護ゼミナール **疾病と看護Ａ（消化器）**
専	講師	籠谷　恵 （36） ＜平成30年４月＞ 博士（教育学）	ヘルスアセスメント **基礎看護学実習１（養護の対象理解）** 基礎看護学実習２（生活援助） 臨床看護技術演習１（治療・処置） 臨床看護技術演習２（薬物療法・検査） 養護概説 学校保健 公衆衛生看護学概論 統合実習 専門看護ゼミナール **基礎看護技術演習**
専	講師	三橋　祐子 （48） ＜平成30年４月＞ 修士（看護学）	健康教育学 公衆衛生看護技術論 公衆衛生看護学概論 行政保健師活動論 産業保健看護学 産業保健看護学実習 行政保健師実習 公衆衛生看護管理論 統合実習 専門看護ゼミナール
専	講師	森　祥子 （49） ＜平成30年４月＞ 修士（看護学）	看護コミュニケーション論 ヘルスアセスメント 基礎看護技術演習 看護過程論 基礎看護学実習２（生活援助） 臨床看護技術演習１（治療・処置） 統合実習 専門看護ゼミナール **看護学概論** **国際コミュニケーションＢ（ハワイ）** **臨床看護技術演習２（薬物療法・検査）**

【令和３年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	**准教授**	小椋　正道 （49） ＜平成30年４月＞ 博士（医学）	感染と防御 疾病と看護Ｃ（腎・泌尿器・皮膚） 疾病と看護Ｅ（代謝・免疫・感覚器） 老年看護学演習 老年看護学実習Ａ（健康障害を持つ高齢者の看護） 老年看護学実習Ｂ（施設で生活する高齢者の看護） 統合実習 専門看護ゼミナール **疾病と看護Ａ（消化器）** **表現技法の基礎** **国際看護論** **成人老年看護学概論Ｂ**
専	講師	籠谷　恵 （37） ＜平成30年４月＞ 博士（教育学）	ヘルスアセスメント 基礎看護学実習１（養護の対象理解） 基礎看護学実習２（生活援助） 臨床看護技術演習１（治療・処置） 臨床看護技術演習２（薬物療法・検査） 養護概説 学校保健 公衆衛生看護学概論 専門看護ゼミナール **基礎看護技術演習** **看護コミュニケーション論** **看護教育学**
専	**准教授**	三橋　祐子 （49） ＜平成30年４月＞ 修士（看護学）	健康教育学 公衆衛生看護技術論 公衆衛生看護学概論 行政保健師活動論 産業保健看護学 産業保健看護学実習 行政保健師実習 公衆衛生看護管理論 統合実習 専門看護ゼミナール
専	講師	森　祥子 （50） ＜平成30年４月＞ 修士（看護学）	ヘルスアセスメント 基礎看護技術演習 看護過程論 基礎看護学実習１（看護の対象理解） 基礎看護学実習２（生活援助） 臨床看護技術演習１（治療・処置） 専門看護ゼミナール **看護学概論** **国際コミュニケーションＢ（ハワイ）** **臨床看護技術演習２（薬物療法・検査）** **保健医療パートナーシップ演習**

【認可時又は届出時】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	講師	森屋　宏美 （40） ＜平成30年４月＞ 修士（看護学）	看護コミュニケーション論 ヘルスアセスメント 基礎看護技術演習 看護過程論 基礎看護学実習１（看護の対象理解） 基礎看護学実習２（生活援助） 臨床看護技術演習１（治療・処置） 臨床看護技術演習２（薬物療法・検査） 国際看護論 統合実習 専門看護ゼミナール
専	講師	安井　大輔 （39） ＜平成30年４月＞ 修士（看護学）	成人老年看護学概論Ａ 成人老年看護学概論Ｂ 疾病と看護Ａ（消化器） 疾病と看護Ｃ（腎・泌尿器・皮膚） 疾病と看護Ｅ（代謝・免疫・感覚器） 老年看護学演習 老年看護学実習Ａ（健康障害を持つ高齢者の看護） 老年看護学実習Ｂ（施設で生活する高齢者の看護） 統合実習 専門看護ゼミナール

【平成３０年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	講師	森屋　宏美 （41） ＜平成30年４月＞ 修士（看護学）	看護コミュニケーション論 ヘルスアセスメント 基礎看護技術演習 看護過程論 基礎看護学実習１（看護の対象理解） 基礎看護学実習２（生活援助） 臨床看護技術演習１（治療・処置） 臨床看護技術演習２（薬物療法・検査） 国際看護論 統合実習 専門看護ゼミナール
専	講師	安井　大輔 （39） ＜平成30年４月＞ 修士（看護学）	成人老年看護学概論Ａ 成人老年看護学概論Ｂ 疾病と看護Ａ（消化器） 疾病と看護Ｃ（腎・泌尿器・皮膚） 疾病と看護Ｅ（代謝・免疫・感覚器） 老年看護学演習 老年看護学実習Ａ（健康障害を持つ高齢者の看護） 老年看護学実習Ｂ（施設で生活する高齢者の看護） 統合実習 専門看護ゼミナール
専	講師	松本　裕 （42） ＜平成30年４月＞ 修士（看護学）	表現技法の基礎 人体の構造と機能２（解剖生理学） 看護コミュニケーション論 ヘルスアセスメント
専	講師	矢口　菜穂 （46） ＜平成30年４月＞ 修士（応用情報科学）	シティズンシップ 看護コミュニケーション論 ヘルスアセスメント 基礎看護技術演習 基礎看護学実習１（看護の対象理解）

【令和元年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	講師	森屋　宏美 （42） ＜平成30年４月＞ 修士（看護学）	看護コミュニケーション論 ヘルスアセスメント 基礎看護技術演習 看護過程論 基礎看護学実習１（看護の対象理解） 基礎看護学実習２（生活援助） 臨床看護技術演習１（治療・処置） 臨床看護技術演習２（薬物療法・検査） 統合実習 専門看護ゼミナール
専	講師	安井　大輔 （40） ＜平成30年４月＞ 修士（看護学）	成人老年看護学概論Ａ 成人老年看護学概論Ｂ 疾病と看護Ａ（消化器） 疾病と看護Ｃ（腎・泌尿器・皮膚） 疾病と看護Ｅ（代謝・免疫・感覚器） 老年看護学演習 老年看護学実習Ａ（健康障害を持つ高齢者の看護） 老年看護学実習Ｂ（施設で生活する高齢者の看護） 統合実習 専門看護ゼミナール
専	講師	松本　裕 （43） ＜平成30年４月＞ 修士（看護学）	表現技法の基礎 人体の構造と機能２（解剖生理学） 看護コミュニケーション論 ヘルスアセスメント 看護過程論 基礎看護学実習２（生活援助）
専	講師	矢口　菜穂 （47） ＜平成30年４月＞ 修士（応用情報科学）	看護コミュニケーション論 ヘルスアセスメント 基礎看護学実習１（看護の対象理解） 臨床看護技術演習１（治療・処置） 基礎看護学実習２（生活援助） 看護情報学 臨床看護技術演習２（薬物療法・検査）

【令和２年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	講師	森屋　宏美 （43） ＜平成30年４月＞ 修士（看護学）	看護コミュニケーション論 ヘルスアセスメント 基礎看護技術演習 看護過程論 基礎看護学実習１（看護の対象理解） 基礎看護学実習２（生活援助） 臨床看護技術演習１（治療・処置） 臨床看護技術演習２（薬物療法・検査） 統合実習 専門看護ゼミナール 人体の構造と機能２（解剖生理学）
専	講師	安井　大輔 （41） ＜平成30年４月＞ 修士（看護学）	疾病と看護Ｃ（腎・泌尿器・皮膚） 老年看護学演習 老年看護学実習Ａ（健康障害を持つ高齢者の看護） 老年看護学実習Ｂ（施設で生活する高齢者の看護） 統合実習 専門看護ゼミナール
専	講師	松本　裕 （44） ＜平成30年４月＞ 修士（看護学）	表現技法の基礎 人体の構造と機能２（解剖生理学） 看護コミュニケーション論 ヘルスアセスメント 看護過程論 基礎看護学実習２（生活援助）
専	講師	矢口　菜穂 （48） ＜平成30年４月＞ 修士（応用情報科学）	看護コミュニケーション論 ヘルスアセスメント 基礎看護技術演習 基礎看護学実習１（看護の対象理解） 臨床看護技術演習１（治療・処置） 基礎看護学実習２（生活援助） 看護情報学 臨床看護技術演習２（薬物療法・検査） 人体の構造と機能２（解剖生理学）

【令和３年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	准教授	森屋　宏美 （44） ＜平成30年４月＞ 修士（看護学）	ヘルスアセスメント 基礎看護技術演習 看護過程論 基礎看護学実習１（看護の対象理解） 基礎看護学実習２（生活援助） 臨床看護技術演習１（治療・処置） 臨床看護技術演習２（薬物療法・検査） 国際看護論 専門看護ゼミナール 人体の構造と機能２（解剖生理学） 表現技法の基礎
専	講師	安井　大輔 （42） ＜平成30年４月＞ 修士（看護学）	疾病と看護Ａ（消化器） 疾病と看護Ｃ（腎・泌尿器・皮膚） 老年看護学演習 老年看護学実習Ａ（健康障害を持つ高齢者の看護） 老年看護学実習Ｂ（施設で生活する高齢者の看護） 統合実習 専門看護ゼミナール 保健医療パートナーシップ演習
専	講師	松本　裕 （45） ＜平成30年４月＞ 修士（看護学）	表現技法の基礎 人体の構造と機能２（解剖生理学） 看護コミュニケーション論 ヘルスアセスメント 看護過程論 基礎看護学実習２（生活援助） 統合実習 専門看護ゼミナール
専	講師	矢口　菜穂 （49） ＜平成30年４月＞ 修士（応用情報科学）	看護コミュニケーション論 ヘルスアセスメント 基礎看護技術演習 基礎看護学実習１（看護の対象理解） 臨床看護技術演習１（治療・処置） 基礎看護学実習２（生活援助） 看護情報学 臨床看護技術演習２（薬物療法・検査） 人体の構造と機能２（解剖生理学） 看護過程論 保健医療パートナーシップ演習 統合実習 専門看護ゼミナール

【認可時又は届出時】			【平成３０年度】			【令和元年度】			【令和２年度】			【令和３年度】		
専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等 担当授業科目名	専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等 担当授業科目名	専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等 担当授業科目名	専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等 担当授業科目名	専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等 担当授業科目名
						専	講師	川上　智史 （44） ＜平成31年４月＞ 博士（医学） 保健医療情報学１（情報科学） 保健医療関係法規 保健医療情報学２（医療統計） 公衆衛生学	専	講師	川上　智史 （45） ＜平成31年４月＞ 博士（医学） 保健医療情報学１（情報科学） 保健医療関係法規 保健医療情報学２（医療統計） 公衆衛生学 疫学 看護研究概論	専	講師	川上　智史 （46） ＜平成31年４月＞ 博士（医学） 保健医療情報学１（情報科学） 保健医療関係法規 保健医療情報学２（医療統計） 公衆衛生学 疫学 看護研究概論 表現技法の基礎 保健医療パートナーシップ演習 専門看護ゼミナール
						専	講師	杉村　篤士 （36） ＜平成31年４月＞ 修士（看護学） 小児看護学 小児看護学概論	専	講師	杉村　篤士 （37） ＜平成31年４月＞ 修士（看護学） 小児看護学 小児看護学概論 小児看護学演習 学校保健 小児看護学実習Ａ（健康な小児の看護） 小児看護学実習Ｂ（健康障がいのある小児の看護）	専	講師	杉村　篤士 （38） ＜平成31年４月＞ 修士（看護学） 小児看護学 小児看護学概論 小児看護学演習 学校保健 小児看護学実習Ａ（健康な小児の看護） 小児看護学実習Ｂ（健康障がいのある小児の看護） 保健医療パートナーシップ演習 統合実習 専門看護ゼミナール
						専	講師	手島　芳江 （55） ＜平成31年４月＞ 修士（看護学） 表現技法の基礎 国際看護論 国際看護基礎演習Ａ 疾病と看護Ｄ（神経・運動器） 疾病と看護Ｅ（代謝・免疫・感覚器） 国際看護演習Ａ（デンマーク）	専	講師	手島　芳江 （56） ＜平成31年４月＞ 修士（看護学） 国際看護論 疾病と看護Ｅ（代謝・免疫・感覚器） 成人看護学演習 国際看護基礎演習Ｂ 成人看護学実習 国際看護演習Ｂ（メイヨ）	専	講師	手島　芳江 （57） ＜平成31年４月＞ 修士（看護学） 疾病と看護Ｅ（代謝・免疫・感覚器） 成人看護学演習 国際看護基礎演習Ｂ 成人看護学実習 国際看護演習Ｂ（メイヨ） 看護管理論 統合実習 専門看護ゼミナール
専	助教	北村　周美 （43） ＜平成30年４月＞ 修士（看護学） 精神看護学実習 地域精神保健福祉と看護 統合実習 専門看護ゼミナール	専	助教	北村　周美 （43） ＜平成30年４月＞ 修士（看護学） 精神看護学実習 地域精神保健福祉と看護 統合実習 専門看護ゼミナール 表現技法の基礎 精神看護学概論	専	助教	北村　周美 （44） ＜平成30年４月＞ 修士（看護学） 精神看護学実習 地域精神保健福祉と看護 統合実習 専門看護ゼミナール	専	助教	北村　周美 （45） ＜平成30年４月＞ 修士（看護学） 精神看護学実習 統合実習 専門看護ゼミナール			
専	助教	島本　さと子 （42） ＜平成30年４月＞ 修士（カウンセリング） 健康教育学 公衆衛生看護技術論 公衆衛生看護学概論 行政保健師活動論 産業保健看護学 産業保健看護学実習 行政保健師実習 公衆衛生看護管理論 統合実習 専門看護ゼミナール	専	助教	島本　さと子 （43） ＜平成30年４月＞ 修士（カウンセリング） 健康教育学 公衆衛生看護技術論 公衆衛生看護学概論 行政保健師活動論 産業保健看護学 産業保健看護学実習 行政保健師実習 公衆衛生看護管理論 統合実習 専門看護ゼミナール	専	講師	島本　さと子 （44） ＜平成30年４月＞ 修士（カウンセリング） 健康教育学 公衆衛生看護技術論 公衆衛生看護学概論 行政保健師活動論 産業保健看護学 産業保健看護学実習 行政保健師実習 公衆衛生看護管理論 統合実習 専門看護ゼミナール	専	講師	島本　さと子 （45） ＜平成30年４月＞ 修士（カウンセリング） 健康教育学 公衆衛生看護技術論 公衆衛生看護学概論 行政保健師活動論 産業保健看護学 産業保健看護学実習 行政保健師実習 公衆衛生看護管理論 統合実習 専門看護ゼミナール 表現技法の基礎	専	講師	島本　さと子 （46） ＜平成30年４月＞ 修士（カウンセリング） 健康教育学 公衆衛生看護技術論 公衆衛生看護学概論 行政保健師活動論 産業保健看護学 産業保健看護学実習 行政保健師実習 公衆衛生看護管理論 統合実習 専門看護ゼミナール
専	助教	矢口　ゆり （35） ＜平成30年４月＞ 修士（看護学） 母性看護学概論 母性看護学 母性看護学実習 統合実習 専門看護ゼミナール	専	助教	矢口　ゆり （35） ＜平成30年４月＞ 修士（看護学） 母性看護学概論 母性看護学 母性看護学実習 統合実習 専門看護ゼミナール	専	助教	矢口　ゆり （36） ＜平成30年４月＞ 修士（看護学） 母性看護学概論 母性看護学 母性看護学実習 統合実習 専門看護ゼミナール	専	助教	矢口　ゆり （37） ＜平成30年４月＞ 修士（看護学） 母性看護学概論 母性看護学 母性看護学実習 統合実習 専門看護ゼミナール			

【認可時又は届出時】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等 担当授業科目名
兼担	教授	飯田　政弘 （63） ＜平成30年４月＞ 博士（医学） 保健医療パートナーシップ総論 保健医療パートナーシップ演習
兼担	教授	和泉　俊一郎 （64） ＜平成30年４月＞ 医学博士 保健医療パートナーシップ総論 保健医療パートナーシップ演習
兼担	教授	上野　滋 （64） ＜平成30年４月＞ 医学博士 小児看護学
兼担	教授	高橋　達 （49） ＜平成30年４月＞ 博士（工学） 生活環境論
兼担	教授	橘　裕司 （62） ＜平成30年４月＞ 医学博士 感染と防御 公衆衛生学
兼担	教授	中村　直哉 （58） ＜平成30年４月＞ 医学博士 疾病と看護Ａ（消化器）
兼担	教授	秦野　伸二 （55） ＜平成30年４月＞ 博士（医学） 栄養と代謝
兼担	教授	福崎　稔 （61） ＜平成30年４月＞ 博士（理学） 臨床工学
兼担	教授	船水　浩行 （54） ＜平成30年４月＞ 文学修士 社会保障論 保健医療福祉行政論 社会福祉論
兼担	教授	堀越　由紀子 （63） ＜平成30年４月＞ 修士（社会福祉学） 保健医療パートナーシップ総論 保健医療パートナーシップ演習

【平成３０年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等 担当授業科目名
兼担	教授	飯田　政弘 （63） ＜平成30年４月＞ 博士（医学） 保健医療パートナーシップ総論 保健医療パートナーシップ演習
兼担	教授	上野　滋 （64） ＜平成30年４月＞ 医学博士 小児看護学
兼担	教授	高橋　達 （49） ＜平成30年４月＞ 博士（工学） 生活環境論
兼担	教授	橘　裕司 （62） ＜平成30年４月＞ 医学博士 感染と防御 公衆衛生学
兼担	教授	中村　直哉 （58） ＜平成30年４月＞ 医学博士 疾病と看護Ａ（消化器）
兼担	教授	秦野　伸二 （55） ＜平成30年４月＞ 博士（医学） 栄養と代謝
兼担	教授	福崎　稔 （61） ＜平成30年４月＞ 博士（理学） 臨床工学
兼担	教授	船水　浩行 （54） ＜平成30年４月＞ 文学修士 社会保障論 保健医療福祉行政論 社会福祉論 **健康科学論**
兼担	教授	堀越　由紀子 （63） ＜平成30年４月＞ 修士（社会福祉学） 保健医療パートナーシップ総論 保健医療パートナーシップ演習

【令和元年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等 担当授業科目名
専	**助教**	**岩本　敏志 （40） ＜平成31年４月＞ 看護学修士 疾病と看護Ｂ（呼吸器・循環器） 疾病と看護Ｆ（周手術期）**
専	**助教**	**櫻井　大輔 （43） ＜平成31年４月＞ 修士（看護学） 疾病と看護F(周手術器)**
兼担	教授	飯田　政弘 （64） ＜平成30年４月＞ 博士（医学） 保健医療パートナーシップ演習
兼担	教授	高橋　達 （50） ＜平成30年４月＞ 博士（工学） 生活環境論
兼担	教授	橘　裕司 （63） ＜平成30年４月＞ 医学博士 感染と防御
兼担	教授	中村　直哉 （59） ＜平成30年４月＞ 医学博士 疾病と看護Ａ（消化器）
兼担	教授	秦野　伸二 （56） ＜平成30年４月＞ 博士（医学） 栄養と代謝
兼担	教授	福崎　稔 （62） ＜平成30年４月＞ 博士（理学） 臨床工学
兼担	教授	船水　浩行 （55） ＜平成30年４月＞ 文学修士 社会保障論 保健医療福祉行政論 社会福祉論 **健康科学論**
兼担	教授	堀越　由紀子 （64） ＜平成30年４月＞ 修士（社会福祉学） 保健医療パートナーシップ総論 保健医療パートナーシップ演習

【令和２年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等 担当授業科目名
専	**助教**	**岩本　敏志 （41） ＜平成31年４月＞ 看護学修士 疾病と看護Ｂ（呼吸器・循環器） 疾病と看護Ｆ（周手術期） 成人看護学演習 成人看護学実習 疾病と看護Ｅ（代謝・免疫・感覚器）**
専	**助教**	**櫻井　大輔 （44） ＜平成31年４月＞ 修士（看護学） 疾病と看護F(周手術器) 成人看護学演習 成人看護学実習**
兼担	教授	高橋　達 （51） ＜平成30年４月＞ 博士（工学） 生活環境論
兼担	教授	橘　裕司 （64） ＜平成30年４月＞ 医学博士 感染と防御
兼担	教授	中村　直哉 （60） ＜平成30年４月＞ 医学博士 疾病と看護Ａ（消化器）
兼担	教授	秦野　伸二 （57） ＜平成30年４月＞ 博士（医学） 栄養と代謝
兼担	教授	福崎　稔 （63） ＜平成30年４月＞ 博士（理学） 臨床工学
兼担	教授	船水　浩行 （54） ＜平成30年４月＞ 文学修士 社会保障論 保健医療福祉行政論 **健康科学論**

【令和３年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等 担当授業科目名
専	**講師**	**岩本　敏志 （42） ＜平成31年４月＞ 看護学修士 疾病と看護Ｂ（呼吸器・循環器） 疾病と看護Ｆ（周手術期） 成人看護学演習 成人看護学実習 保健医療パートナーシップ演習 統合実習 救急・災害看護論 専門看護ゼミナール**
専	**助教**	**櫻井　大輔 （45） ＜平成31年４月＞ 修士（看護学） 疾病と看護F(周手術器) 成人看護学演習 成人看護学実習 国際看護論 統合実習 家族看護学 救急・災害看護論 専門看護ゼミナール**
兼担	教授	高橋　達 （52） ＜平成30年４月＞ 博士（工学） 生活環境論
兼任	**講師**	橘　裕司 （65） ＜平成30年４月＞ 医学博士 感染と防御
兼担	教授	中村　直哉 （61） ＜平成30年４月＞ 医学博士 疾病と看護Ａ（消化器）
兼担	教授	秦野　伸二 （58） ＜平成30年４月＞ 博士（医学） 栄養と代謝
兼担	教授	福崎　稔 （64） ＜平成30年４月＞ 博士（理学） 臨床工学
兼担	教授	船水　浩行 （55） ＜平成30年４月＞ 文学修士 社会保障論 保健医療福祉行政論 **健康科学論**

【認可時又は届出時】			【平成３０年度】			【令和元年度】			【令和２年度】			【令和３年度】		
専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等 担当授業科目名	専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等 担当授業科目名	専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等 担当授業科目名	専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等 担当授業科目名	専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等 担当授業科目名
兼担	教授	松本　英夫 （61） ＜平成30年４月＞ 医学博士 保健医療パートナーシップ総論 保健医療パートナーシップ演習												
兼担	教授	宮地　勇人 （61） ＜平成30年４月＞ 医学博士 感染と防御	兼担	教授	宮地　勇人 （61） ＜平成30年４月＞ 医学博士 感染と防御	兼担	教授	宮地　勇人 （62） ＜平成30年４月＞ 医学博士 感染と防御	兼担	教授	宮地　勇人 （63） ＜平成30年４月＞ 医学博士 感染と防御	兼担	教授	宮地　勇人 （64） ＜平成30年４月＞ 医学博士 感染と防御
兼担	教授	望月　博之 （62） ＜平成30年４月＞ 博士（医学） 小児看護学	兼担	教授	望月　博之 （62） ＜平成30年４月＞ 博士（医学） 小児看護学	兼担	教授	望月　博之 （63） ＜平成30年４月＞ 博士（医学） 小児看護学 **小児看護学概論**	兼担	教授	望月　博之 （64） ＜平成30年４月＞ 博士（医学） 小児看護学 **小児看護学概論**	兼担	教授	望月　博之 （65） ＜平成30年４月＞ 博士（医学） 小児看護学 **小児看護学概論**
兼担	教授	山崎　清之 （59） ＜平成30年４月＞ 医学博士 人間工学 保健医療パートナーシップ総論 保健医療パートナーシップ演習	兼担	教授	山崎　清之 （60） ＜平成30年４月＞ 医学博士 人間工学 保健医療パートナーシップ総論 保健医療パートナーシップ演習	兼担	教授	山崎　清之 （61） ＜平成30年４月＞ 医学博士 人間工学 保健医療パートナーシップ総論 保健医療パートナーシップ演習	兼担	教授	山崎　清之 （62） ＜平成30年４月＞ 医学博士 人間工学 保健医療パートナーシップ総論	兼担	教授	山崎　清之 （63） ＜平成30年４月＞ 医学博士 人間工学
兼担	教授	山本　賢司 （53） ＜平成30年４月＞ 博士（医学） 精神看護学	兼担	教授	山本　賢司 （53） ＜平成30年４月＞ 博士（医学） 精神看護学	兼担	教授	山本　賢司 （54） ＜平成30年４月＞ 博士（医学） 精神看護学	兼担	教授	山本　賢司 （55） ＜平成30年４月＞ 博士（医学） 精神看護学	兼担	教授	山本　賢司 （56） ＜平成30年４月＞ 博士（医学） 精神看護学
兼担	教授	小河原　慶太 （50） ＜平成30年４月＞ 修士（体育学） 健康・フィットネス理論実習												
兼担	教授	佐藤　恵子 （62） ＜平成30年４月＞ 文学修士※ 地域理解				**兼担**	**教授**	**佐藤　恵子 （63） ＜平成30年４月＞ 文学修士※ 自然科学**	**兼担**	**教授**	**佐藤　恵子 （64） ＜平成30年４月＞ 文学修士※ 自然科学**			
兼担	教授	前田　泰樹 （46） ＜平成30年４月＞ 博士（社会学） 社会科学												
兼担	教授	山田　清志 （62） ＜平成30年４月＞ 現代文明論	兼担	教授	山田　清志 （62） ＜平成30年４月＞ 現代文明論	兼担	教授	山田　清志 （63） ＜平成30年４月＞ 法学士※ 現代文明論	兼担	教授	山田　清志 （64） ＜平成30年４月＞ 法学士※ 現代文明論	兼担	教授	山田　清志 （65） ＜平成30年４月＞ 法学士※ 現代文明論
			兼担	**教授**	**坂部　貢 （61） ＜平成30年４月＞ 博士（医学） 保健医療パートナーシップ総論**	**兼担**	**教授**	**坂部　貢 （62） ＜平成30年４月＞ 博士（医学） 保健医療パートナーシップ総論**	**兼担**	**教授**	**坂部　貢 （63） ＜平成30年４月＞ 博士（医学） 保健医療パートナーシップ総論**			
			兼担	**教授**	**石原　圭子 （59） ＜平成30年４月＞ M．A（米国） 人文科学**	**兼担**	**教授**	**石原　圭子 （60） ＜平成30年４月＞ M．A（米国） 人文科学**	**兼担**	**教授**	**石原　圭子 （61） ＜平成30年４月＞ M．A（米国） 人文科学**			
			兼担	**教授**	**鈴木　泰恵 （59） ＜平成30年４月＞ 博士（文学） 地域理解**									
			兼担	**教授**	**林　大仁 （58） ＜平成30年４月＞ 国際理解**									
			兼担	**教授**	**村上　治美 （60） ＜平成30年４月＞ 文学修士 国際理解**	**兼担**	**教授**	**村上　治美 （61） ＜平成30年４月＞ 文学修士 国際理解**	**兼担**	**教授**	**村上　治美 （62） ＜平成30年４月＞ 文学修士 国際理解**			
			兼担	**教授**	**吉田　厚子 （58） ＜平成30年４月＞ 文学修士※**	**兼担**	**教授**	**吉田　厚子 （59） ＜平成30年４月＞ 文学修士※ 現代文明論**	**兼担**	**教授**	**吉田　厚子 （60） ＜平成30年４月＞ 文学修士※ 人文科学**			
						兼担	**教授**	**北原　規 （68） ＜平成31年４月＞ 医学博士 疾病と看護E(代謝免疫・感覚器)**						

【認可時又は届出時】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名

【平成３０年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名

【令和元年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	教授	小林　広幸 (60) ＜平成31年４月＞ 博士（医学）	薬理学
兼担	教授	嶋澤　るみ子 (51) ＜平成31年４月＞ 博士（薬学）	薬理学
兼担	教授	瀧澤　俊也 (63) ＜平成31年４月＞ 医学博士	疾病と看護D(神経・運動器)
兼担	教授	橋本　朋子 (57) ＜平成31年４月＞ 学士（法学）	地域理解
兼担	教授	秦野　伸二 (56) ＜平成31年４月＞ 博士（医学）	栄養と代謝
兼担	教授	馬場　弘臣 (60) ＜平成31年４月＞ 文学修士※	人文科学
兼担	教授	吉岡　尚美 (51) ＜平成31年４月＞ 博士（学術）	健康・フィットネス理論実習 生涯スポーツ理論実習
兼担	教授	渡辺　雅彦 (56) ＜平成31年４月＞ 博士（医学）	保健医療パートナーシップ総論

【令和２年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	教授	小林　広幸 (61) ＜平成31年４月＞ 博士（医学）	薬理学
兼担	教授	嶋澤　るみ子 (52) ＜平成31年４月＞ 博士（薬学）	薬理学
兼担	教授	瀧澤　俊也 (64) ＜平成31年４月＞ 医学博士	疾病と看護D(神経・運動器)
兼担	教授	橋本　朋子 (58) ＜平成31年４月＞ 学士（法学）	地域理解
兼担	教授	秦野　伸二 (57) ＜平成31年４月＞ 博士（医学）	栄養と代謝
兼担	教授	馬場　弘臣 (61) ＜平成31年４月＞ 文学修士※	人文科学
兼担	教授	吉岡　尚美 (52) ＜平成31年４月＞ 博士（学術）	健康・フィットネス理論実習 生涯スポーツ理論実習
兼担	教授	渡辺　雅彦 (57) ＜平成31年４月＞ 博士（医学）	保健医療パートナーシップ総論
兼担	教授	伊東　弥香 (57) ＜令和２年４月＞ M. A（米国）	英語リーディング＆ライティング
兼担	教授	岡田　工 (53) ＜令和２年４月＞ 博士（工学）	自然科学
兼担	教授	久保田　晃生 (47) ＜令和２年４月＞ 博士（社会福祉学	健康・フィットネス理論実習
兼担	教授	シュロズブリー　マーク (59) ＜令和２年４月＞ 修士（文学） （英国）	英語リスニング＆スピーキング
兼担	教授	田中　彰吾 (48) ＜令和２年４月＞ 博士（学術）	社会科学
兼担	教授	長沼　君主 (46) ＜令和２年４月＞ 博士（学術）	英語リーディング＆ライティング グローバルスキル
兼担	教授	八田　有洋 (50) ＜令和２年４月＞ 博士（学術）	生涯スポーツ理論実習

【令和３年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	教授	秦野　伸二 (58) ＜平成31年４月＞ 博士（医学）	栄養と代謝
兼担	教授	馬場　弘臣 (62) ＜平成31年４月＞ 文学修士※	人文科学

【認可時又は届出時】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	准教授	池内　眞弓 （50） ＜平成30年４月＞ 博士（海洋科学）	表現技法の基礎 栄養と代謝 健康障害と栄養 臨床看護技術演習２ （薬物療法・検査）
兼担	准教授	内田　匡輔 （47） ＜平成30年４月＞ 修士（体育学）	学校保健
兼担	准教授	小澤　秀樹 （56） ＜平成30年４月＞ 博士（医学）	疾病と看護Ｂ（呼吸器・循環器）
兼担	准教授	梶原　博 （47） ＜平成30年４月＞ 博士（医学）	疾病と看護Ａ（消化器）
兼担	准教授	木ノ上　高章 （56） ＜平成30年４月＞ 医学博士	国際看護論
兼担	准教授	栗田　太作 （53） ＜平成30年４月＞ 博士（医学）	看護の基礎理科
兼担	准教授	河野　光智 （50） ＜平成30年４月＞	疾病と看護Ｂ（呼吸器・循環器）
兼担	准教授	小松　文成 （44） ＜平成30年４月＞ 博士（医学）	疾病と看護Ｄ（神経・運動器）
兼担	准教授	小見山　智義 （49） ＜平成30年４月＞ 博士（理学）	薬理学
兼担	准教授	白杉　由香理 （56） ＜平成30年４月＞ 博士（医学）	疾病と看護Ｅ（代謝・免疫・感覚器）
兼担	准教授	寺山　隼人 （40） ＜平成30年４月＞ 博士（医学）	人体の構造と機能２ （解剖生理学）
兼担	准教授	新村　文男 （57） ＜平成30年４月＞ 博士（医学）	小児看護学
兼担	准教授	西　隆之 （57） ＜平成30年４月＞ 博士（医学）	疾病と看護Ｆ（周手術期）
兼担	准教授	橋本　篤司 （58） ＜平成30年４月＞ 薬学博士	薬理学
兼担	准教授	稗田　里香 （55） ＜平成30年４月＞ 博士（社会学）	健康科学論
兼担	准教授	矢澤　直樹 （46） ＜平成30年４月＞ 博士（医学）	疾病と看護Ｆ（周手術期）

【平成３０年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	准教授	池内　眞弓 （50） ＜平成30年４月＞ 博士（海洋科学）	栄養と代謝 健康障害と栄養 臨床看護技術演習２ （薬物療法・検査）
兼担	**教授**	内田　匡輔 （47） ＜平成30年４月＞ 修士（体育学）	学校保健
兼担	准教授	小澤　秀樹 （56） ＜平成30年４月＞ 博士（医学）	疾病と看護Ｂ（呼吸器・循環器）
兼担	准教授	梶原　博 （47） ＜平成30年４月＞ 博士（医学）	疾病と看護Ａ（消化器）
兼担	准教授	木ノ上　高章 （56） ＜平成30年４月＞ 医学博士	国際看護論
兼担	准教授	栗田　太作 （53） ＜平成30年４月＞ 博士（医学）	看護の基礎理科
兼担	准教授	河野　光智 （50） ＜平成30年４月＞	疾病と看護Ｂ（呼吸器・循環器）
兼担	准教授	小松　文成 （44） ＜平成30年４月＞ 博士（医学）	疾病と看護Ｄ（神経・運動器）
兼担	准教授	小見山　智義 （49） ＜平成30年４月＞ 博士（理学）	薬理学
兼担	准教授	白杉　由香理 （56） ＜平成30年４月＞ 博士（医学）	疾病と看護Ｅ（代謝・免疫・感覚器）
兼担	准教授	新村　文男 （57） ＜平成30年４月＞ 博士（医学）	小児看護学
兼担	准教授	西　隆之 （48） ＜平成30年４月＞ 博士（医学）	疾病と看護Ｆ（周手術期）
兼担	准教授	矢澤　直樹 （46） ＜平成30年４月＞ 博士（医学）	疾病と看護Ｆ（周手術期）

【令和元年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	准教授	池内　眞弓 （51） ＜平成30年４月＞ 博士（海洋科学）	栄養と代謝 健康障害と栄養
兼担	**教授**	内田　匡輔 （48） ＜平成30年４月＞ 修士（体育学）	学校保健 **健康・フィットネス理論実習** **生涯スポーツ理論実習**
兼担	**教授**	小澤　秀樹 （57） ＜平成30年４月＞ 博士（医学）	疾病と看護Ｂ（呼吸器・循環器）
兼担	准教授	梶原　博 （48） ＜平成30年４月＞ 博士（医学）	疾病と看護Ａ（消化器）
兼担	准教授	木ノ上　高章 （57） ＜平成30年４月＞ 医学博士	国際看護論
兼担	准教授	栗田　太作 （54） ＜平成30年４月＞ 博士（医学）	看護の基礎理科
兼担	准教授	河野　光智 （51） ＜平成30年４月＞ 博士（医学）	疾病と看護Ｂ（呼吸器・循環器）
兼担	准教授	小見山　智義 （50） ＜平成30年４月＞ 博士（理学）	薬理学
兼担	准教授	白杉　由香理 （57） ＜平成30年４月＞ 博士（医学）	疾病と看護Ｅ（代謝・免疫・感覚器）
兼担	准教授	新村　文男 （58） ＜平成30年４月＞ 博士（医学）	小児看護学
兼担	准教授	西　隆之 （48） ＜平成30年４月＞ 博士（医学）	疾病と看護Ｆ（周手術期）

【令和２年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	准教授	池内　眞弓 （52） ＜平成30年４月＞ 博士（海洋科学）	栄養と代謝 健康障害と栄養
兼担	**教授**	内田　匡輔 （49） ＜平成30年４月＞ 修士（体育学）	学校保健 **健康・フィットネス理論実習** **生涯スポーツ理論実習**
兼担	**教授**	小澤　秀樹 （58） ＜平成30年４月＞ 博士（医学）	疾病と看護Ｂ（呼吸器・循環器）
兼担	准教授	梶原　博 （49） ＜平成30年４月＞ 博士（医学）	疾病と看護Ａ（消化器）
兼担	准教授	木ノ上　高章 （58） ＜平成30年４月＞ 医学博士	国際看護論
兼担	准教授	栗田　太作 （55） ＜平成30年４月＞ 博士（医学）	看護の基礎理科
兼担	准教授	河野　光智 （52） ＜平成30年４月＞ 博士（医学）	疾病と看護Ｂ（呼吸器・循環器）
兼担	准教授	小見山　智義 （51） ＜平成30年４月＞ 博士（理学）	薬理学
兼担	准教授	新村　文男 （59） ＜平成30年４月＞ 博士（医学）	小児看護学
兼担	准教授	西　隆之 （49） ＜平成30年４月＞ 博士（医学）	疾病と看護Ｆ（周手術期）

【令和３年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	准教授	池内　眞弓 （53） ＜平成30年４月＞ 博士（海洋科学）	栄養と代謝 健康障害と栄養
兼担	**教授**	内田　匡輔 （50） ＜平成30年４月＞ 修士（体育学）	学校保健 **健康・フィットネス理論実習** **生涯スポーツ理論実習**
兼担	**教授**	小澤　秀樹 （59） ＜平成30年４月＞ 博士（医学）	疾病と看護Ｂ（呼吸器・循環器）
兼担	准教授	梶原　博 （50） ＜平成30年４月＞ 博士（医学）	疾病と看護Ａ（消化器）
兼担	准教授	栗田　太作 （56） ＜平成30年４月＞ 博士（医学）	看護の基礎理科
兼担	准教授	新村　文男 （60） ＜平成30年４月＞ 博士（医学）	小児看護学
兼担	准教授	西　隆之 （50） ＜平成30年４月＞ 博士（医学）	疾病と看護Ｆ（周手術期）

【認可時又は届出時】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	准教授	山本　壮一郎 (48) ＜平成30年４月＞ 博士（医学）	疾病と看護Ｆ（周手術期）
兼担	准教授	吉川　正信 (53) ＜平成30年４月＞ 博士（農学）	薬理学
兼担	准教授	岡本　明弘 (54) ＜平成30年４月＞ 博士（理学）	自然科学
兼担	准教授	加藤　次直 (53) ＜平成30年４月＞ 人文科学修士※	人文科学
兼担	准教授	川邊　保孝 (40) ＜平成30年４月＞ 修士（体育学）	健康・フィットネス理論実習
兼担	准教授	堀本　麻由子 (50) ＜平成30年４月＞ Ｍ．Ａ（米国）※	シティズンシップ ボランティア
兼担	准教授	山口　有実子 (54) ＜平成30年４月＞ Ｐｈ．Ｄ（豪国）	英語リスニング＆スピーキング 英語リーディング＆ライティング グローバルスキル アカデミック英語
兼担	准教授	アブドーラ　アルモーメン (44) ＜平成30年４月＞ 修士（日本語日本文学）	国際理解
兼担	准教授	天野　聡 (40) ＜平成30年４月＞ 修士（体育学）	生涯スポーツ理論実習

【平成３０年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	准教授	山本　壮一郎 (48) ＜平成30年４月＞ 博士（医学）	疾病と看護Ｆ（周手術期）
兼担	准教授	吉川　正信 (53) ＜平成30年４月＞ 博士（農学）	薬理学
兼担	准教授	岡本　明弘 (54) ＜平成30年４月＞ 博士（理学）	自然科学 **現代文明論**
兼担	准教授	加藤　次直 (53) ＜平成30年４月＞ 人文科学修士※	人文科学
兼担	准教授	川邊　保孝 (40) ＜平成30年４月＞ 修士（体育学）	**生涯スポーツ理論実習**
兼担	准教授	堀本　麻由子 (50) ＜平成30年４月＞ Ｍ．Ａ（米国）※	ボランティア
兼担	**准教授**	**菅野　和恵 (44) ＜平成30年４月＞ 博士（教育学）**	**健康科学論**
兼担	**准教授**	**宇佐美　裕子 (42) ＜平成30年４月＞ Ｐｈ．Ｄ（英国）**	**英語リスニング＆スピーキング アカデミック英語**
兼担	**准教授**	**田島　祥 (36) ＜平成30年４月＞ 博士（人文科学）**	**社会科学 ボランティア**
兼担	**准教授**	**東　慎一郎 (47) ＜平成30年４月＞ 博士（哲学）（仏国）**	**人文科学**

【令和元年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	准教授	山本　壮一郎 (49) ＜平成30年４月＞ 博士（医学）	**疾病と看護Ａ（消化器）**
兼担	准教授	吉川　正信 (54) ＜平成30年４月＞ 博士（農学）	薬理学
兼担	准教授	岡本　明弘 (55) ＜平成30年４月＞ 博士（理学）	自然科学 **現代文明論**
兼担	准教授	加藤　次直 (54) ＜平成30年４月＞ 人文科学修士※	人文科学
兼担	准教授	川邊　保孝 (41) ＜平成30年４月＞ 修士（体育学）	**生涯スポーツ理論実習**
兼担	**准教授**	**宇佐美　裕子 (43) ＜平成30年４月＞ Ｐｈ．Ｄ（英国）**	**英語リスニング＆スピーキング アカデミック英語**
兼担	**准教授**	**田島　祥 (37) ＜平成30年４月＞ 博士（人文科学）**	**社会科学**
兼担	**准教授**	**東　慎一郎 (48) ＜平成30年４月＞ 博士（哲学）（仏国）**	**人文科学**
兼担	**准教授**	**厚見　秀樹 (51) ＜平成31年４月＞ 博士（医学）**	**疾病と看護D（神経・運動器）**

【令和２年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	准教授	山本　壮一郎 (50) ＜平成30年４月＞ 博士（医学）	**疾病と看護Ａ（消化器）**
兼担	准教授	吉川　正信 (55) ＜平成30年４月＞ 博士（農学）	薬理学
兼担	准教授	岡本　明弘 (56) ＜平成30年４月＞ 博士（理学）	自然科学 **現代文明論**
兼担	准教授	加藤　次直 (55) ＜平成30年４月＞ 人文科学修士※	人文科学
兼担	准教授	川邊　保孝 (42) ＜平成30年４月＞ 修士（体育学）	**生涯スポーツ理論実習**
兼担	准教授	山口　有実子 (56) ＜平成30年４月＞ Ｐｈ．Ｄ（豪国）	**アカデミック英語**
兼担	**准教授**	**宇佐美　裕子 (44) ＜平成30年４月＞ Ｐｈ．Ｄ（英国）**	**英語リスニング＆スピーキング アカデミック英語**
兼担	**准教授**	**田島　祥 (38) ＜平成30年４月＞ 博士（人文科学）**	**社会科学**
兼担	**准教授**	**東　慎一郎 (49) ＜平成30年４月＞ 博士（哲学）（仏国）**	**人文科学**
兼担	**准教授**	**厚見　秀樹 (52) ＜平成31年４月＞ 博士（医学）**	**疾病と看護D（神経・運動器）**

【令和３年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	准教授	山本　壮一郎 (51) ＜平成30年４月＞ 博士（医学）	**疾病と看護Ａ（消化器）**
兼担	准教授	吉川　正信 (56) ＜平成30年４月＞ 博士（農学）	薬理学
兼担	准教授	岡本　明弘 (57) ＜平成30年４月＞ 博士（理学）	**現代文明論**
兼担	准教授	川邊　保孝 (43) ＜平成30年４月＞ 修士（体育学）	**生涯スポーツ理論実習**
兼担	准教授	山口　有実子 (57) ＜平成30年４月＞ Ｐｈ．Ｄ（豪国）	**国際理解**
兼担	**准教授**	**宇佐美　裕子 (45) ＜平成30年４月＞ Ｐｈ．Ｄ（英国）**	**英語リスニング＆スピーキング**
兼担	**准教授**	**田島　祥 (39) ＜平成30年４月＞ 博士（人文科学）**	**ボランティア**
兼担	**准教授**	**厚見　秀樹 (53) ＜平成31年４月＞ 博士（医学）**	**疾病と看護D（神経・運動器）**

【認可時又は届出時】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名（年　齢）＜就任（予定）年月＞保有学位等	担当授業科目名

【平成３０年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名（年　齢）＜就任（予定）年月＞保有学位等	担当授業科目名

【令和元年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名（年　齢）＜就任（予定）年月＞保有学位等	担当授業科目名
兼担	准教授	大江　一平 (43) ＜平成31年４月＞ 博士（法学）	社会科学
兼担	准教授	加藤　健志 (53) ＜平成31年４月＞ 修士（体育学）	ボランティア
兼担	准教授	古城　隆雄 (39) ＜平成31年４月＞ 博士（政策・メディア）	シティズンシップ
兼担	准教授	橋本　信一 (47) ＜平成31年４月＞ 外国語教授法修士	国際理解
兼担	准教授	村松　香織 (51) ＜平成31年４月＞ 修士（教育学）	シティズンシップ ボランティア
兼担	准教授	本島　英 (57) ＜平成31年４月＞ 博士（医学）	薬理学
兼担	准教授	渡辺　稔彦 (47) ＜平成31年４月＞ 博士（医学）	小児看護学
兼担	准教授	渡橋　靖 (60) ＜平成31年４月＞ 医科学修士	薬理学

【令和２年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名（年　齢）＜就任（予定）年月＞保有学位等	担当授業科目名
兼担	准教授	大江　一平 (44) ＜平成31年４月＞ 博士（法学）	社会科学
兼担	准教授	加藤　健志 (54) ＜平成31年４月＞ 修士（体育学）	ボランティア
兼担	准教授	古城　隆雄 (40) ＜平成31年４月＞ 博士（政策・メディア）	シティズンシップ
兼担	准教授	橋本　信一 (48) ＜平成31年４月＞ 外国語教授法修士	英語リーディング＆ライティング アカデミック英語
兼担	准教授	村松　香織 (52) ＜平成31年４月＞ 修士（教育学）	シティズンシップ ボランティア
兼担	准教授	本島　英 (58) ＜平成31年４月＞ 博士（医学）	薬理学
兼担	准教授	渡辺　稔彦 (48) ＜平成31年４月＞ 博士（医学）	小児看護学
兼担	准教授	渡橋　靖 (61) ＜平成31年４月＞ 医科学修士	薬理学
兼担	准教授	大津　克哉 (44) ＜令和２年４月＞ 修士（体育学）	生涯スポーツ理論実習
兼担	准教授	田頭　未希 (48) ＜令和２年４月＞ 博士（言語文化学）	グローバルスキル
兼担	准教授	田口　香奈恵 (45) ＜令和２年４月＞ 博士（文学）	国際理解
兼担	准教授	西川　惠 (43) ＜令和２年４月＞ M. A（米国）	グローバルスキル
兼担	准教授	二ノ宮リム　さち (44) ＜令和２年４月＞ 博士（農学）	地域理解
兼担	准教授	福留　恵子 (58) ＜令和２年４月＞ 博士（国際公共政策）	社会科学
兼担	准教授	藤井　壮浩 (47) ＜令和２年４月＞ 学士（体育学）	生涯スポーツ理論実習

【令和３年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名（年　齢）＜就任（予定）年月＞保有学位等	担当授業科目名
兼担	准教授	大江　一平 (45) ＜平成31年４月＞ 博士（法学）	社会科学
兼担	教授	渡辺　稔彦 (49) ＜平成31年４月＞ 博士（医学）	小児看護学
兼担	准教授	田頭　未希 (49) ＜令和２年４月＞ 博士（言語文化学）	英語リーディング＆ライティング

【認可時又は届出時】			【平成３０年度】			【令和元年度】			【令和２年度】			【令和３年度】		
専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等 担当授業科目名	専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等 担当授業科目名	専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等 担当授業科目名	専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等 担当授業科目名	専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等 担当授業科目名
									兼担	准教授	藤牧　新 （60） ＜令和２年４月＞ 経済学修士※ 英語リスニング＆スピーキング			
									兼担	准教授	吉原　さちえ （42） ＜令和２年４月＞ 修士（体育学） 生涯スポーツ理論実習			
兼担	講師	海老原　吾郎 （42） ＜平成30年４月＞ 博士（医学） 疾病と看護Ｄ（神経・運動器）	兼担	講師	海老原　吾郎 （42） ＜平成30年４月＞ 博士（医学） 疾病と看護Ｄ（神経・運動器）	兼担	講師	海老原　吾郎 （43） ＜平成30年４月＞ 博士（医学） 疾病と看護Ｄ（神経・運動器）						
兼任	講師	岡村　卓穂 （44） ＜平成30年４月＞ 学士（医学） 疾病と看護Ｅ（代謝・免疫・感覚器）	兼任	講師	岡村　卓穂 （44） ＜平成30年４月＞ 学士（医学） 疾病と看護Ｅ（代謝・免疫・感覚器）	兼任	講師	岡村　卓穂 （45） ＜平成30年４月＞ 学士（医学） 疾病と看護Ｅ（代謝・免疫・感覚器）	兼任	講師	岡村　卓穂 （46） ＜平成30年４月＞ 学士（医学） 疾病と看護Ｅ（代謝・免疫・感覚器）	兼任	講師	岡村　卓穂 （47） ＜平成30年４月＞ 学士（医学） 疾病と看護Ｅ（代謝・免疫・感覚器）
兼担	講師	加藤　裕幸 （43） ＜平成30年４月＞ 博士（医学） 疾病と看護Ｄ（神経・運動器）	兼担	講師	加藤　裕幸 （43） ＜平成30年４月＞ 博士（医学） 疾病と看護Ｄ（神経・運動器）									
兼担	講師	熊木　伸枝 （45） ＜平成30年４月＞ 博士（医学） 疾病と看護Ａ（消化器）	兼担	准教授	熊木　伸枝 （45） ＜平成30年４月＞ 博士（医学） 疾病と看護Ａ（消化器）	兼担	准教授	熊木　伸枝 （46） ＜平成30年４月＞ 博士（医学） 疾病と看護Ａ（消化器）	兼担	准教授	熊木　伸枝 （47） ＜平成30年４月＞ 博士（医学） 疾病と看護Ａ（消化器）	兼担	准教授	熊木　伸枝 （48） ＜平成30年４月＞ 博士（医学） 疾病と看護Ａ（消化器）
兼担	講師	関根　基樹 （42） ＜平成30年４月＞ 博士（医学） 疾病と看護Ｅ（代謝・免疫・感覚器）	兼担	講師	関根　基樹 （42） ＜平成30年４月＞ 博士（医学） 疾病と看護Ｅ（代謝・免疫・感覚器）	兼担	講師	関根　基樹 （43） ＜平成30年４月＞ 博士（医学） 疾病と看護Ｅ（代謝・免疫・感覚器）	兼担	講師	関根　基樹 （44） ＜平成30年４月＞ 博士（医学） 疾病と看護Ｅ（代謝・免疫・感覚器）			
兼担	講師	高沢　研丞 （43） ＜平成30年４月＞ 医学（博士） 疾病と看護Ｃ（腎・泌尿器・皮膚）	兼担	講師	高沢　研丞 （43） ＜平成30年４月＞ 医学（博士） 疾病と看護Ｃ（腎・泌尿器・皮膚）									
兼担	講師	辻　明 （50） ＜平成30年４月＞ 博士（医学） 疾病と看護Ｅ（代謝・免疫・感覚器）	兼担	講師	辻　明 （51） ＜平成30年４月＞ 博士（医学） 疾病と看護Ｅ（代謝・免疫・感覚器）	兼担	講師	辻　明 （52） ＜平成30年４月＞ 博士（医学） 疾病と看護Ｅ（代謝・免疫・感覚器）	兼担	講師	辻　明 （53） ＜平成30年４月＞ 博士（医学） 疾病と看護Ｅ（代謝・免疫・感覚器）	兼担	講師	辻　明 （54） ＜平成30年４月＞ 博士（医学） 疾病と看護Ｅ（代謝・免疫・感覚器）
兼担	講師	長沼　洋一 （45） ＜平成30年４月＞ 博士（保健学） 健康科学論												
兼担	講師	新田　正広 （39） ＜平成30年４月＞ 博士（医学） 疾病と看護Ｃ（腎・泌尿器・皮膚）	兼担	講師	新田　正広 （39） ＜平成30年４月＞ 博士（医学） 疾病と看護Ｃ（腎・泌尿器・皮膚）	兼担	講師	新田　正広 （40） ＜平成30年４月＞ 博士（医学） 疾病と看護Ｃ（腎・泌尿器・皮膚）	兼担	講師	新田　正広 （41） ＜平成30年４月＞ 博士（医学） 疾病と看護Ｃ（腎・泌尿器・皮膚）	兼担	講師	新田　正広 （42） ＜平成30年４月＞ 博士（医学） 疾病と看護Ｃ（腎・泌尿器・皮膚）
兼担	講師	藤田　幸男 （34） ＜平成30年４月＞ 博士（放射線学） 看護の基礎理科												
兼担	講師	八百　則和 （41） ＜平成30年４月＞ 修士（体育学） 生涯スポーツ理論実習												
			兼担	講師	青木　孝子 （52） ＜平成30年４月＞ 経済学修士※ 社会科学									
			兼担	講師	浅井　亜希 （36） ＜平成30年４月＞ 修士（政治学）※ ボランティア	兼担	講師	浅井　亜希 （37） ＜平成30年４月＞ 修士（政治学）※ ボランティア	兼担	講師	浅井　亜希 （38） ＜平成30年４月＞ 修士（政治学）※ ボランティア			

【認可時又は届出時】			【平成３０年度】			【令和元年度】			【令和２年度】			【令和３年度】		
専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等 担当授業科目名	専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等 担当授業科目名	専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等 担当授業科目名	専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等 担当授業科目名	専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等 担当授業科目名
			兼担	講師	今堀　恵美 （43） ＜平成30年４月＞ 博士（社会人類学） 地域理解									
			兼担	講師	植村　隆志 （35） ＜平成30年４月＞ 修士（体育学） 健康・フィットネス理論実習	兼担	講師	植村　隆志 （36） ＜平成30年４月＞ 修士（体育学） 健康・フィットネス理論実習	兼担	講師	植村　隆志 （37） ＜平成30年４月＞ 修士（体育学） 健康・フィットネス理論実習 生涯スポーツ理論実習			
			兼担	講師	笠原　一哉 （40） ＜平成30年４月＞ 修士（政治学） シティズンシップ	兼担	講師	笠原　一哉 （41） ＜平成30年４月＞ 修士（政治学） シティズンシップ	兼担	講師	笠原　一哉 （42） ＜平成30年４月＞ 修士（政治学） シティズンシップ			
			兼担	講師	金山　浩司 （39） ＜平成30年４月＞ 修士（学術）※ 自然科学									
			兼担	講師	黒崎　岳大 （43） ＜平成30年４月＞ 博士（文学） 人文科学	兼担	講師	黒崎　岳大 （44） ＜平成30年４月＞ 博士（文学） 人文科学	兼担	講師	黒崎　岳大 （45） ＜平成30年４月＞ 博士（文学） 人文科学	兼担	講師	黒崎　岳大 （46） ＜平成30年４月＞ 博士（文学） 人文科学
			兼担	講師	富田　益央 （39） ＜平成30年４月＞ M．A（タイ） 国際理解									
			兼担	講師	フラワーズ　シメオン　デイビッド （41） ＜平成30年４月＞ M．A．（米国） 英語リスニング＆スピーキング									
			兼担	講師	丸山　雄生 （39） ＜平成30年４月＞ 博士（社会学） シティズンシップ									
			兼担	講師	ベイリー　リチャード　カーティス （48） ＜平成30年４月＞ 修士（応用言語学） （米国） グローバルスキル	兼担	講師	ベイリー　リチャード　カーティス （48） ＜平成30年４月＞ 修士（応用言語学） （米国） グローバルスキル	兼担	講師	ベイリー　リチャード　カーティス （49） ＜平成30年４月＞ 修士（応用言語学） （米国） 英語リスニング＆スピーキング			
						兼担	講師	ウィルキンズ　サイモン　ガーリー （41） ＜平成31年４月＞ M．A（豪国） 英語リスニング＆スピーキング	兼担	講師	ウィルキンズ　サイモン　ガーリー （42） ＜平成31年４月＞ M．A（豪国） 英語リスニング＆スピーキング			
						兼担	講師	白澤　秀剛 （47） ＜平成31年４月＞ 博士（工学） 看護コミュニケーション論	兼担	講師	白澤　秀剛 （48） ＜平成31年４月＞ 博士（工学） 看護コミュニケーション論			
						兼担	講師	関　知子 （54） ＜平成31年４月＞ 医学士 疾病と看護F（周手術器）	兼担	講師	関　知子 （55） ＜平成31年４月＞ 医学士 疾病と看護F（周手術器）	兼担	講師	関　知子 （56） ＜平成31年４月＞ 医学士 疾病と看護F（周手術器）
						兼担	講師	高梨　宏子 （35） ＜平成31年４月＞ 修士（人文科学）※ 地域理解 国際理解	兼担	講師	高梨　宏子 （36） ＜平成31年４月＞ 修士（人文科学）※ 地域理解 社会科学			
						兼担	講師	中島　由宇 （41） ＜平成31年４月＞ 博士（臨床心理学） 地域理解	兼担	講師	中島　由宇 （42） ＜平成31年４月＞ 博士（臨床心理学） 地域理解			

【認可時又は届出時】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	助教	近藤　章生 （44） ＜平成30年４月＞ 学士（医学）	疾病と看護Ｃ（腎・泌尿器・皮膚）
兼担	助教	佐柄　祐介 （36） ＜平成30年４月＞ 学士（医学）	母性看護学

【平成３０年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	助教	近藤　章生 （44） ＜平成30年４月＞ 学士（医学）	疾病と看護Ｃ（腎・泌尿器・皮膚）
兼担	助教	佐柄　祐介 （36） ＜平成30年４月＞ 学士（医学）	母性看護学

【令和元年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	講師	浜橋　恒介 （41） ＜平成31年４月＞ 博士（医学）	疾病と看護D(神経・運動器)
兼担	講師	日比　慶久 （50） ＜平成31年４月＞ 博士（農学）	自然科学 国際理解
兼担	講師	古川　大輔 （43） ＜平成31年４月＞ 博士（医学）	疾病と看護Ａ（消化器）
兼担	助教	近藤　章生 （45） ＜平成30年４月＞ 学士（医学）※	疾病と看護Ｃ（腎・泌尿器・皮膚）

【令和２年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	講師	浜橋　恒介 （42） ＜平成31年４月＞ 博士（医学）	疾病と看護D(神経・運動器)
兼担	講師	日比　慶久 （51） ＜平成31年４月＞ 博士（農学）	自然科学
兼担	講師	古川　大輔 （44） ＜平成31年４月＞ 博士（医学）	疾病と看護Ａ（消化器）
兼担	講師	池谷　美衣子 （41） ＜令和２年４月＞ 博士（教育学）	シティズンシップ ボランティア
兼担	講師	小西　康仁 （35） ＜令和２年４月＞ 修士（スポーツ健康科学）	健康・フィットネス理論実習
兼担	講師	高尾　将幸 （39） ＜令和２年４月＞ 博士（体育科学）	健康・フィットネス理論実習 生涯スポーツ理論実習
兼担	講師	田巻　以津香 （40） ＜令和２年４月＞ 修士（体育学）	健康・フィットネス理論実習
兼担	講師	ツビトコビッチ　ロバート （50） ＜令和２年４月＞ M. A（米国）	英語リスニング＆スピーキング
兼担	講師	中川　浩 （40） ＜令和２年４月＞ Doctor of Education（米国）	英語リーディング＆ライティング グローバルスキル
兼担	講師	ハーパー　アラン　グレゴリー （57） ＜令和２年４月＞ 修士（言語学）（豪国）	英語リーディング＆ライティング
兼担	講師	矢部　久美子 （44） ＜令和２年４月＞ 演劇学修士	国際理解
兼担	助教	近藤　章生 （46） ＜平成30年４月＞ 学士（医学）※	疾病と看護Ｃ（腎・泌尿器・皮膚）

【令和３年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	准教授	浜橋　恒介 （43） ＜平成31年４月＞ 博士（医学）	疾病と看護D(神経・運動器)
兼担	講師	日比　慶久 （52） ＜平成31年４月＞ 博士（農学）	自然科学 国際理解 地域理解
兼担	講師	古川　大輔 （45） ＜平成31年４月＞ 博士（医学）	疾病と看護Ａ（消化器）
兼担	講師	小西　康仁 （36） ＜令和２年４月＞ 修士（スポーツ健康科学）	健康・フィットネス理論実習 シティズンシップ
兼担	助教	近藤　章生 （47） ＜平成30年４月＞ 学士（医学）※	疾病と看護Ｃ（腎・泌尿器・皮膚）

【認可時又は届出時】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	助教	澤田　真如 (43) ＜平成30年４月＞ 学士（医学）	疾病と看護Ｆ（周手術期）
兼担	助教	傳田　祐也 (35) ＜平成30年４月＞ 学士（歯学）	疾病と看護Ａ（消化器）
兼担	助教	長尾　隆太 (33) ＜平成30年４月＞ 学士（医学）	疾病と看護Ｅ（代謝・免疫・感覚器）
兼担	助教	古屋　秀和 (41) ＜平成30年４月＞ 学士（医学）	疾病と看護Ｂ（呼吸器・循環器）
兼担	助教	前原　瑞樹 (40) ＜平成30年４月＞ 学士（医学）	精神看護学
兼任	講師	上原　京子 (62) ＜平成30年４月＞ 看護学士	公衆衛生看護技術論 行政保健師実習
兼任	講師	内田　千佳子 (58) ＜平成30年４月＞ 修士（看護学）	在宅看護学 在宅看護学実習
兼任	講師	瓜生　佳織 (46) ＜平成30年４月＞ 専門学校卒	看護学概論 看護コミュニケーション論 看護過程論 ヘルスアセスメント 基礎看護技術演習 臨床看護技術演習１（治療・処置） 臨床看護技術演習２（薬物療法・検査） 老年看護学演習 老年看護学実習Ａ（健康障害を持つ高齢者の看護） 老年看護学実習Ｂ（施設で生活する高齢者の看護）
兼任	講師	榎　悦子 (61) ＜平成30年４月＞ 修士（看護学）	公衆衛生看護技術論 行政保健師実習 産業保健看護学 産業保健看護学実習

【平成３０年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	助教	澤田　真如 (43) ＜平成30年４月＞ 学士（医学）	疾病と看護Ｆ（周手術期）
兼担	助教	傳田　祐也 (35) ＜平成30年４月＞ 学士（歯学）	疾病と看護Ａ（消化器）
兼担	助教	長尾　隆太 (33) ＜平成30年４月＞ 学士（医学）	疾病と看護Ｅ（代謝・免疫・感覚器）
兼担	助教	古屋　秀和 (41) ＜平成30年４月＞ 学士（医学）	疾病と看護Ｂ（呼吸器・循環器）
兼担	助教	前原　瑞樹 (40) ＜平成30年４月＞ 学士（医学）	精神看護学
兼担	**助教**	**二上　奈津美 (34) ＜平成30年４月＞ 修士（理学）※**	**看護の基礎理科**
兼担	**助教**	**長田　和也 (31) ＜平成30年４月＞ 博士（医学）**	**自然科学**
兼任	講師	上原　京子 (62) ＜平成30年４月＞ 看護学士	公衆衛生看護技術論 行政保健師実習
兼任	講師	内田　千佳子 (58) ＜平成30年４月＞ 修士（看護学）	在宅看護学 在宅看護学実習
兼任	講師	瓜生　佳織 (46) ＜平成30年４月＞ 専門学校卒	看護過程論 ヘルスアセスメント 基礎看護技術演習 臨床看護技術演習１（治療・処置） 臨床看護技術演習２（薬物療法・検査） 老年看護学演習 老年看護学実習Ａ（健康障害を持つ高齢者の看護） 老年看護学実習Ｂ（施設で生活する高齢者の看護）
兼任	講師	榎　悦子 (61) ＜平成30年４月＞ 修士（看護学）	公衆衛生看護技術論 行政保健師実習 産業保健看護学 産業保健看護学実習

【令和元年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	助教	澤田　真如 (44) ＜平成30年４月＞ 学士（医学）	疾病と看護Ｆ（周手術期）
兼担	助教	傳田　祐也 (36) ＜平成30年４月＞ 学士（歯学）	疾病と看護Ａ（消化器）
兼担	助教	古屋　秀和 (42) ＜平成30年４月＞ 学士（医学）※	疾病と看護Ｂ（呼吸器・循環器）
兼担	助教	前原　瑞樹 (41) ＜平成30年４月＞ 学士（医学）	精神看護学
兼担	**助教**	**二上　奈津美 (35) ＜平成30年４月＞ 修士（理学）※**	**看護の基礎理科**
兼任	講師	上原　京子 (63) ＜平成30年４月＞ 看護学士	公衆衛生看護技術論 行政保健師実習
兼任	講師	内田　千佳子 (59) ＜平成30年４月＞ 修士（看護学）	在宅看護学 在宅看護学実習
兼任	講師	瓜生　佳織 (47) ＜平成30年４月＞ 専門学校卒	ヘルスアセスメント 基礎看護技術演習 臨床看護技術演習１（治療・処置） 臨床看護技術演習２（薬物療法・検査） 老年看護学演習 老年看護学実習Ａ（健康障害を持つ高齢者の看護） 老年看護学実習Ｂ（施設で生活する高齢者の看護） **基礎看護学実習２（生活援助）**
兼任	講師	榎　悦子 (62) ＜平成30年４月＞ 修士（看護学）	公衆衛生看護技術論 行政保健師実習 産業保健看護学 産業保健看護学実習

【令和２年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	助教	澤田　真如 (45) ＜平成30年４月＞ 学士（医学）	疾病と看護Ｆ（周手術期）
兼担	助教	古屋　秀和 (43) ＜平成30年４月＞ 学士（医学）※	疾病と看護Ｂ（呼吸器・循環器）
兼担	助教	前原　瑞樹 (42) ＜平成30年４月＞ 学士（医学）	精神看護学
兼担	**助教**	**二上　奈津美 (36) ＜平成30年４月＞ 修士（理学）※**	**看護の基礎理科**
兼担	**助教**	**長田　和也 (33) ＜平成30年４月＞ 博士（医学）**	**自然科学**
兼担	**助教**	**グラディシェヴァ　ヤロスラヴァ (31) ＜令和２年４月＞ Diploma of Specialist in Public Administration （露）**	**国際理解**
兼任	講師	上原　京子 (64) ＜平成30年４月＞ 看護学士	行政保健師実習
兼任	講師	内田　千佳子 (60) ＜平成30年４月＞ 修士（看護学）	在宅看護学実習

【令和３年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	**講師**	澤田　真如 (46) ＜平成30年４月＞ 学士（医学）	疾病と看護Ｆ（周手術期）
兼担	**助教**	**長尾　隆太 (36) ＜平成30年４月＞ 学士（医学）**	**疾病と看護Ｅ（代謝・免疫・感覚器）**
兼担	助教	古屋　秀和 (44) ＜平成30年４月＞ 学士（医学）※	疾病と看護Ｂ（呼吸器・循環器）
兼担	助教	前原　瑞樹 (43) ＜平成30年４月＞ 学士（医学）	精神看護学
兼担	**助教**	**二上　奈津美 (37) ＜平成30年４月＞ 修士（理学）※**	**看護の基礎理科**
兼任	講師	内田　千佳子 (61) ＜平成30年４月＞ 修士（看護学）	**在宅看護学** 在宅看護学実習

【認可時又は届出時】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	大楠　清文 （52） ＜平成30年４月＞	感染と防御
兼任	講師	奥山　知子 （42） ＜平成30年４月＞ 短期大学士（看護学）	ヘルスアセスメント 臨床看護技術演習２ （薬物療法・検査）
兼任	講師	乙坂　佳代 （58） ＜平成30年４月＞ 修士（看護学）	退院支援・在宅ケア マネジメント論
兼任	講師	小野田　由紀子 （50） ＜平成30年４月＞ 専門学校卒	母性看護学実習
兼任	講師	川口　里佳 （37） ＜平成30年４月＞ 学士（看護学）	基礎看護技術演習 臨床看護技術演習１ （治療・処置）
兼任	講師	小嶋　由紀 （57） ＜平成30年４月＞ 看護学士	在宅看護学実習
兼任	講師	斉藤　小百合 （54） ＜平成30年４月＞ 専門学校卒	小児看護学演習 小児看護学実習Ｂ （健康障がいのある 小児の看護）
兼任	講師	阪脇　孝子 （46） ＜平成30年４月＞ 修士（学術）※	保健医療行動学
兼任	講師	須藤　真由美 （68） ＜平成30年４月＞ 教育学士	保健医療情報学１ （情報科学） 保健医療情報学２ （医療統計）
兼任	講師	陶山　さゆり （37） ＜平成30年４月＞ 短期大学士（看護学）	成人看護学演習 成人看護学実習
兼任	講師	添田　英津子 （51） ＜平成30年４月＞ 博士（看護学）（米国）	国際看護論
兼任	講師	袖山　史貢子 （34） ＜平成30年４月＞ 学士（看護学）	母性看護学実習
兼任	講師	高山　真由子 （40） ＜平成30年４月＞ 修士（ジャーナリズム）	在宅看護学 在宅看護学実習

【平成３０年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	大楠　清文 （52） ＜平成30年４月＞	感染と防御
兼任	講師	奥山　知子 （42） ＜平成30年４月＞ 短期大学士（看護学）	ヘルスアセスメント 臨床看護技術演習２ （薬物療法・検査）
兼任	講師	乙坂　佳代 （58） ＜平成30年４月＞ 修士（看護学）	退院支援・在宅ケア マネジメント論
兼任	講師	小野田　由紀子 （50） ＜平成30年４月＞ 専門学校卒	母性看護学実習
兼任	講師	川口　里佳 （37） ＜平成30年４月＞ 学士（看護学）	基礎看護技術演習 臨床看護技術演習１ （治療・処置）
兼任	講師	小嶋　由紀 （57） ＜平成30年４月＞ 看護学士	在宅看護学実習
兼任	講師	斉藤　小百合 （54） ＜平成30年４月＞ 専門学校卒	小児看護学演習 小児看護学実習Ｂ （健康障がいのある 小児の看護）
兼任	講師	阪脇　孝子 （46） ＜平成30年４月＞ 修士（学術）※	保健医療行動学
兼任	講師	須藤　真由美 （68） ＜平成30年４月＞ 教育学士	保健医療情報学１ （情報科学） 保健医療情報学２ （医療統計）
兼任	講師	陶山　さゆり （37） ＜平成30年４月＞ 短期大学士（看護学）	成人看護学演習 成人看護学実習
兼任	講師	添田　英津子 （51） ＜平成30年４月＞ 博士（看護学）（米国）	国際看護論
兼任	講師	袖山　史貢子 （35） ＜平成30年４月＞ 学士（看護学）	母性看護学実習
兼任	講師	高山　真由子 （40） ＜平成30年４月＞ 修士（ジャーナリズム）	在宅看護学 在宅看護学実習

【令和元年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	大楠　清文 （53） ＜平成30年４月＞ 博士（保健学）	感染と防御
兼任	講師	**小川　知子** （43） ＜平成30年４月＞ 短期大学士（看護学）	**基礎看護学実習２ （生活援助）**
兼任	講師	小野田　由紀子 （51） ＜平成30年４月＞ 専門学校卒	母性看護学実習
兼任	講師	川口　里佳 （38） ＜平成30年４月＞ 学士（看護学）	**基礎看護学実習２ （生活援助）**
兼任	講師	小嶋　由紀 （58） ＜平成30年４月＞ 看護学士	在宅看護学実習
兼任	講師	斉藤　小百合 （55） ＜平成30年４月＞ 専門学校卒	小児看護学演習 小児看護学実習Ｂ （健康障がいのある 小児の看護）
兼任	講師	阪脇　孝子 （47） ＜平成30年４月＞ 修士（学術）※	保健医療行動学
兼任	講師	陶山　さゆり （38） ＜平成30年４月＞ 短期大学士（看護学）	成人看護学演習 成人看護学実習
兼任	講師	添田　英津子 （52） ＜平成30年４月＞ 博士（看護学）（米国）	国際看護論
兼任	講師	袖山　史貢子 （36） ＜平成30年４月＞ 学士（看護学）	母性看護学実習

【令和２年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	大楠　清文 （54） ＜平成30年４月＞ 博士（保健学）	感染と防御
兼任	講師	**小川　知子** （44） ＜平成30年４月＞ 短期大学士（看護学）	**基礎看護学実習２ （生活援助） 臨床看護技術演習２ （薬物療法・検査） 基礎看護技術演習**
兼任	講師	小野田　由紀子 （52） ＜平成30年４月＞ 専門学校卒	母性看護学実習
兼任	講師	小嶋　由紀 （59） ＜平成30年４月＞ 看護学士	在宅看護学実習
兼任	講師	斉藤　小百合 （56） ＜平成30年４月＞ 専門学校卒	小児看護学演習 小児看護学実習Ｂ （健康障がいのある 小児の看護） **小児看護学実習Ａ （健康な小児の看護）**
兼任	講師	阪脇　孝子 （48） ＜平成30年４月＞ 修士（学術）※	保健医療行動学
兼任	講師	陶山　さゆり （39） ＜平成30年４月＞ 短期大学士（看護学）	成人看護学演習 成人看護学実習 **老年看護学実習Ａ （健康障害を持つ高齢者の看護）**
兼任	講師	添田　英津子 （53） ＜平成30年４月＞ 博士（看護学）（米国）	国際看護論

【令和３年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	大楠　清文 （55） ＜平成30年４月＞ 博士（保健学）	感染と防御
兼任	講師	**小川　知子** （45） ＜平成30年４月＞ 短期大学士（看護学）	**基礎看護学実習２（生活援助） 臨床看護技術演習２ （薬物療法・検査） 基礎看護技術演習**
兼任	**講師**	**乙坂　佳代 （61） ＜平成30年４月＞ 修士（看護学）**	**退院支援・在宅ケアマネジメント論**
兼任	講師	小野田　由紀子 （53） ＜平成30年４月＞ 専門学校卒	母性看護学実習
兼任	講師	小嶋　由紀 （60） ＜平成30年４月＞ 看護学士	在宅看護学実習 **在宅看護学**
兼任	講師	斉藤　小百合 （57） ＜平成30年４月＞ 専門学校卒	小児看護学演習 小児看護学実習Ｂ（健康障がいのある小児の看護） **小児看護学実習Ａ（健康な小児の看護）**
兼任	講師	阪脇　孝子 （49） ＜平成30年４月＞ 修士（学術）※	保健医療行動学
兼任	講師	陶山　さゆり （40） ＜平成30年４月＞ 短期大学士（看護学）	成人看護学演習 成人看護学実習 **統合実習**
兼任	**講師**	**袖山　史貢子 （38） ＜平成30年４月＞ 学士（看護学）**	**母性看護学実習**

【認可時又は届出時】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	角田　ともえ (45) ＜平成30年４月＞ 準学士	表現技法の基礎
兼任	講師	西尾　浩美 (35) ＜平成30年４月＞ 学士（看護学）	国際看護論
兼任	講師	浜田　将太 (35) ＜平成30年４月＞ 博士（医学）	医療経済学
兼任	講師	帆苅　千穂 (40) ＜平成30年４月＞ 学士（看護学）	精神看護学実習
兼任	講師	村山　千恵子 (64) ＜平成30年４月＞ 薬学博士	薬理学
兼任	講師	泰川　恵吾 (54) ＜平成30年４月＞ 医学士	在宅看護学概論
兼任	講師	山崎　幸子 (47) ＜平成30年４月＞ 短期大学士（看護学）	母性看護学実習
兼任	講師	山村　朋子 (53) ＜平成30年４月＞ Master Of Science Social Admini（米国）	ENGLISH OF NURSING STUDY ABROAD 国際コミュニケーションＡ（国内）
兼任	講師	横田　益美 (52) ＜平成30年４月＞ 修士（看護学）	在宅看護学実習

【平成３０年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	西尾　浩美 (35) ＜平成30年４月＞ 学士（看護学）	国際看護論
兼任	講師	浜田　将太 (35) ＜平成30年４月＞ 博士（医学）	医療経済学
兼任	講師	帆苅　千穂 (41) ＜平成30年４月＞ 学士（看護学）	精神看護学実習
兼任	講師	村山　千恵子 (64) ＜平成30年４月＞ 薬学博士	薬理学
兼任	講師	泰川　恵吾 (54) ＜平成30年４月＞ 医学士	在宅看護学概論
兼任	講師	山崎　幸子 (47) ＜平成30年４月＞ 短期大学士（看護学）	母性看護学実習
兼任	講師	山村　朋子 (53) ＜平成30年４月＞ Master Of Science Social Admini（米国）	ENGLISH OF NURSING STUDY ABROAD 国際コミュニケーションＡ（国内） **国際コミュニケーションＢ（ハワイ）**
兼任	講師	横田　益美 (52) ＜平成30年４月＞ 修士（看護学）	在宅看護学実習
兼任	**講師**	**愛　みち子 (55) ＜平成30年４月＞ 博士（学術）**	**社会科学**
兼任	**講師**	**板垣　良一 (70) ＜平成30年４月＞ 理学修士**	**自然科学**
兼任	**講師**	**大熊　玲子 (39) ＜平成30年４月＞ 修士（体育学）**	**健康・フィットネス理論実習**
兼任	**講師**	**菅野　仁己 (55) ＜平成30年４月＞ 文学修士※**	**英語リスニング＆スピーキング グローバルスキル**
兼任	**講師**	**木内　誠 (30) ＜平成30年４月＞ 博士（スポーツ健康科学）**	**健康・フィットネス理論実習**
兼任	**講師**	**佐古　仁志 (39) ＜平成30年４月＞ 博士（人間科学）**	**社会科学**
兼任	**講師**	**佐野　正人 (33) ＜平成30年４月＞ 修士（体育学）**	**生涯スポーツ理論実習**

【令和元年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	帆苅　千穂 (42) ＜平成30年４月＞ 学士（看護学）	精神看護学実習 **基礎看護学実習２（生活援助）**
兼任	講師	村山　千恵子 (65) ＜平成30年４月＞ 薬学博士	薬理学
兼任	講師	山崎　幸子 (48) ＜平成30年４月＞ 短期大学士（看護学）	母性看護学実習
兼任	講師	山村　朋子 (54) ＜平成30年４月＞ Master Of Science Social Admini（米国）	国際コミュニケーションＡ（国内）
兼任	**講師**	**愛　みち子 (56) ＜平成30年４月＞ 博士（学術）**	**社会科学**
兼任	**講師**	**大熊　玲子 (40) ＜平成30年４月＞ 修士（体育学）**	**健康・フィットネス理論実習**
兼任	**講師**	**菅野　仁己 (56) ＜平成30年４月＞ 文学修士※**	**英語リスニング＆スピーキング グローバルスキル**
兼任	**講師**	**佐野　正人 (34) ＜平成30年４月＞ 修士（体育学）**	**生涯スポーツ理論実習**

【令和２年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	帆苅　千穂 (43) ＜平成30年４月＞ 学士（看護学）	精神看護学実習 **基礎看護学実習２（生活援助）**
兼任	講師	村山　千恵子 (66) ＜平成30年４月＞ 薬学博士	薬理学
兼任	講師	山崎　幸子 (49) ＜平成30年４月＞ 短期大学士（看護学）	母性看護学実習
兼任	講師	山村　朋子 (55) ＜平成30年４月＞ Master Of Science Social Admini（米国）	国際コミュニケーションＡ（国内）
兼任	**講師**	**愛　みち子 (57) ＜平成30年４月＞ 博士（学術）**	**社会科学**
兼任	**講師**	**大熊　玲子 (41) ＜平成30年４月＞ 修士（体育学）**	**健康・フィットネス理論実習**
兼任	**講師**	**菅野　仁己 (57) ＜平成30年４月＞ 文学修士※**	**グローバルスキル**
兼任	**講師**	**佐野　正人 (35) ＜平成30年４月＞ 修士（体育学）**	**生涯スポーツ理論実習**

【令和３年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	帆苅　千穂 (44) ＜平成30年４月＞ 学士（看護学）	精神看護学実習 **基礎看護学実習２（生活援助）**
兼任	講師	村山　千恵子 (67) ＜平成30年４月＞ 薬学博士	薬理学
兼任	講師	山崎　幸子 (50) ＜平成30年４月＞ 短期大学士（看護学）	母性看護学実習
兼任	講師	山村　朋子 (56) ＜平成30年４月＞ Master Of Science Social Admini（米国）	国際コミュニケーションＡ（国内）
兼任	**講師**	**菅野　仁己 (58) ＜平成30年４月＞ 文学修士※**	**英語リスニング＆スピーキング アカデミック英語**
兼任	**講師**	**佐野　正人 (36) ＜平成30年４月＞ 修士（体育学）**	**生涯スポーツ理論実習**

【認可時又は届出時】			【平成３０年度】			【令和元年度】			【令和２年度】			【令和３年度】		
専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等 担当授業科目名	専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等 担当授業科目名	専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等 担当授業科目名	専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等 担当授業科目名	専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等 担当授業科目名
			兼任	講師	重藤　誠市郎 (35) ＜平成30年４月＞ 修士（体育学） 生涯スポーツ理論実習	兼任	講師	重藤　誠市郎 (36) ＜平成30年４月＞ 修士（体育学） 生涯スポーツ理論実習	兼任	講師	重藤　誠市郎 (37) ＜平成30年４月＞ 修士（体育学） 健康・フィットネス理論実習	兼任	講師	重藤　誠市郎 (38) ＜平成30年４月＞ 修士（体育学） 生涯スポーツ理論実習
			兼任	講師	シュナイダー　ダーリン (52) ＜平成30年４月＞ MasterOfScienceInEducation（米国） 英語リーディング＆ライティング	兼任	講師	シュナイダー　ダーリン (53) ＜平成30年４月＞ MasterOfScienceInEducation（米国） 英語リーディング＆ライティング	兼任	講師	シュナイダー　ダーリン (54) ＜平成30年４月＞ MasterOfScienceInEducation（米国） グローバルスキル	兼任	講師	シュナイダー　ダーリン (55) ＜平成30年４月＞ MasterOfScienceInEducation（米国） 英語リーディング＆ライティング グローバルスキル
			兼任	講師	チルドレス　ロニー (39) ＜平成30年４月＞ 修士(英語教授法)（英国） 英語リーディング＆ライティング									
			兼任	講師	永井　巣 (47) ＜平成30年４月＞ 音楽修士（米国） アカデミック英語	兼任	講師	永井　巣 (48) ＜平成30年４月＞ 音楽修士（米国） アカデミック英語	兼任	講師	永井　巣 (49) ＜平成30年４月＞ 音楽修士（米国） アカデミック英語	兼任	講師	永井　巣 (50) ＜平成30年４月＞ 音楽修士（米国） アカデミック英語 英語リスニング＆スピーキング
			兼任	講師	バーグ　エリック (53) ＜平成30年４月＞ ＢＳ（米国） アカデミック英語	兼任	講師	バーグ　エリック (54) ＜平成30年４月＞ ＢＳ（米国） アカデミック英語	兼任	講師	バーグ　エリック (55) ＜平成30年４月＞ ＢＳ（米国） グローバルスキル			
			兼任	講師	藤原　昌太 (35) ＜平成30年４月＞ 体育学修士 生涯スポーツ理論実習	兼任	講師	藤原　昌太 (36) ＜平成30年４月＞ 体育学修士 生涯スポーツ理論実習	兼任	講師	藤原　昌太 (37) ＜平成30年４月＞ 体育学修士 生涯スポーツ理論実習	兼任	講師	藤原　昌太 (38) ＜平成30年４月＞ 体育学修士 生涯スポーツ理論実習
			兼任	講師	ブラットン　セオドア　アレクザンダー (26) ＜平成30年４月＞ Master of Science in Education（米国） 英語リーディング＆ライティング	兼任	講師	ブラットン　セオドア　アレクザンダー (27) ＜平成30年４月＞ Master of Science in Education（米国） 英語リーディング＆ライティング						
			兼任	講師	ヒライワ　ナン (64) ＜平成30年４月＞ 文学修士（米国） グローバルスキル	兼任	講師	ヒライワ　ナン (65) ＜平成30年４月＞ 文学修士（米国） グローバルスキル	兼任	講師	ヒライワ　ナン (66) ＜平成30年４月＞ 文学修士（米国） 英語リーディング＆ライティング	兼任	講師	ヒライワ　ナン (67) ＜平成30年４月＞ 文学修士（米国） グローバルスキル
						兼任	講師	石川　智基 (30) ＜平成31年４月＞ 経営管理修士（専門職） 医療経済学	兼任	講師	石川　智基 (31) ＜平成31年４月＞ 経営管理修士（専門職） 医療経済学	兼任	講師	石川　智基 (32) ＜平成31年４月＞ 経営管理修士（専門職） 医療経済学
						兼任	講師	井之口　智亮 (34) ＜平成31年４月＞ 修士（政治学）※ 社会科学	兼任	講師	井之口　智亮 (35) ＜平成31年４月＞ 修士（政治学）※ 社会科学	兼任	講師	井之口　智亮 (36) ＜平成31年４月＞ 修士（政治学）※ 社会科学
						兼任	講師	大島　とし江 (63) ＜平成31年４月＞ 学士（神学） 基礎看護学実習２（生活援助）	兼任	講師	大島　とし江 (64) ＜平成31年４月＞ 学士（神学） 基礎看護学実習２（生活援助）			
						兼任	講師	大島　利夫 (62) ＜平成31年４月＞ 博士（医学） 感染と防御	兼任	講師	大島　利夫 (63) ＜平成31年４月＞ 博士（医学） 感染と防御	兼任	講師	大島　利夫 (64) ＜平成31年４月＞ 博士（医学） 感染と防御
						兼任	講師	春日井　亮太 (35) ＜平成31年４月＞ 修士（体育学） 健康・フィットネス理論実習	兼任	講師	春日井　亮太 (36) ＜平成31年４月＞ 修士（体育学） 健康・フィットネス理論実習			

【認可時又は届出時】			【平成３０年度】			【令和元年度】			【令和２年度】			【令和３年度】		
専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等 担当授業科目名	専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等 担当授業科目名	専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等 担当授業科目名	専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等 担当授業科目名	専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等 担当授業科目名
						兼任	講師	佐藤　えみ (40) ＜平成31年４月＞ 修士（看護学） 臨床看護技術演習１（治療・処置） 基礎看護学実習２（生活援助） 基礎看護技術演習 臨床看護技術演習２（薬物療法・検査）	兼任	講師	佐藤　えみ (41) ＜平成31年４月＞ 修士（看護学） 臨床看護技術演習１（治療・処置） 基礎看護学実２（生活援助）			
						兼任	講師	谷　晋 (65) ＜平成31年４月＞ 理学博士 自然科学	兼任	講師	谷　晋 (66) ＜平成31年４月＞ 理学博士 自然科学	兼任	講師	谷　晋 (67) ＜平成31年４月＞ 理学博士 自然科学
						兼任	講師	西　業月 (35) ＜平成31年４月＞ 修士（体育学） 健康・フィットネス理論実習 生涯スポーツ理論実習	兼任	講師	西　業月 (36) ＜平成31年４月＞ 修士（体育学） 健康・フィットネス理論実習			
						兼任	講師	バーンズ　ケビン (55) ＜平成31年４月＞ ＢＡ（カナダ） ENGLISH OF NURSING STUDY ABROAD	兼任	講師	バーンズ　ケビン (56) ＜平成31年４月＞ ＢＡ（カナダ） ENGLISH OF NURSING STUDY ABROAD 英語リスニング＆スピーキング 英語リーディング＆ライティング			
						兼任	講師	マツモト　コンラッド (53) ＜平成31年４月＞ 心理学士 英語リーディング＆ライティング	兼任	講師	マツモト　コンラッド (54) ＜平成31年４月＞ 心理学士 英語リーディング＆ライティング	兼任	講師	マツモト　コンラッド (55) ＜平成31年４月＞ 心理学士 英語リーディング＆ライティング
						兼任	講師	間宮　民江 (51) ＜平成31年４月＞ 専門学校卒 基礎看護学実習２（生活援助）	兼任	講師	間宮　民江 (52) ＜平成31年４月＞ 専門学校卒 基礎看護学実習２（生活援助）	兼任	講師	間宮　民江 (53) ＜平成31年４月＞ 専門学校卒 基礎看護学実習２（生活援助）
						兼任	講師	茂木　陽子 (49) ＜平成31年４月＞ 学士（経営学） 基礎看護学実習２（生活援助）						
									兼任	講師	阿部　恵美子 (50) ＜令和２年４月＞ 修士（人文）（米国） アカデミック英語			
									兼任	講師	アームストロング　ピーター (60) ＜令和２年４月＞ 文学士(カナダ) 英語リスニング＆スピーキング アカデミック英語			
									兼任	講師	アンドラディ　久美 (69) ＜令和２年４月＞ M.A（英国） グローバルスキル			
									兼任	講師	飯沼　好永 (54) ＜令和２年４月＞ 文学修士※ 英語リーディング＆ライティング			
									兼任	講師	石井　洋介 (44) ＜令和２年４月＞ Teaching English（米国） グローバルスキル アカデミック英語			

【認可時又は届出時】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名

【平成３０年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名

【令和元年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名

【令和２年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	伊藤　典英 （62） ＜令和２年４月＞ 文学修士	英語リスニング＆スピーキング 英語リーディング＆ライティング アカデミック英語
兼任	講師	大藤　素子 （61） ＜令和２年４月＞ 修士（教育学）※ （米国）	グローバルスキル
兼任	講師	大曲　陽子 （60） ＜令和２年４月＞ 文学修士※	英語リスニング＆スピーキング
兼任	講師	オームストン　ジョン （49） ＜令和２年４月＞ 修士（近代史）（英国）	アカデミック英語
兼任	講師	小平　昌子 （56） ＜令和２年４月＞ 文学修士（米国）	アカデミック英語
兼任	講師	小暮　正人 （59） ＜令和２年４月＞ Ｐｈ．Ｄ（米国）	アカデミック英語
兼任	講師	酒井　洋子 （68） ＜令和２年４月＞ 文学修士※	英語リスニング＆スピーキング アカデミック英語
兼任	講師	桜内　理恵 （62） ＜令和２年４月＞ 文学修士※	グローバルスキル
兼任	講師	定岡　利典 （64） ＜令和２年４月＞ 芸術学修士	人文科学
兼任	講師	佐藤　有里 （49） ＜令和２年４月＞ 博士（医学）	自然科学
兼任	講師	宍戸　渉 （38） ＜令和２年４月＞ 修士（体育学）	健康・フィットネス理論実習 生涯スポーツ理論実習
兼任	講師	島崎　三津子 （67） ＜令和２年４月＞ 文学修士（米国）	英語リスニング＆スピーキング
兼任	講師	白井　慶 （43） ＜令和２年４月＞ 修士（体育学）	生涯スポーツ理論実習

【令和３年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	定岡　利典 （65） ＜令和２年４月＞ 芸術学修士	人文科学
兼任	講師	佐藤　有里 （50） ＜令和２年４月＞ 博士（医学）	自然科学
兼任	講師	白井　慶 （44） ＜令和２年４月＞ 修士（体育学）	健康・フィットネス理論実習

【認可時又は届出時】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名

【平成３０年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名

【令和元年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名

【令和２年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	瀬川　譲 (65) ＜令和２年４月＞ 学術博士（米国）	英語リーディング＆ライティング
兼任	講師	萩原　伸介 (54) ＜令和２年４月＞ 修士（法学）※	社会科学
兼任	講師	ハッチンス　ウェイン (65) ＜令和２年４月＞ 文学修士（米国）	英語リーディング＆ライティング
兼任	講師	日吉　美晴 (66) ＜令和２年４月＞ M．A（米国）	英語リスニング＆スピーキング
兼任	講師	藤井　美代子 (69) ＜令和２年４月＞ 文学修士	英語リスニング＆スピーキング 英語リーディング＆ライティング
兼任	講師	ブラッドリー　ダニエル (39) ＜令和２年４月＞ BachelorOfArtsInterdisciplinar（米国）	英語リスニング＆スピーキング
兼任	講師	ホプキンソン　マイルズ (50) ＜令和２年４月＞ 文学修士（英国）	英語リーディング＆ライティング
兼任	講師	マーティンセン　アラン (58) ＜令和２年４月＞ 文学士（米国）	グローバルスキル
兼任	講師	三品　直子 (65) ＜令和２年４月＞ 文学修士	英語リスニング＆スピーキング
兼任	講師	皆川　健次郎 (57) ＜令和２年４月＞ 文学修士※	英語リーディング＆ライティング アカデミック英語
兼任	講師	メナール　アニ (55) ＜令和２年４月＞ 修士（教育学）（豪国）	英語リーディング＆ライティング
兼任	講師	山井　敬樹 (67) ＜令和２年４月＞ 修士（英文学）	グローバルスキル
兼任	講師	若松　美記子 (47) ＜令和２年４月＞ 学術修士	グローバルスキル アカデミック英語

【令和３年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	萩原　伸介 (55) ＜令和２年４月＞ 修士（法学）※	社会科学

【認可時又は届出時】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 （年齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名

【平成３０年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 （年齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名

【令和元年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 （年齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名

【令和２年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 （年齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	渡邊　青 (41) ＜令和２年４月＞ 修士（文学）※	社会科学
兼任	助手	岡島　祥子 (31) ＜令和２年４月＞ 学士（看護学）	臨床看護技術演習１ （治療・処置）

【令和３年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 （年齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	助手	岡島　祥子 (32) ＜令和２年４月＞ 学士（看護学）	基礎看護技術演習 臨床看護技術演習２ （薬物療法・検査）
専	助教	小泉　織絵 (45) ＜令和３年４月＞ 修士（看護学）	小児看護学概論 小児看護学演習 小児看護学実習Ａ（健康な小児の看護） 小児看護学実習Ｂ（健康障がいのある小児の看護） 統合実習（小児看護学） 専門看護ゼミナール
専	助教	武田　清香 (45) ＜令和３年４月＞ 修士（健康心理学）	成人看護学演習 老年看護学実習Ｂ（施設で生活する高齢者の看護） 老年看護学実習Ａ（健康障害を持つ高齢者の看護） 成人看護学実習 統合実習 専門看護ゼミナール
兼担	教授	岩崎　正之 (61) ＜令和３年４月＞ 博士（医学）	疾病と看護Ｂ（呼吸器・循環器）
兼担	教授	浦野　哲哉 (60) ＜令和３年４月＞ 博士（医学）	疾病と看護Ｃ（腎・泌尿器。皮膚）
兼担	教授	外崎　淑子 (53) ＜令和３年４月＞ 博士（言語学）	国際理解
兼担	教授	永田　栄一郎 (58) ＜令和３年４月＞ 博士（医学）	疾病と看護Ｄ（神経・運動器）
兼担	教授	林　省吾 (45) ＜令和３年４月＞ 博士（医学）	人体の構造と機能２ （解剖生理学）
兼担	教授	平野　葉一 (66) ＜令和３年４月＞ 博士（歴史・文明学）	人文科学 自然科学
兼担	准教授	河内　一泰 (47) ＜令和３年４月＞ 修士（美術）	地域理解
兼担	准教授	後藤　純 (41) ＜令和３年４月＞ 博士（工学）	地域理解

【認可時又は届出時】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名（年　齢）＜就任（予定）年月＞保有学位等 / 担当授業科目名

【平成３０年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名（年　齢）＜就任（予定）年月＞保有学位等 / 担当授業科目名

【令和元年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名（年　齢）＜就任（予定）年月＞保有学位等 / 担当授業科目名

【令和２年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名（年　齢）＜就任（予定）年月＞保有学位等 / 担当授業科目名

【令和３年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名（年　齢）＜就任（予定）年月＞保有学位等	担当授業科目名
兼担	准教授	與名本　稔 (40) ＜令和３年４月＞ 修士（体育学）	健康・フィットネス理論実習
兼担	講師	李　穂枝 (46) ＜令和３年４月＞ 博士（学術）	ボランティア
兼担	講師	伊與田　英輝 (37) ＜令和３年４月＞ 博士（理学）	シティズンシップ
兼担	講師	金田　将治 (38) ＜令和３年４月＞ 博士（医学）	疾病と看護Ｅ（代謝・免疫・感覚器）
兼担	講師	清島　大資 (42) 博士（医学）	人体の構造と機能２（解剖生理学）
兼担	講師	佐藤　絵里子 (37) ＜令和３年４月＞ 博士（芸術学）	シティズンシップ ボランティア
兼担	講師	鈴木　利貴央 (47) ＜令和３年４月＞ 博士（医学）	疾病と看護Ｅ（代謝・免疫・感覚器）
兼担	講師	松田　晋一 (53) ＜令和３年４月＞ 博士（医学）	小児看護学
兼担	講師	吉田　進二 (41) ＜令和３年４月＞ 医学博士	疾病と看護Ｄ（神経・運動器）
兼担	講師	渡邊　祐紀 (44) ＜令和３年４月＞ 修士（保健学）※	社会福祉論
兼担	助教	内堀　雅博 (33) ＜令和３年４月＞ 博士（医学）	疾病と看護Ａ（消化器）

【認可時又は届出時】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名（年　齢）＜就任（予定）年月＞保有学位等	担当授業科目名

【平成３０年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名（年　齢）＜就任（予定）年月＞保有学位等	担当授業科目名

【令和元年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名（年　齢）＜就任（予定）年月＞保有学位等	担当授業科目名

【令和２年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名（年　齢）＜就任（予定）年月＞保有学位等	担当授業科目名

【令和３年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名（年　齢）＜就任（予定）年月＞保有学位等	担当授業科目名
兼担	助教	野崎　昌久 (37) ＜令和３年４月＞ 学士（医学）　※	疾病と看護Ｆ（周手術期）
兼担	助教	林　優 (45) ＜令和３年４月＞ 博士（医学）	母性看護学
兼任	講師	久島　和洋 (46) ＜令和３年４月＞ 学士（医学）	在宅看護学概論
兼任	講師	伊田　裕美 (38) ＜令和３年４月＞ 修士（看護学）	成人看護学実習
兼任	講師	今井　美穂 (50) ＜令和３年４月＞ 学士（看護学）（豪国）	母性看護学実習
兼任	講師	岩松　真紀 (57) ＜令和３年４月＞ 博士（農学）	社会科学
兼任	講師	内田　智 (38) ＜令和３年４月＞ 修士（政治学）	社会科学
兼任	講師	菅野　明日美 (31) ＜令和３年４月＞ 学士（看護学）	基礎看護学実習２（生活援助）
兼任	講師	小池　典子 (61) ＜令和３年４月＞ 看護学士	在宅看護学 在宅看護学実習
兼任	講師	座波　ゆかり (45) ＜令和３年４月＞ 学士（看護学）	母性看護学 母性看護学実習 母性看護学概論
兼任	講師	宗　育美 (34) ＜令和３年４月＞ 専門学校卒	基礎看護学実習２（生活援助）
兼任	講師	平　恵子 (55) ＜令和３年４月＞ 学士（看護学）	在宅看護学実習
兼任	講師	高倉　由紀子 (54) ＜令和３年４月＞ 看護学校卒	基礎看護学実習２（生活援助）
兼任	講師	早川　麻耶 (34) ＜令和３年４月＞ 修士（看護学）	精神看護学実習

【認可時又は届出時】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等 担当授業科目名

【平成３０年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等 担当授業科目名

【令和元年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等 担当授業科目名

【令和２年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等 担当授業科目名

【令和３年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等 担当授業科目名
兼任	講師	星　隆弘 (34) ＜令和３年４月＞ 修士（文学）※ アカデミック英語
兼任	講師	松浦　稜 (25) ＜令和３年４月＞ 修士（体育学） 健康・フィットネス理論実習
兼任	講師	八木　和子 (61) ＜令和３年４月＞ 学士（看護学） （豪国） 在宅看護学 在宅看護学実習
兼任	講師	横山　花咲子 (34) ＜令和３年４月＞ 学士（看護学） 母性看護学実習

（注）・　報告年度の5月１日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
・　認可申請書又は設置届出書の様式第３号（その２の１）に準じて作成してください。
・「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て（兼任，兼担教員を含む。）を黒字で記入してください。
その上で，**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。**
・　各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
・　年齢は，**それぞれの年度の５月１日時点の満年齢**を記入してください。
・　専任（専門職大学等は専、実専、実（研）、実み）、兼担、兼任の順に記入してください。
・　不要な年度（平成３０年度開設であれば平成２９年度）の表は適宜削除し、詰めてください。

（１）－②担当教員表に関する変更内容

【平成３０年度】

「２　授業科目の概要」（１）－②授業科目表に関する変更内容　に記載した【専任教員等の配置の変更】の理由①～⑤に基づき、以下のとおり変更した。

【専任教員の変更】
・教員組織充実のため、手島芳江講師を就任させた。（理由⑤に基づく）
・教員組織充実のため、松本裕講師を就任させた。（理由⑤に基づく）
・教員組織充実のため、矢口菜穂講師を就任させた。（理由⑤に基づく）
・教員組織充実のため、岩本敏志助教を就任させた。（理由⑤に基づく）
・教員組織充実のため、櫻井大輔助教を就任させた。（理由⑤に基づく）

【兼担兼任教員の変更】
・兼担教授5名の就任がなくなり、兼担教授6名が就任した。（理由①⑤に基づく）
・兼担准教授6名の就任がなくなり、兼担准教授4名が就任した。（理由①③⑤に基づく）
・兼担講師3名の就任がなくなり、兼担講師11名が就任した。（理由①②③に基づく）
・兼担助教2名が就任した。（理由①⑤に基づく）
・兼任講師1名の就任がなくなり、兼任講師（理由①②③に基づく）

【令和元年度】

①担当教員が退職したこと。
②教員組織を充実させるため、担当教員を新規就任、昇格させたこと。
③教育効果を高めるため、科目間の連携を考慮して担当教員を再調整したこと。
④教育効果を高めるため、より専門性の高い教員を担当とすべく担当教員を再調整したこと。
以上により、次のとおり変更した。

【専任教員の変更】
・松木秀明教授が退職し、川上智史講師が就任した。
・児玉千代子准教授が退職し、杉村篤士講師が就任した。
・手島芳江講師を就任させた。
・岩本敏志助教を就任させた。
・櫻井大輔助教を就任させた。
・吉川隆博准教授を教授に昇格させた。
・島本さと子助教を講師に昇格させた。

【兼担兼任教員の変更】
・兼担准教授1名を兼担教授に昇格させた。
・兼担教授3名の就任がなくなり、兼担教授10名が就任した。
・兼担准教授4名の就任がなくなり、兼担准教授9名が就任した。
・兼担講師8名の就任がなくなり、兼担講師8名が就任した。
・兼担助教3名の就任がなくなった。
・兼任講師11名の就任がなくなり、兼任講師12名が就任した。

【令和２年度】

①教員組織を充実させるため、担当教員を昇格させたこと。
②教育効果を高めるため、科目間の連携を考慮して担当教員を再調整したこと。
③教育効果を高めるため、より専門性の高い教員を担当とすべく担当教員を再調整したこと。
以上により、次のとおり変更した。

【専任教員の変更】
・庄村雅子准教授を教授に昇格させた。
・小椋正道講師を准教授に昇格させた。

【兼担兼任教員の変更】
・兼担教授3名の就任がなくなり、兼担教授7名が就任した。
・兼担准教授1名の就任がなくなり、兼担准教授10名が就任した。
・兼担講師1名の就任がなくなり、兼担講師8名が就任した。
・兼担助教1名の就任がなくなり、兼担助教2名が就任した。
・兼任講師6名の就任がなくなり、兼任講師32名が就任した。
・兼任助手1名が就任した。

【令和３年度】

①担当教員が退職したこと。
②教員組織を充実させるため、担当教員を新規就任、昇格させたこと。
③教育効果を高めるため、科目間の連携を考慮して担当教員を再調整したこと。
④教育効果を高めるため、より専門性の高い教員を担当とすべく担当教員を再調整したこと。
以上により、次のとおり変更した。

【専任教員の変更】
・浜辺富美子准教授が退職した。
・真下綾子准教授が死亡退職した。
・北村周美助教が退職し、小泉織絵助教が就任した。
・矢口ゆり助教が退職し、武田清香助教が就任した。
・三橋祐子講師を准教授へ昇格させた。
・森屋宏美講師を准教授へ昇格させた。
・岩本敏志助教を講師へ昇格させた。

【兼担兼任教員の変更】
・兼担教授18名の就任がなくなり、兼担教授6名が就任した。
・兼担准教授19名の就任がなくなり、兼担准教授3名が就任した。
・兼担講師16名の就任がなくなり、兼担講師9名が就任した。
・兼担助教2名の就任がなくなり、兼担助教4名が就任した。
・兼任講師40名の就任がなくなり、兼任講師18名が就任した。

（注）・　変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
・　**認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合**は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、
大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（ＡＣ教員審査）を受けてください。**ＡＣ教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
・　「専任教員採用等変更書（ＡＣ）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
・　不要な年度（令和元年度開設であれば平成３０年度）の表は適宜削除してください。

（２） 専任教員数等

（２）－①　設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
12 名	6 名

（注）・　大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二条別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

（２）－②　専任教員等数【大学】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教　授	准教授	講　師	助　教	計（A）	助手（A'）	教　授	准教授	講　師	助　教	計（B）	助手（B'）
9	8	9	3	29	0	10	6	13	3	32	0
(9)	(8)	(11)	(3)	(31)	(0)						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教　授	准教授	講　師	助　教	計（C）	助手（C'）	教　授	准教授	講　師	助　教	計（D）	助手（D'）
10	6	13	3	32	0	10	6	13	3	32	0
[1]	[△2]	[4]	[0]	[3]	[0]	[1]	[△2]	[4]	[0]	[3]	[0]

（注）・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（　）内に開設時の状況を記入してください。
・「現在（報告時）の状況」には、報告年度の５月１日の教員数（実人数）を記入してください。
・**「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入**するとともに、［　］内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：１名減の場合：△１）
・「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、
［　］内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：１名減の場合：△１）

（２）－③　年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告時（上記（B））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（C））の教員うち、定年を延長して採用する教員数
教授…65歳 准教授・講師・助教…62歳 歳	1 名	1 名

（注）・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の５月１日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

（２）－④　設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{32}{29} = \boxed{110.34}\ \%$$

（注）・　小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（２）－⑤　現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在(報告時)の状況(B)}} = \frac{1}{32} = \boxed{3.12}\ \%$$

（注）・　小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（２）－⑥　設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{\text{\#DIV/0!}}\ \%$$

（注）・　小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（３） 専任教員辞任等の理由

（３）－①　専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番　号	職　位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由
		該当なし					

合計（Ｄ）			後任補充状況の集計（Ｅ）					
就任を辞退した教員数	担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
0　人	必修	0　科目	必修	0　科目	必修	0　科目	必修	0　科目
	選択	0　科目	選択	0　科目	選択	0　科目	選択	0　科目
	自由	0　科目	自由	0　科目	自由	0　科目	自由	0　科目
	計	0　科目	計	0　科目	計	0　科目	計	0　科目

（注）・　認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
・　「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。
就任した後に辞任した教員は、以下「（３）－②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
・　昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、
「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（　）書きで報告年度を記入してください。
・　また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、
「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・専任教員が担当する（している）場合は「①」
・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

（３）－②　専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番　号	職　位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
1	准教授	浜辺　富美子	R3.3	必修	小児看護学概論	①	一身上の都合による退職のため（３）
				必修	小児看護学実習Ａ（健康な小児の看護）	①	
				必修	小児看護学	①	
				必修	小児看護学演習	①	
				必修	小児看護学実習Ｂ（健康障がいのある小児の看護）	①	
				選択	看護教育学	①	
				必修	統合実習	①	
				必修	専門看護ゼミナール	①	
				必修	健康科学論	①	
2	准教授	真下　綾子	R3.3	必修	成人老年看護学概論Ａ	①	死亡退職のため（３）
				必修	成人老年看護学概論Ｂ	①	
				必修	疾病と看護Ａ（消化器）	①	
				必修	疾病と看護Ｄ（神経・運動器）	①	
				必修	老年看護学演習	①	
				必修	老年看護学実習Ａ（健康障害を持つ高齢者の看護）	①	
				必修	老年看護学実習Ｂ（施設で生活する高齢者の看護）	①	
				必修	看護管理論	①	
				必修	統合実習	①	
				必修	専門看護ゼミナール	①	
				選択	国際看護論	①	
				必修	保健医療パートナーシップ総論	①	
				必修	疾病と看護Ｃ（腎・泌尿器・皮膚）	①	
				必修	疾病と看護Ｅ（代謝・免疫・感覚器）	①	
3	助教	北村　周美	R3.3	必修	精神看護学実習	①	一身上の都合による退職のため（３）
				必修	統合実習	①	
				必修	専門看護ゼミナール	①	
4	助教	矢口　ゆり	R3.3	必修	母性看護学概論	①	一身上の都合による退職のため（３）
				必修	母性看護学	①	
				必修	母性看護学実習	①	
				必修	統合実習	①	
				必修	専門看護ゼミナール	①	

合計（Ｆ）				後任補充状況の集計（Ｇ）								
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）			②の合計数（b）			③の合計数（c）	
4	人	必修	23	科目	必修	23	科目	必修	0	科目	必修	0 科目
		選択	2	科目	選択	2	科目	選択	0	科目	選択	0 科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0 科目
		計	25	科目	計	25	科目	計	0	科目	計	0 科目

（注）・　一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について記入してください。
・　昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（　）書きで報告年度を記入してください。
・　また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・専任教員が担当する（している）場合は「①」
・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

（３）－③　上記（３）－①　・　（３）－②　の合計

合計（Ｄ）＋（Ｆ）				後任補充状況の集計（Ｅ）＋（Ｇ）								
辞任等した教員数		担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）			②の合計数（b）			③の合計数（c）	
4	人	必修	23	科目	必修	23	科目	必修	0	科目	必修	0 科目
		選択	2	科目	選択	2	科目	選択	0	科目	選択	0 科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0 科目
		計	25	科目	計	25	科目	計	0	科目	計	0 科目

（３）－④　設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3)-③\text{合計}(D)+(F)}{(2)-②\text{設置時の計画}(A)} = \frac{4}{29} = 13.79\%$$

（注）・　小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（３）－⑤　令和2年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

4 人

（注）・（３）－①、（３）－②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。

（３）－⑥　定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番　号	職　位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
1	教授	松木　秀明	必修	健康科学論	①	H31.3.31付けで定年退職（元）
			必修	公衆衛生学	①	
			必修	保健医療情報学１（情報科学）	①	
			必修	保健医療情報学２（医療統計）	①	
			必修	保健医療関係法規	①	
			選択	疫学	①	
			必修	看護研究概論	①	
			必修	専門看護ゼミナール	①	
2	准教授	児玉　千代子	必修	小児看護学概論	①	H31.3.31付けで定年退職（元）
			必修	小児看護学実習Ａ（健康な小児の看護）	①	
			必修	小児看護学	①	
			必修	小児看護学演習	①	
			必修	小児看護学実習Ｂ（健康障がいのある小児の看護）	①	
			必修	統合実習	①	
			必修	専門看護ゼミナール	①	

合計					後任補充状況の集計								
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）			②の合計数（b）			③の合計数（c）		
2	人	必修	14	科目	必修	14	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	1	科目	選択	1	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	15	科目	計	15	科目	計	0	科目	計	0	科目

（注）・　**定年により退職した全ての専任教員**についてに記入してください。
・　昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（　）書きで報告年度を記入してください。
・　また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・専任教員が担当する（している）場合は「①」
・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

（４）専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

・定年退職した専任教員の担当科目のうち、１科目については、配当年次を迎えるまでに後任を決定し、学生に対して学期開講前に公開するシラバス及びガイダンス等により周知を行う予定である。それ以外の科目については後任が決定しており、学生の履修に支障はない。（元）

・退職した専任教員の担当科目については後任が決定しており、学生の履修に支障はない。（３）

（注）・　上記（３）の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

６　附帯事項等に対する履行状況等

区　　分	附　帯　事　項　等		履　行　状　況		今後の の実施計画
届　出　時 （平成29年）	東海大学基盤工学部電気電子情報工学科及び国際文化学部デザイン文化学科の定員充足率の平均が０．７倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	留意事項	本学科の教育目標である「電気・電子・情報工学およびその応用分野へ適用可能な基盤知識を幅広く理解し、その専門技術を急速に発展している情報化に提供できる実践的技術の育成」を掲げ、本学科の取り組みを受験生にアピールする広報を展開した。 令和２（2020）年度における定員超過率の平均（過去４年間）は0.73倍である。	履行済	
			デザインと建築の両分野を学べる学科の競争優位を重点的に広報した。 令和元（2019）年度における定員超過率の平均（過去４年間）は0.75倍である。	履行済	

（注）・　「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

・　「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。

・　「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。

・　該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。

・　「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

７　その他全般的事項

＜医学部　看護学科＞

（１） 設置計画変更事項等

設　置　時　の　計　画	変更内容・状況、今後の見通しなど
①　面接授業により授業を行う。	①　新型コロナウイルス感染症対策のため、2020年度前期においては、遠隔授業等により授業を行う。なお、実施にあたっては、面接授業に相当する教育効果を維持することに留意する。（2）

（注）・　１～６の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）
及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

（２） 教員の資質の維持向上の方策（ＦＤ・ＳＤ活動含む）

①　実施体制

ａ　委員会の設置状況

「東海大学学部常任ＦＤ委員会規程」に基づいて医学部看護学科ＦＤ委員会を設置している。

ｂ　委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

2020年度においては、計2回委員会を開催した。コロナ禍のため、うち1回はオンラインで行った。
第１回（2020年7月14日）委員3名出席
第２回（2020年3月30日）委員3名出席

ｃ　委員会の審議事項等

2020年度のＦＤ活動計画を策定する上で、コロナ禍での開催方法（オンライン開催及びオンデマンド配信の活用）を検討した。審議は研修会の内容、開催日程、開催後のアンケートであった。今年度は特に新型コロナ感染症の影響により遠隔授業を行うことになったため、遠隔授業での実践上の工夫や課題についてテーマとした。さらに、2021年度の多職種連携演習実施に向けての事前準備の知識を共有する内容とすることを審議した。

②　実施状況

ａ　実施内容

2020年度は学年進度に伴った新カリキュラムの授業方法の工夫３回（在宅看護学領域、精神看護学領域、公衆衛生看護学領域）と健康科学研究科と合同で2回（遠隔授業の実践における工夫と評価及び今後の課題、多職種連携教育を考える）実施した。

ｂ　実施方法

ＦＤ研修会は、学科全教員の参加を目指し、少なくとも年度に２回は開催することとしている。

ｃ　開催状況（教員の参加状況含む）

下記のように看護学科ＦＤ研修会を３回開催した。
第１回　開催日：2020年 12月23日　参加者数：21名
　　テーマ：2018年度改定カリキュラムにおける教育上の工夫－在宅看護学領域
第２回　開催日：2021年　1月19日　参加者数：21名
　　テーマ：2018年度改定カリキュラムにおける教育上の工夫－精神看護学領域
第３回　開催日：2021年　2月26日　参加者数：27名
　　テーマ：2018年度改訂カリキュラムにおける教育上の工夫－公衆衛生看護学領域
健康科学研究科と合同では、下記のようにFD研修会を2回開催した。
第１回　開催日：2020年11月２日　参加者数：34名
　　テーマ：遠隔授業の実践における工夫と評価、今後の課題
第２回　開催日：2021年３月19日　参加者数：37名
　　テーマ：多職種連携教育を考える

ｄ　実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

ＦＤ研修会で報告された授業の工夫点、学生の反応についての知見を基に2022年度カリキュラム改正に向けての授業改善等、教務委員会や領域、科目担当教員間、さらに個別に検討していく予定である。

【ＳＤ活動】

①　実施体制

　東海大学は、組織的・継続的なＦＤ活動（ＳＤ活動含む）を推進する部署として、東海大学教育支援センターを設置している。
　教育支援センターでは、教育活動の活性化を図ることを目的に、学外から講師を招き、全学共通の内容を盛り込んだ「教育支援センターＦＤ・ＳＤ研修会」を開催している。この研修会において、教員だけでなく、事務職員や技術職員などの大学職員を対象とした、管理運営や教育・研究支援までを含めた資質向上のための組織的な研修を実施している。

②　実施状況

「教育支援センターＦＤ・ＳＤ研修会」をオンラインで開催した。
開催日：2020年９月14日開催　参加者数：教職員約300名
テーマ：遠隔授業の留意点～『遠隔授業についてのアンケート』結果から見えてきたこと～

③　学生に対する授業評価アンケートの実施状況

ａ　実施の有無及び実施時期

各学期末の年２回、実施している。

ｂ　教員や学生への公開状況、方法等

授業評価アンケートの集計結果について、教員に対しては、学内ウェブサイトで公開している。
学生に対しては、学生個人が大学からの連絡を受け取るウェブサイトで公開している。

（注）・「①ａ　委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
　　「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

「①ａ　委員会の設置状況」関係規程等の転載

〇東海大学学部常任ＦＤ委員会規程
（制定　2011年４月１日）

改訂　2014年４月１日　　2015年４月１日
2016年４月１日　　2020年４月１日
第１条　本学に東海大学学部常任ＦＤ委員会（以下「本委員会」という。）を置く。
第２条　本委員会は，学部及び教育組織のセンター等の連携を図り，本学のＦＤ活動推進に必要な事項について，審議することを目的とする。
第３条　各学部，各教育組織のセンター等（以下「各学部等」という。）に，当該学部等のＦＤ活動推進に必要な事項について審議することを目的とした，ＦＤ委員会を置く。各委員会の事務及び委員会の内規は，各学部等が定めるものとする。
第４条　本委員会の構成は，次のとおりとする。
委員長：教育支援センター所長
委　員：各学部等の常任ＦＤ委員，教育開発研究センター所長，教育支援課長，各校舎教務（学）課長，委員長が必要と認める教員及び職員
第５条　本委員会は，次の事項を審議する。
（１）　ＦＤ活動実施計画に関する事項
（２）　ＦＤ活動実施方法に関する事項
（３）　その他ＦＤに関する事項
第６条　本委員会は，委員長が必要と認めたとき，これを招集し，その議長となる。
第７条　本委員会は，ＦＤ活動推進に必要な専門的事項について審議することを目的として，必要あるときは，専門委員会を置くことができる。
２　専門委員会の委員及び委員長は，本委員会委員長が指名する。
３　専門委員会の内規は，別に定める。
第８条　各学部等の常任ＦＤ委員は，各学部等のＦＤ委員会委員長があたる。
２　前項の各学部等のＦＤ委員会委員長は，学部長及び教育組織のセンター所長等が当該学部等に所属する本学の専任教員の中から選出する。
３　各学部等の常任ＦＤ委員の任期は，１年とし，再任を妨げない。
第９条　本委員会が審議し決定した事項は，必要に応じて学部長会議等で報告しなければならない。
第１０条　本委員会及び専門委員会の事務は，教育支援センター教育支援課が行う。
付　則
この規程は，2011年４月１日から施行する。
付　則（2020年４月１日）
この規程は，2020年４月１日から施行する。

（３）教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

（4） 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

本学科の組織改編から３年１ヶ月になった。予定通り授業を開講しており、現時点において計画時の趣旨・目的に沿って教育研究活動が行われている。しかしながら、2020年度はコロナ感染症の影響が甚大であったため、授業展開そのものを大幅に修正する必要があった。そこで、半期が終了した時点で遠隔授業での各教員の工夫や課題を取り上げることで、今後の遠隔授業の方向性に示唆を得る研修となった。2021年度もコロナ禍は継続するため、2020年度で行ったFD研修で検討したことが活かされると考える。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

本学は、『東海大学教育研究年報』に自己点検・評価報告を記載している。本学部が記載の対象となる『東海大学教育研究年報』は令和４年３月公表予定である。

b 公表方法

『東海大学教育研究年報』は、東海大学ホームページにおいて公表する。

③ 認証評価を受ける計画

（専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院については、機関別認証評価と分野別認証評価それぞれの受審計画について記載してください。）

本学は、令和６年度に大学基準協会の認証評価を受審する予定である。

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

（5） 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和３年度）

a 公表予定の有無 〔 （有） ・ 無 〕

≪ａで「有」の場合≫

b 公表（予定）時期 〔 調査結果公表後１ヶ月以内 ・ （公表後２～３ヶ月以内） ・ 公表後３ヶ月以降 〕

c 公表方法 〔 （ウェブサイトへの掲載） ・ その他（ ） 〕

≪ａで公表「無」の場合≫

d 公表しない理由 〔 〕

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、
設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイトに公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。